

陸軍大將男爵親島安正閣下題字

軍事法令彙編

卷

軍事法令彙編發行會



始

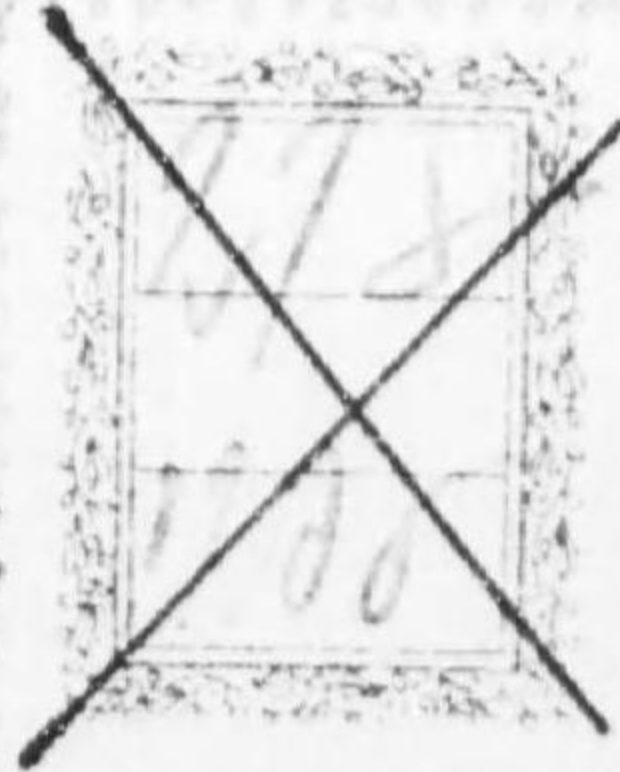


陸軍大將男爵福島正安閣下題字

軍事法令全書

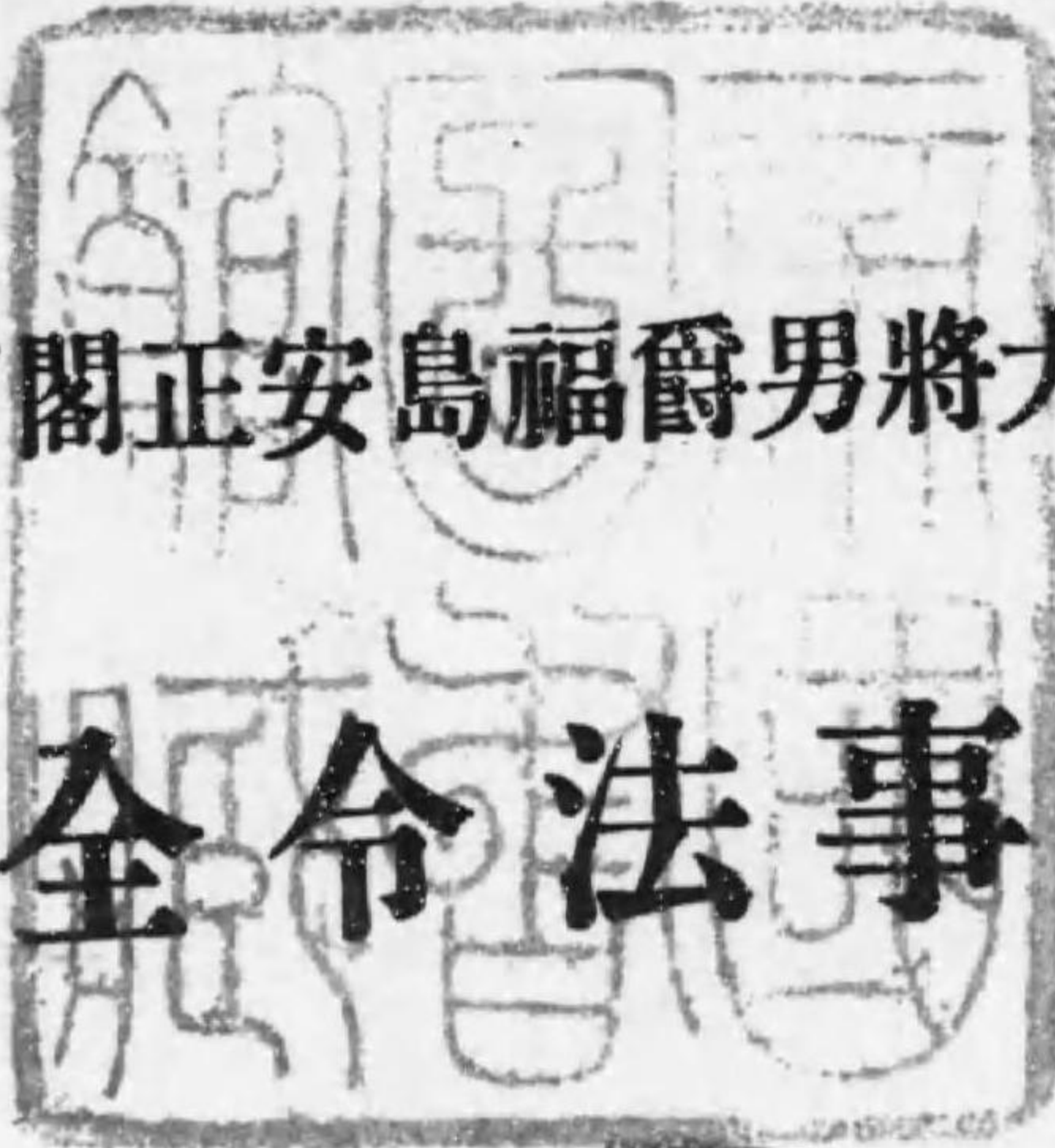
完

法全書刊行會編纂

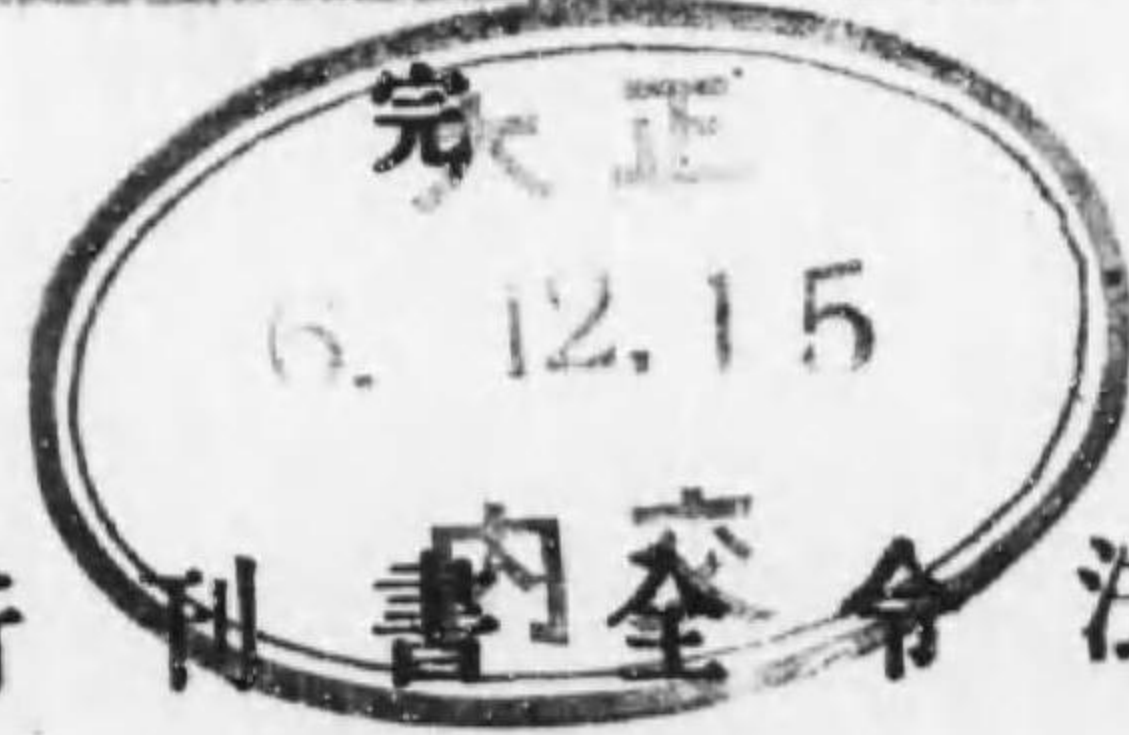


特 110
191

陸軍大將男爵福島安正閣下題字



軍事法令全書



軍事法令全書發行會纂

陸軍大將男爵福島安正閣下題字

軍事法令全書

軍事法令全書發行會纂

國十八番
軍車志合全書



國十八番

陸軍省
印刷部

閱

卷

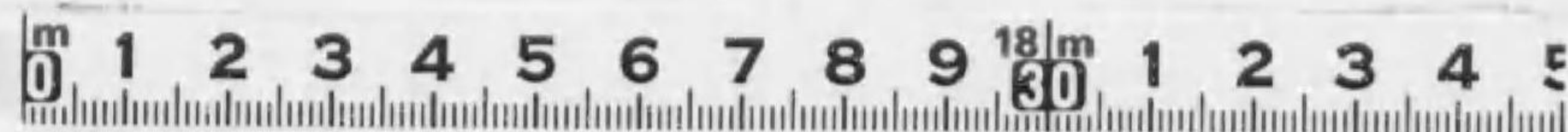
有

益

安正題



陸軍大將男爵福島安正閣下題字 大正六年十二月九日印刷 同年同月十二日發行 軍事法令全書附錄
東京市下谷區上野櫻木町十八番地發行兼編輯者市川正夫 東京市神田區仲猿樂町十番地印刷者平賀久吉
印刷所東京市神田區仲猿樂町十番地忠誠堂印刷部 發行所東京市下谷區上野櫻木町十八番地 泰山堂



凡例

- 一本書ハ明治維新以來大正六年十一月三十日マテニ公布セラレタル軍事ニ關スル現行法規ヲ彙録ス
- 一本書採擇ノ法令ヲ十九ノ編ニ分チ各編中法令ノ排置ハ一般的基本的ノモノヲ先キニシ部分の支葉的ノモノヲ後ニスコレ一ハ以テ各法令相互ノ關係ヲ知ラシメンカ爲メ一ハ以テ索引ニ便ナラシメンカ爲メナリ
- 一法令ノ改正、一法令ノ全部ニ亘ルトキハ全ク改廢セラレタル法令ヲ棄テ、新法令ノミヲ掲ケ、一部分ニ止マルトキハ其法令ノ標目ノ次キニ「(一部改正)」ノ項ヲ置キ其下ニ年號年月何法令何號ヲ以テ改正セル旨ヲ記註シ凡テ更正加除ノ上掲ク
- 一官制等ノ改正ニヨリ廢止又ハ改稱セラレタル廳名、官名等ハ各其法令ノ儘掲ケ唯其舊廳名舊官名ヲ表スル文字ノ右傍ニ「、」ヲ附シ改廢セラレタル旨ヲ明ニス、後ニ出テタル他ノ法令ノ爲メ法令ノ一部カ當然失効又ハ改廢ノ結果ヲ生シタル場合其改廢ノ効果ヲ及ホサレタル部分ニ對シ亦同シ
- 一本書ノ編纂課ハ今後日々官報ニヨリテ本書所載法令ノ改廢及軍事ニ關スル新法令ノ發布ニ注意シ隨時本書ニ更正

加除ヲ施シ其結果ヲ積ミテ毎年一回又ハ二回本書ノ補正書ヲ發行シ實費ヲ以テ購讀者ニ送附ス、補正書購讀者ハ每次補正書到ルヲ俟チ之ヲ解冊シテ本書ニ加除ヲ施ストキハ常ニ新版書ヲ其ノ座側ニ侍ラシムルコト、ナリ本書ハ日新ノ世ニ於テ永ヘニ不老不死ノ生命ヲ保ツヲ得ン
 一本書ハ出版ニ當リ校正ヲ嚴密ニシタル爲メ尠モ誤字ナキヲ信入ルモ今後若シ誤字アルコトヲ發見シタルトキハ補正書出版ノ際無料加除ヲナスコト、シ以テ其費ヲ塞クコト、セン乞諒焉

大正六年十二月

編纂者 識

軍事法令全書目次

第一編 憲法

●大日本帝國憲法(軍事關係條項拔萃)

一頁

第二編 徵兵

●徵兵令

一

●徵兵令ヲ北海道ニ施行ノ件

一一

●徵兵令ヲ沖繩縣及小笠原島ニ施行ノ件

一一

●徵兵事務條例

一一

●徵兵事務條例施行細則

三二

●徵兵檢查規則

六二

●朝鮮其他ニ在住ノ者徵兵身體檢查ノ件

六四

●朝鮮其他ニ在住ノ者徵兵身體檢查ニ關スル規程

六五

●徵兵處分ヲ受クヘキ所在不明者調査規程

七〇

●服役未滿ノ現役志願者等徵兵再檢查方

七三

●步兵隊兵員徵集區指定表

七四

第三編 志願兵

●陸軍一年志願兵條例

一

- 陸軍一年志願兵條例施行細則 一八
- 試補及判任見習等ノ官吏一年志願兵服役ノ件 一七
- 戰時又ハ時變ノ際一年志願兵取扱方 一八
- 陸軍一年志願兵學術試驗科目 一九
- 同上終末試験及第一次勤務演習期末試験規程 二〇
- 陸軍志願兵身體檢查規程 二三

第四編 服役

- 陸軍軍人服役令 一
- 陸軍軍人服役令施行規則 一六
- 朝鮮其他ニ在ル陸軍軍人服役事務ニ關スル件 三七
- 降等ノ上尙現役ニ服セシムヘキ一等卒等取扱方 三八
- 現役下士兵卒中逃亡者取扱方 三九
- 陸軍在郷軍人ニシテ臺灣居住ノ者取扱方 四〇
- 屯田兵下士卒タリシ者ノ服役ニ關スル件 四一
- 准士官下士中文官資格者退營前見習通勤ヲ許ス件 四二
- 營外居住下士ヲ營内居住ノ職ニ轉セシメサル件 四三
- 服役延期解止ノ場合ニ於ケル新役ニ關スル件 四三
- 陸軍下士兵卒在隊間成績通報規程 四四

第五編 陸軍管區、海軍區

- 陸軍管區表 一
- 聯隊區司令部、警備隊區司令部位置 一〇
- 海軍區、軍港位置 一四
- 關東州海軍區ニ關スル件 一五

第六編 兵籍附機密書類

- 陸軍兵籍規則 一
- 陸軍機密書類取扱規則 八

第七編 召集

- 陸軍召集令 一
- 陸軍召集令施行細則 一三
- 簡閱點呼執行規則 四四
- 臺灣居住陸軍軍人ノ召集及就職ニ關スル件 五四
- 陸軍在郷軍人ニシテ船員タル者届出ノ件 五五
- 陸軍在郷軍人中官吏等官職氏名等通報方 五七
- 近衛師團ニ演習召集教育召集ヲ受クヘキ者ノ件 五八
- 在郷軍人中勤務演習簡閱點呼願届出期日ノ特例 五九

第八編 進級

- 陸軍武官進級令 一

- 陸軍將校同相當官退役ノ際名譽進級ノ件 七
- 陸軍豫備役將校等召集解除ノ際名譽進級ノ件 八
- 陸軍武官進級取扱規則 二一
- 陸軍兵卒進級規則 二一

第九編 分限

- 陸軍將校分限令 一
- 陸軍准士官ノ身分取扱ニ關スル件 五
- 在郷軍人ヲ陸軍部隊ニ補充ノ場合身分取扱ノ件 六
- 海軍將校分限令 六

第十編 補充

- 陸軍補充令 一
- 陸軍補充令施行規則 二五
- 陸軍補充兵ヲ下士ニ補充シ雜卒ヲ兵卒トナス件 五〇
- 雜卒ヲ兵卒トナス標準ニ關スル件 五三
- 經理部下士補充交代規程 五五
- 在郷陸軍准士官下士中文官雇員ノ再役志願及採用方 五六

第十一編 徵發

- 徵發令 一〇
- 徵發事務條例 一

- 徵發令ニヨリ負擔スヘキ費用ノ怠納者處分方 二五
- 馬匹徵發事務細則 二六

第十二編 軍馬

- 馬匹ノ調査及検査ニ關スル件 一
- 馬匹調査及検査施行規則 二
- 復員部隊ノ馬匹取扱規則 一一
- 戦時及事變ニ際シ馬匹ノ滅亡位馬格ノ損耗補給ノ件 一三

第十三編 敬禮

- 陸軍禮式 一
- 陸軍禮式附錄 三〇
- 陸軍軍屬敬禮方 四〇

第十四編 勳章、記章

- 勳章、從軍記章制定 一
- 勳章等級制式及大勳位菊花章頸飾制式 四
- 金鷄勳章創設ノ詔書 五
- 金鷄勳章等級、製式、佩用式 五
- 金鷄勳章年金令 八
- 金鷄勳章叙賜條例 九

- 軍人傷痕記章條例 一一
- 陸軍軍人傷痕記章授與返納及褫奪手續 一三
- 明治二十七八年從軍記章條例 一六
- 明治二十七八年從軍記章奏請授與規程 一八
- 明治三十三年從軍記章條例 二〇
- 明治三十三年從軍記章奏請授與手續 二二
- 明治三十七八年從軍記章條例 二三
- 明治三十七八年從軍記章奏請授與手續 二五
- 明治三十七八年從軍記章憲與調查手續 二六
- 大正三十四年從軍記章令 二九
- 大正三十四年從軍記章授與規程 三一
- 陸軍勳章授與式 三二
- 陸軍軍屬勳章授與規程 三八
- 勳章佩用式 三八
- 勳二等旭日章副章制式 四〇
- 勳章記章佩用心得 四〇
- 略章略綬佩用心得 四三
- 外國勳章佩用願規則 四四
- 舊韓國ノ勳章、記章佩用ニ關スル件 四五
- 勳章記章褒章ノ佩用取締ニ關スル件 四五
- 勳章進叙ノ者同種下級勳章還納方 四六

- 勳章還納手續 四七
- 勳章褫奪令 四八
- 勳章褫奪令細則 五〇
- 勳等功級ヲ褫奪セラレタル者アルトキ報告方 五三
- 勳章褫奪令施行細則ニ關スル取扱規程 五四
- 勳等功級ニ叙セラレ又ハ記章褒章アル者族籍氏名變更届出方 五六
- 勳章記章褒章等受領者諸届出手續 五六
- 勳章年金證書受領者居所届出方 五七
- 勳章年金支給細則 五七
- 皇太子渡韓記念章制定ノ件 六二
- 韓國併合記念章制定ノ件 六二
- 大禮記念章制定ノ件 六五
- 軍事警察賞與ノ件 六八
- 軍事警察賞與規程 六八
- 戰役又ハ時變ノ際功勞アル者ニ一時限リ金圓賜與ノ件 六八
- 戰役又ハ事變ノ際賜フ一時賜金ヲ公債證書ニテ交附スルヲ得ル件 六八
- 一時賜金トシテ交附スル公債證書ノ種類及交附價格六九
- 大正三十四年戰役ニ關スル一時賜金ノ交附ニ關スル件六九

●大正三四年戰役ニ關スル一時賜金取扱規則

七

第十五編 恩給

- 軍人恩給法 一
- 軍人恩給法施行規則 二
- 陸軍軍人恩給取扱手續 三
- 軍人恩給法中改正ニ付施行手續 三
- 同上 三
- 同上 三
- 同上 三
- 同上 三
- 同上 三
- 軍人恩給法ニヨル恩給等ニ關スル件 五
- 陸軍軍人傷疾疾病等差 五
- 陸軍軍人傷疾疾病恩給等差例 五
- 陸軍軍人傷疾疾病恩給等差例適用ノ件 六
- 軍人恩給法ニヨル從軍年加算ノ件 六
- 大正三四年戰役從軍年加算ノ件 六
- 大正三四年戰役從軍年加算方 六

第十六編 旅費

- 陸軍旅費規則 一
- 朝鮮、支那駐劄部隊附赴任者支度料支給方 三
- 徵兵旅費規則 三
- 徵兵旅費繰替支辨ニ關スル件 三
- 徵兵旅費繰替支辨ニ關スル件施行規則 三
- 陸海軍軍人軍屬旅費前金渡ノ件 三
- 海軍軍人軍屬旅費前金渡方 三
- 陸海軍召集諸費繰替支辨ニ關スル件 三
- 陸海軍召集諸費支辨方 三
- 陸軍召集諸費支出規程 四

第十七編 輸送、旅行

- 鐵道軍事供用令 一
- 鐵道軍事輸送規程 四
- 陸軍運輸部輸送規程 八
- 陸軍軍人軍屬鐵道乘車及軍馬軍需品輸送手續 二
- 海軍軍人軍屬鐵道乘車並物品輸送手續 二
- 軍隊及軍需品輸送ノ際稟伺ヲ要セス專決處分及報告方 二

- 軍人軍屬旅行行程規則 三〇
- 下士卒轉勤轉乘旅行延着事故届出方 三二
- 軍人軍屬等公用證アル者鐵道運賃低減ノ件 三二
- 轉職就職者出發規程 三三
- 陸軍軍人軍屬戰時ニ於ケル轉職就職者出發方 三五
- 軍人軍屬赴任出張等ノ際出發日限 三五
- 陸軍現役軍人軍屬及陸軍ノ用務ヲ以テ旅行スル在郷軍人ノ減價乘船ニ關スル件 三六
- 軍人傷痍記章ヲ有スル者及其附添人等國有鐵道無賃乘車手續 三九
- 同上國有ニアラサル鐵道乘車並汽船乘船手續 四三
- 軍隊並砲車輜重車ニ對シ一般ノ車馬途上避讓方 四六

第十八編 救恤

- 陸軍恤兵部條例 一
- 恤兵金品取扱規程(陸) 二
- 恤兵金品取扱規程(海) 八
- 下士卒家族救助令 二
- 下士卒家族救助令施行規則 四
- 下士卒兵卒家族救助上必要事項通報方 一五

第十九編 死傷、疾病

- 陸軍軍人軍屬歸郷療養者給與規則 一
- 陸軍軍人軍屬歸郷療養者給與規則細則 二
- 軍人軍屬公務ニヨル傷痍疾病再發者治療ノ件 一〇
- 傷痍疾病再發者入院治療出願取扱方 一一
- 海軍軍人軍屬公務ニヨル傷痍疾病再發者治療出願方 一三
- 明治三十七八年戰役死歿者遺族特別賜金賜與手續 一三
- 潜水艇勤務者ニ一時賜金給與方 一六
- 明治三十七八年戰役死歿者遺族特別賜金賜與出願期限ノ件 一七
- 大正三四年戰役特別賜金賜與規程(陸) 一七
- 同上(海) 二三

軍事法令全書目次畢

軍事法令全書

第一編 憲法

◎大日本帝國憲法(軍事關係條項拔萃)

明治二十二年二月十一日發布

大日本帝國憲法

第一章 天皇

第十一條 天皇ハ陸海軍ヲ統帥ス

第十二條 天皇ハ陸海軍ノ編制及常備兵額ヲ定ム

第十三條 天皇ハ戰ヲ宣シ和ヲ講シ及諸般ノ條約ヲ締結ス

第二章 臣民ノ權利義務

第二十條 日本臣民ハ法律ノ定ムル所ニ從
ヒ兵役ノ義務ヲ有ス

第二編 徵兵

● 徵兵令

明治二十二年一月法律第一號

(一部) 明治二十二年一月法律第二九號、二六年三月法
律第四號、二八年三月法律第一五號、三七年九
月勅令第二一二號、三九年四月法律第四三號

朕徵兵令改正ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

徵兵令

第一章 總則

第一條 日本帝國臣民ニシテ滿十七歳ヨリ滿四十歳迄ノ男
子ハ總テ兵役ニ服スルノ義務アルモノトス

第二條 兵役ヲ分テ常備兵役後備兵役補充兵役及國民兵役
トス

第三條 常備兵役ハ分テ現役及豫備役トス

現役ハ陸軍ハ三箇年海軍ハ四箇年ニシテ滿二十歳ニ至リ
タル者之ニ服シ豫備役ハ陸軍ハ四箇年四箇月海軍ハ三箇

年ニシテ現役ヲ終リタル者之ニ服ス

第四條 後備兵役ハ陸軍ハ十箇年海軍ハ五箇年ニシテ常備兵役ヲ終リタル者之ニ服ス

第五條 補充兵役ハ陸軍ニ在リテハ十二箇年四箇月海軍ニ在リテハ一箇年ニシテ其ノ年所要ノ現役兵員ニ超過スル者ノ中所要ノ人員之ニ服ス

第六條 國民兵役ハ分テ第一國民兵役第二國民兵役トス

第一國民兵役ハ陸軍ニ在リテハ後備兵役又ハ召集セラルタル補充兵ニシテ其役ヲ終リタル者海軍ニ在リテハ後備兵役ヲ終リタル者之ニ服シ第二國民兵役ハ常備兵役後備兵役補充兵役及第一國民兵役ニ在ラサル者之ニ服ス

第七條 各兵役ノ期限既ニ滿ルト雖モ戰時或ハ事變ニ際スルトキ若クハ臨時ニ演習或ハ觀兵ノ舉アルトキ若クハ航海中或ハ外國駐劄中ハ其期ヲ延スコトアル可シ

第八條 重罪ノ刑ニ處セラレタル者ハ兵役ニ服スルコトヲ許サス

第二章 服役

第九條 陸軍現役兵及補充兵ハ每年所要ノ人員ニ應シ壯丁ノ身材藝能職業ニ從ヒ歩兵騎兵砲兵工兵輜重兵職工及雜卒ニ區別シ抽籤ノ法ニ依リ當籤ノ者ヲ以テ之ニ充ツ

海軍現役兵及補充兵ハ每年所要ノ人員ニ應シ沿海地方及

島嶼ノ壯丁ヲ調査シ海軍ニ適スル職業ニ從ヒ水兵火夫職工及雜卒ニ區別シ抽籤ノ法ニ依リ當籤ノ者ヲ以テ之ニ充ツ但海軍志願兵徵募規則ニ依リ服役スル者ハ本令ノ限ニ在ラス

警備隊ヲ置キタル島嶼ノ壯丁（近衛師團ニ編入スル者ヲ除ク）ハ總テ之ヲ警備隊ニ充テ其地ニ於テ服役セシム但在營期限ハ一箇年以内トス

第十條 雜卒ノ現役期限ハ其職務ニ因リ之ヲ短縮スルコトアル可シ但常備兵役ノ全期ハ之ヲ減スルコトナシ

第十一條 抽籤番號ノ順序ニ由リ其年ノ補充兵役要員ニ超過スル者ハ國民兵役ニ服セシム

第十二條 二十歳ニ至ラスト雖モ滿十七歳以上ノ者ハ志願ニ由リ現役ニ服スルコトヲ得

第十三條 滿十七歳以上二十八歳以下ニシテ官立學校（小學校及選科等ノ別科ヲ除ク）府縣立師範學校中學校若クハ文部大臣ニ於テ中學校ノ學科程度ト同等以上ト認メタル學校若クハ文部大臣ノ認可ヲ經タル學則ニ依リ法律學政治學理財學ヲ教授スル私立學校ノ卒業證書ヲ所持シ若クハ陸軍試驗委員ノ試験ニ及第シ服役中食料被服裝具等ノ費用ヲ自辨シ豫備後備將校タル冀望ヲ有スル者ハ志願ニ由リ一箇年間陸軍現役ニ服スルコトヲ得但費用ノ全額

ヲ自辨シ能ハサルノ證アル者ニハ其幾分ヲ官給スルコトアル可シ

一年志願兵ノ豫備後備役年期ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

滿十七歳以上二十八歳以下ニシテ官立府縣立師範學校ノ卒業證書ヲ所持シ官立公立小學校ノ教職ニ在ル者ハ六週

間陸軍現役ニ服セシム其應役ニ關スル費用ハ官給トス

前項ノ現役ヲ終リタル者ハ直チニ國民兵役ニ服セシム

第三項又ハ第四項ニ依リ服役中ノ者ニシテ滿二十八歳迄

ニ其教職ヲ罷ムル者ハ抽籤ノ法ニ依ラスシテ更ニ二箇年

間陸軍現役及常例ノ豫備役後備役ニ服セシム但第一項ニ

依リ一年志願兵ヲ志願スル者ハ此限リニ在ラス

第十四條 禁錮ノ刑ニ處セラレ若クハ賭博犯ニ由リ懲罰ニ

處セラレタル者ハ一年志願兵タルコトヲ許サス

第十五條 現役中殊ニ勤務ニ熱シ品行方正ナル者ハ歸休ヲ

命スルコトアル可シ

第十六條 豫備兵後備兵ハ戰時若クハ事變ニ際シ之ヲ召集

ス平常ニ在テハ毎年一度六十日以内勤務演習ノ爲メ之ヲ

召集シ又毎年一度簡閱點呼ヲ爲ス

第十七條 陸軍補充兵及海軍補充兵ハ現役兵ノ補缺ニ充テ

又戰時若クハ事變ニ際シ之ヲ召集ス但陸軍補充兵ヲ以テ

現役兵ノ補缺ニ充ツルハ其服役ノ初年ニ限ル

陸軍補充兵ハ平常ニ在テ百五十日以内教育ノ爲メ之ヲ召

集ス其他勤務演習及簡閱點呼ヲ爲スコト豫備兵ニ同シ

第十八條 國民兵ハ戰時若クハ事變ニ際シ後備兵ヲ召集シ

仍ホ兵員ヲ要スルトキニ限リ之ヲ召集ス

第三章 免役延期及勸懲

第十九條 兵役ヲ免スルハ瘡疾又ハ不具等ニシテ徵兵検査

規則ニ照シ兵役ニ堪ヘサル者ニ限ル

第二十條 左ニ掲グル者ハ徵集ヲ延期ス次年ニ於テ仍ホ徵

集ニ適セサル者ハ國民兵役ニ服セシム

第一 體格完全且強壯ナルモ身幹未タ定尺ニ滿タサル者

第二 疾病中又ハ病後ニシテ勞役ニ堪ヘサル者

第二十一條 公權ノ剝奪若クハ停止ヲ附加ス可キ重輕罪ノ

爲メ訊問若クハ拘留中ノ者ハ徵集ヲ延期ス

第二十二條 徵集ニ應スルトキハ其家族自活シ能ハサルノ

確證アル者ハ本人ノ願ニ由リ徵集ヲ延期ス其故三箇年

ヲ過クルモ仍ホ止マサル者ハ國民兵役ニ服セシム但分家

又ハ絶家廢家再興ノ故ヲ以テ本條ニ當ル者其他自活シ能

ハサル事故ヲ作爲シタル者ハ其願ヲ許可セス

第二十三條 第十三條第一項ニ掲グル學校ニ在役ノ者ハ本

人ノ願ニ由リ滿二十八歳迄徵集ヲ猶豫ス其事故滿二十八

歳迄ニ止ミ又ハ二十八歳ヲ過クルモ仍ホ止マサル者ハ抽

彼ノ法ニ依ラスシテ之ヲ徵集ス但第十三條第一項ニ依リ一年志願兵ヲ志願スル者及第十三條第三項ニ依リ服役スル者ハ此限ニ在ラス

韓國、露國領沿海州、露國領薩哈噠、清國、香港、澳門以外ノ外國ニ在ル者ハ本人ノ願ニ由リ徵集ヲ猶豫ス滿三十二歳迄ニ歸朝スル者ハ抽籤ノ法ニ依ラスシテ之ヲ徵集シ三十二歳ヲ過クル者ハ國民兵役ニ服セシム但第十三條第一項ニ依リ一年志願兵ヲ志願スル者ハ此限ニ在ラス

第二十四條 餘人ヲ以テ代フ可カラサル職務ヲ奉スル官吏及市町村長、助役及收入役ハ豫備兵役備兵ニ在ルト陸軍補充兵ニ在ルトヲ問ハス勤務演習簡閱點呼ノ爲メ召集スルコトナシ

法律ヲ以テ設立シタル議會ノ議員其開會中亦同シ

第四章 雜則

第二十五條 毎年一月一日ヨリ十一月三十日迄ニ滿二十歳ト爲ル者ハ其年一月中ニ、十二月一日ヨリ同月三十一日迄ニ滿二十歳ト爲ル者ハ翌年一月中ニ又第二十三條第一項ニ當ル者ニシテ二十八歳迄ニ事故止ミ同條第二項ニ當ル者ニシテ三十二歳迄ニ歸朝シタル者ハ十四日以内ニ書面ヲ以テ(戶主ニ非サル者ハ其戶主ヨリ)本籍ノ市町村長ニ届出可シ但二十歳未滿ニシテ現役ヲ終ヘタルモノ又

ハ現役中ノ者ハ本條ノ届出ヲ爲スニ及ハス

第二十六條 徵集ハ本籍所在ノ徵募區ニ於テスルモノトス

第二十七條 疾病又ハ犯罪等ノ爲メ期限ニ際シ入營シ難キ者ハ翌年之ヲ徵集ス

第二十八條 兵役ヲ免レンカ爲メ身體ヲ毀傷シ疾病ヲ作爲シ其他詐僞ノ所爲ヲ用ヒ又ハ逃亡若クハ潛匿シタル者又ハ正當ノ事故ナク身體ノ検査ヲ受ケサル者ハ抽籤ノ法ニ依ラスシテ之ヲ徵集ス

第二十九條 服役年期ノ計算ハ現役豫備役補充役及海軍後備役ニ在テハ各其役ニ就ク年ノ十二月一日(第十三條第三項ニ依リ服役スル者ノ現役年期ノ計算ハ勅令ヲ以テ規定スル月日ヨリ起算ス)陸軍後備役ニ在テハ其役ニ就ク年ノ四月一日ヨリ起算ス但第七條ニ依リ延期シタルモノト雖モ服役年期ノ計算ハ延期セサル者ニ同シ

現役中禁錮ノ刑ニ處セラレ又ハ逃亡シタル者其刑期中及逃亡中ノ日數ハ現役年期ニ算入セス其豫備役年期ハ現役ヲ終ル年ヨリ起算シ陸軍ニ在テハ第六年日ノ三月三十一日迄海軍ニ在テハ第五年日ノ十一月三十日迄トス但第十條ニ依リ現役年期ヲ短縮シタルモノハ其現役ヲ短縮シタル場合ニ於ケル豫備役年期ニ應ジ本項ニ準シテ計算ス豫備役後備役及補充役中犯罪ノ爲メ又ハ正當ノ事由ナク

シテ召集ヲ缺キタル者其召集ヲ缺キタル年ハ服役年期ニ算入セス

第五章 罰則

第三十條 第二十五條ノ届出ヲ爲ササル者及正當ノ事故ナク身體ノ検査ヲ受ケサル者ハ三圓以上三十圓以下ノ罰金ニ處ス

第三十一條 兵役ヲ免レンカ爲メ逃亡シ又ハ潛匿シ若クハ身體ヲ毀傷シ疾病ヲ作爲シ其他詐僞ノ所爲ヲ用ヒタル者ハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ三圓以上三十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第六章 附則

第三十二條 本令ハ明治二十二年一月ヨリ施行ス但第二十五條ノ届出期限ハ明治二十二年ニ限り三月一日ヨリ同月十五日迄トス

第三十三條 本令ハ北海道ニ於テ函館江差福山ノ外及沖繩縣並東京府管下小笠原島ニハ漸ヲ以テ施行ス其時期區域及特ニ徴集ヲ免除シ若クハ猶豫ス可キモノハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第三十四條 本令中市町村長トアルハ市制町村制ヲ實施スル迄ノ間戸長ノコトトス

第三十五條 現今陸軍豫備役ニ在ル者ノ服役年期ハ第三條

ニ依ル其後備役ニ在ル者ハ當備役年期ヲ通シテ十二箇年四箇月トス

第三十六條 舊令第十七條ニ依リ徴集猶豫ニ屬シタル者ハ徴集ヲ延期シ其事故七箇年ヲ過クルモ仍ホ止マサルトキハ國民兵役ニ服セシム

第三十七條 舊令第十八條第二項ニ依リ徴集猶豫ニ屬シタル者ハ徴集ヲ延期シ其事故七箇年ヲ過クルモ仍ホ止マサルトキハ國民兵役ニ服セシム

第三十八條 舊令第十八條第七項及第二十一條ニ依リ徴集猶豫ニ屬シタル者ハ徴集ヲ延期シ其事故七箇年ヲ過クルモ仍ホ止マサルトキハ國民兵役ニ服セシム

第三十九條 舊令第十八條第三項ノ生徒ニシテ第一豫備徵員ト爲リ仍ホ在校ノ者ハ該徵員タルコトヲ止メ滿二十七歳迄徴集ヲ猶豫シ其事故二十七歳ヲ過クルモ仍ホ止マサルトキハ國民兵役ニ服セシム

第四十條 第三十六條第三十七條第三十八條及第三十九條ニ掲クル者其事故各其本條ノ期限内ニ止ミタルトキハ抽籤ノ法ニ依リ徴集ス但一年志願兵ヲ志願スルコトヲ得

第四十一條 舊令第十八條第三項若クハ第十九條ニ依リ徴集猶豫ニ屬シ在校ノ者ハ其事故六箇年以内ニ止ミタルトキ又ハ八箇年ヲ過クルモ仍ホ止マラサルトキハ抽籤ノ法

ニ依リ徵集ス但一年志願兵ヲ志願スルコトヲ得

第四十二條 舊令第三十條ニ依リ補充員トナリタル者ハ之ヲ豫備徵員ト爲シ一箇年間(明治二十一年十二月一日ヨリ起算ス)ニ徵集セサル者ハ國民兵役ニ服セシム

第四十三條 舊令第三十一條ニ依リ第一豫備徵員ト爲リ在
校セサル者及舊令第三十二條ニ依リ第二豫備徵員ト爲リ
タル者ハ直ニ國民兵役ニ服セシム補充員ヨリ第一豫備徵
員トナリタル者亦同シ

第四十四條 明治十二年第四十六條布告徵兵令ニ依リ國民
軍ノ外免役又ハ平時免役若クハ徵集猶豫ニ屬シタル者ハ
直ニ國民兵役ニ服セシム

第四十五條 舊令第八條ニ依リ海軍兵ト爲リタル者ノ服役
期限ハ同令第三條及第四條ニ依ル

第四十六條 第三十六條第三十七條第三十八條ニ掲グル徵
集延期ノ者及第三十九條第四十一條ニ掲グル徵集猶豫ノ
者其事故各本條ノ期限内ニ止ミタルトキハ三日以内ニ本
籍ノ市町村長ニ届出可シ

第十三條第三項又ハ第四項ニ依リ服役中ノ者エシテ滿二
十八歳迄ニ其敎職ヲ罷ムル者ハ三日以内ニ本籍ノ市町村
長ニ届出可シ

第一項及ヒ第二項ノ届出ヲ爲ササル者及ヒ本令施行前舊

令第三十五條第三十六條ノ届出ヲ爲サスシテ本令施行後
ニ於テ發覺スル者ハ本令第三十條ニ依リ處分ス可シ

附則 (明治三十七年九月勅令第二百十二號附則)

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際ニ於ケル第一補充兵及第二補充兵ハ前後ノ服
役ヲ計算シテ十二箇年四箇月ニ滿ツル迄補充兵役ニ服セシ
ム

本令施行ノ際第一國民兵役ニ在ル陸軍出身者ニシテ服役尙
五箇年ニ滿タサル者ハ五箇年ニ滿ツル迄後備兵役ヲ終リタ
ル者ニ在リテハ後備兵役ニ、第一補充兵役ヲ終リタル者ニ
在リテハ補充兵役ニ服セシム

(明治三十七年十二月帝國議會承諾)

●徵兵令ヲ北海道ニ

施行ノ件

明治二十八年九月廿一日
勅令第二百二十六號

(一部
改正)

明治三〇年八月勅令第二五七號、三八年同第三
三六號、四〇年七月同第二五五號

朕北海道ニ徵兵令ヲ施行スルノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セ
シム

第一條 明治二十九年一月一日ヨリ北海道渡島、後志、膽振、石狩ノ四箇國ニ徵兵令ヲ施行ス
明治三十一年一月一日ヨリ天鹽、北見、日高、十勝、釧路、根室、千島ノ七箇國ニ徵兵令ヲ施行ス

●徵兵令ヲ沖繩縣及小笠原島ニ施行ノ件

明治三十年八月七日
勅令第二百五十八號

(一部) 改正 明治三十七年二月勅令第四九號、四〇年七月同第
二五五號

朕沖繩縣及東京府管下小笠原島ニ徵兵令ヲ施行スルノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

明治三十一年一月一日ヨリ沖繩縣及東京府管下小笠原島ニ徵兵令ヲ施行ス

●徵兵事務條例

明治二十九年三月三十一日
勅令第一百十二號

明治三十二年四月勅令第一一三號、三十五年二月同

(一部) 改正 第三四號、三六年三月同第六四號、三七年二月同第四七號、三九年六月同第一五二號、四〇年

七月同第二五四號

朕樞密顧問ノ諮詢ヲ經テ徵兵事務條例ノ改正ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

徵兵事務條例

第一章 徵兵區

第一條 徵兵區ハ師管及聯隊區又ハ警備隊區ノ區域ニ從フ

第二條 聯隊區及警備隊區ハ更ニ之ヲ徵募區ニ分ツ

第三條 徵募區ハ一郡一市又ハ一島嶼ノ管轄區域ヲ以テ一區ト爲ス但シ北海道ニ在リテハ支廳ノ管轄區域又ハ區、沖繩縣ノ區ニ在リテハ區ヲ以テ一區ト爲シ一市ニシテニ聯隊區ニ分屬スルモノハ各別ニ一區ト爲ス
東京市、京都市、大阪市ニ於テハ更ニ徵募區ヲ檢查區ニ分チ區ヲ以テ檢查區ト爲ス

第四條 非兵隊ノ兵員ハ聯隊毎ニ其ノ師管ノ一聯隊區ヨリ、其ノ他ノ兵員ハ其ノ師管各聯隊區ヨリ之ヲ徵集ス但シ要員配賦上ノ必要ニ依リ他ノ聯隊區又ハ他ノ師管ヨリ之ヲ徵集スルコトヲ得
徵兵區ヲ有セサル團隊ノ兵員ハ各師管又ハ數師管ヨリ之ヲ徵集ス

警備隊ノ兵員ハ其ノ警備隊區ヨリ之ヲ徵集ス
海軍兵員ハ各師管ハ沿海及島嶼ヲ包括スル聯隊區及沖繩
警備隊區ヨリ之ヲ徵集ス

第二章 徵兵官

第五條 徵兵官ハ總理徵兵官、師管徵兵官、聯隊區徵兵官、
警備隊區徵兵官及聯隊區聯合徵兵署徵兵官トス

第六條 總理徵兵官ハ內務大臣及陸軍大臣ヲ以テ之ニ充テ
全國徵兵ノ事ヲ統轄ス

第七條 師管徵兵官ハ師管內府縣毎ニ師團長及府縣知事ヲ
以テ之ニ充テ師團長ヲ首座トシ其ノ管內府縣徵兵ノ事ヲ
統轄ス

北海道ニ於テハ師團長及北海道廳長官ヲ以テ師管徵兵官
ニ充テ師團長ヲ首座トシ其ノ管內徵兵ノ事ヲ統轄ス

第八條 聯隊區徵兵官ハ聯隊區內徵募區毎ニ聯隊區司令官
及島司郡市長ヲ以テ之ニ充テ警備隊區徵兵官ハ警備隊司
令官及島司郡市長ヲ以テ之ニ充テ聯隊區司令官又ハ警備
隊司令官ヲ首座トシ其ノ區內徵募事務ヲ執行ス

東京市、京都市、大阪市ニ於テハ検査區毎ニ聯隊區司令
官及區長ヲ以テ聯隊區徵兵官ニ充テ聯隊區司令官ヲ首座
トシ抽籤事務ヲ除クノ外其ノ區內徵募事務ヲ執行ス

第九條 聯隊區聯合徵兵署徵兵官ハ東京市、京都市、大阪

市ニ於テ徵募區毎ニ聯隊區司令官、市長及各區長ヲ以テ
之ニ充テ聯隊區司令官ヲ首座トシ其ノ區內抽籤事務ヲ執
行ス

第十條 前二條ノ徵兵官事故アルトキハ聯隊區司令官及警
備隊司令官ニ在リテハ師團長ニ於テ其ノ部下ノ佐官又ハ
尉官ヲシテ其職務ヲ代理セシメ島司及郡市區長ニ在リテ
ハ各其ノ職務ヲ代理スル者徵兵官ノ職務ヲ行フ

第十一條 及第十二條 (削除)

第十三條 毎年徵募事務執行中ハ師管徵兵官及聯隊區徵
兵官聯隊區徵兵副官又ハ警備隊區徵兵官警備隊區
徵兵副官ヲ置ク但シ警備隊區徵兵副官ハ時宜ニ依リ
之ヲ置カサルコトヲ得

師管徵兵官ハ師團長ニ屬シ師管內徵兵身體検査ニ係ル
事ヲ管掌シ聯隊區徵兵官ハ聯隊區司令官ニ警備隊區徵
兵官ハ警備隊區司令官ニ屬シ其ノ區內徵兵身體検査ニ
係ル事ヲ管掌シ聯隊區徵兵副官ハ聯隊區徵兵官ヲ警
備隊區徵兵副官ハ警備隊區徵兵官ヲ補佐ス

第十四條 師管徵兵官ハ師團軍醫部長ヲ以テ之ニ充テ聯
隊區徵兵官及警備隊區徵兵官ハ陸軍一等軍醫一名聯
隊區徵兵副官及警備隊區徵兵副官ハ陸軍二三等軍醫
ノ内一名ヲ以テ之ニ充ツ

第十五條 毎年徵募事務執行中ハ聯隊區徵兵署、警備隊區徵兵署ハ聯隊區聯合徵兵署ニ事務員ヲ置キ該徵兵署ノ庶務ニ從事セシム

第十六條 聯隊區徵兵署事務員又ハ警備隊區徵兵署事務員ハ聯隊區書記又ハ警備隊區書記一名若ハ二名及看護長一名並島廳郡市書記（東京市、京都市、大阪市ノ區ニ在テハ區書記）二名乃至四名ヲ以テ之ニ充ツ

聯隊區聯合徵兵署事務員ハ聯隊區書記一名若ハ二名市書記二名及各區書記二名乃至四名ヲ以テ之ニ充ツ

第十七條 師管徵兵官タル師團長、師管徵兵醫官タル師團軍醫部長遠隔ノ地ニ在ル爲其ノ職務ヲ行ヒ難キ場合ニ於テハ必要ニ應シ陸軍大臣他ノ師團長又ハ師團軍醫部長ヲ指定シテ其ノ職務ヲ行ハシムルコトヲ得

第三章 配賦

第十八條 毎年徵集スヘキ現役兵及補充兵ノ員數ハ上裁ヲ經テ陸軍大臣之ヲ各師管ニ配賦ス

第十九條 師團長ハ第十八條ニ依リ現役兵及補充兵ノ要員ヲ各聯隊區又ハ警備隊區ニ聯隊區司令官又ハ警備隊司令官ハ之ヲ各徵募區ニ配賦ス

第二十條 現役兵及補充兵ノ配賦ハ壯丁ノ總數ヲ基準トシテ之ヲ定ム

第四章 徵募

第二十一條 町村長ハ毎年戶籍簿ニ據リ前年十二月一日ヨリ其ノ年十一月三十日迄ノ徵兵適齡者ヲ取調ヘ徵兵令第二十五條ノ屆書ニ照較シ壯丁名簿ヲ作り二月十五日迄ニ島司又ハ郡長ニ差出シ島司郡長ハ點檢ノ後之ヲ一徵募區ニ取纏メ前年假決ノ諸名簿ト共ニ聯隊區徵兵署又ハ警備隊區徵兵署ニ提出スヘシ

市長（東京市、京都市、大阪市ニ在リテハ區長）ハ前項ノ例ニ依リ壯丁名簿ヲ作り前年假決ノ諸名簿ト共ニ之ヲ聯隊區徵兵署ニ提出スヘシ

第二十一條ノ二 假決處分ヲ受ケタル者ニシテ引續キ七箇年間所在不明ナルトキハ其所在分明トナルトキ徵集ニ關スル手續ヲ爲スヘシ

第二十二條 毎年徵募事務執行ノトキハ各徵募區及検査區ニ聯隊區徵兵署又ハ警備隊區徵兵署ヲ設ク但シ地方ノ狀況ニ依リ二箇所以上ノ地ニ逐次開設シ又ハ一徵募區若ハ一検査區ノ徵兵署ヲ他ノ徵募區若ハ検査區内ニ設クルコトヲ得

東京市、京都市、大阪市ニ於テハ抽籤執行ノ爲メ別ニ徵募區ニ聯隊區聯合徵兵署ヲ設ク

第二十三條 聯隊區司令官又ハ警備隊司令官ハ島司郡市長

ニ協議シ徵兵署開設ノ日割ヲ定メ聯隊區司令官警備隊司令官ハ師團長ニ島司郡市長ハ北海道廳長官府縣知事ニ申報スヘシ

但シ前條第一項但書ノ場合ニ於テハ豫メ聯隊區司令官又ハ警備隊司令官ヨリ師管徵兵官ノ認可ヲ受ケヘシ
島司郡市長ハ検査抽籤ノ日時及徵兵署設置ノ場所ヲ豫メ其ノ管内ニ告示スヘシ

第二十四條 兵役ノ適否ヲ定ムル爲メ聯隊區徵兵署又ハ警備隊區徵兵署ニ於テ壯丁ノ身體検査ヲ行フ其ノ検査ハ徵兵官ノ面前ニ於テスルモノトス

町村長ハ前項ノ検査ニ列席シ徵兵官ノ諮詢ニ應スヘシ
第二十五條 聯隊區司令官又ハ警備隊司令官ハ壯丁ノ身體検査ノ事ヲ監督シ兵種ノ選定ニ任ス

第二十六條 島司郡市長（東京市、京都市、大阪市ニ在テハ區長）ハ徵集延期及徵集猶豫ニ關スル書類ノ調査及事實ノ審覈ニ任ス

第二十七條 壯丁ノ身體検査終ルトキハ聯隊區徵兵官又ハ警備隊區徵兵官ハ徵集延期、徵集猶豫、徵集免除及兵役免除ノ處分ヲ爲シ又壯丁名簿ヲ以テ徵集名簿、徵集延期名簿、徵集猶豫名簿、徵集免除名簿及兵役免除名簿ヲ作ルヘシ但シ徵兵令第十二條ニ依ル陸軍現役兵志願者ヲ採用

シタルトキハ其ノ名簿ヲ徵集名簿ニ添附スヘシ

第二十八條 身體検査ニ合格シタル壯丁ハ徵集順序ヲ定ムル爲メ徵募區毎ニ體格ノ等位及兵種ヲ分チ聯隊區徵兵署又ハ警備隊區徵兵署ニ於テ抽籤ヲ行フ但東京市、京都市、大阪市ニ於テハ聯隊區聯合徵兵署ニ於テ之ヲ行フ
抽籤ハ徵兵官及町村長列席ノ上抽籤總代人ノヲ爲スモノトス

抽籤總代人ハ徵兵官其ノ年ノ壯丁ニ就キ市町村長（東京市、京都市、大阪市ニ在リテハ區長以下同シ）ヲシテ之ヲ選定セシム其ノ人員ハ適宜トス

第二十九條 前條ノ徵兵官ハ總代人ノ抽キタル籤番號ノ順序ニ依リ抽籤名簿ニ通テ作ルヘシ

第三十條 抽籤終ルトキハ抽籤名簿及徵集名簿ハ聯隊區司令官又ハ警備隊司令官之ヲ領シ抽籤名簿、徵集延期名簿、徵集猶豫名簿、徵集免除名簿及兵役免除名簿ハ島司郡市長之ヲ領シ島廳、郡市役所ニ備ヘ置クヘシ但東京市、京都市、大阪市ニ於テハ抽籤名簿ヲ除ク外ハ區長之ヲ領シ區役所ニ備置クヘシ

第三十一條 各徵募區ノ抽籤終ルトキハ聯隊區司令官又ハ警備隊司令官ハ第十九條ノ配賦ニ基キ現役兵徵募及補充兵編入ノ處分ヲ爲シ又ハ徵集名簿ヲ以テ現役兵名簿補充

兵名簿及要員超過名簿ヲ作ルヘシ

第三十二條 聯隊區司令官又ハ警備隊司令官ハ現役兵名簿ヲ各聯隊長（聯隊ヲ爲ササル隊ニ在テハ其ノ隊長）及鎮守府兵專官ニ交付シ且現役兵ニ徵募スヘキ者及補充兵ニ編入スヘキ者ノ順序ヲ島司郡市長ニ通知スヘシ
抽籤名簿及補充兵名簿ハ之ヲ聯隊區司令部又ハ警備隊司令部ニ備置キ要員超過名簿ハ島司郡市長ニ交付シ島廳郡市役所ニ備置クヘシ

第三十三條 第二十七條ノ處分ヲ爲シタル者ニハ聯隊區徵兵官又ハ警備隊區徵兵官第三十一條ノ處分ヲ爲シタル者ニハ聯隊區司令官又ハ警備隊司令官各其ノ證書ヲ附與ス但徵集免除ノ者竝ニ要員ニ超過シタル者ニハ證書ヲ附與セス

第三十四條 徵募事務終ルトキハ聯隊區司令官又ハ警備隊司令官ハ徵兵事務報告書及徵兵表ヲ作リ十一月十日迄ニ師團長ニ差出シ師團長ハ師管徵兵事務報告書及徵兵表ヲ作リ十一月三十日迄ニ陸軍大臣ニ差出シ陸軍大臣ハ全國徵兵表ヲ作リ奏上スヘシ

第五章 裁決

第三十五條 裁決ハ分テ假決及終決ノ二種トス

第三十六條 假決ハ徵集延期及徵集猶豫ノ事ヲ裁決シ終決

ハ現役兵徵募、補充兵編入、要員超過、徵集免除及兵役免除ノ事ヲ裁決ス

第三十七條 徵集延期、徵集猶豫、徵集免除及兵役免除ノ裁決ハ聯隊區徵兵官又ハ警備隊區徵兵官之ヲ爲シ其ノ他ノ裁決ハ聯隊區司令官又ハ警備隊區司令官之ヲ爲ス

第三十八條 壯丁若クハ其ノ家族ニ於テ徵兵令第二十二條ニ關スル聯隊區徵兵官又ハ警備隊區徵兵官ノ裁決ニ不服アルトキハ師管徵兵官ニ師管徵兵官ノ裁決ニ不服アルトキハ總理徵兵官ニ訴願スルコトヲ得但訴願ノ爲ニ裁決ノ執行ヲ停止セス

本條ノ訴願ハ裁決書ヲ受ケタル日ヨリ二十日以内ニ之ヲ爲スヘシ其ノ期日ヲ過クルモノハ之ヲ受理セス

第三十九條 徵兵官ノ裁決ニ對シ訴願ヲ爲サントスル者ハ其ノ訴願書ニ同徵募區内其ノ年徵募ニ應スヘキ壯丁ノ戸主三名ノ保證書ヲ添ヘ其ノ裁決ヲ爲シタル徵兵官ヲ經由シテ差出スヘシ

徵兵官前項ノ訴願書ヲ受領シタルトキハ之ニ前裁決ニ關スル書類ヲ添ヘ上級ノ徵兵官ニ差出スヘシ

第四十條 總理徵兵官又ハ師管徵兵官ハ下級徵兵官ノ處分違法又ハ不當ナリト認ムルトキハ之ヲ取消シ更ニ處分ヲ命スヘシ但シ師管徵兵官ハ總理徵兵官ノ認可ヲ受クヘシ

第四十一條 徵兵官ノ裁決ニ對シテハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ許サス

第六章 現役兵及補充兵

第四十二條 現役兵入營期日ハ毎年十二月一日トス但疾病犯罪其ノ他ノ事故ニ由リ十二月一日ニ入營シ難キ者ハ同月三十一日迄ニ入營セシム

警備兵ノ入營ハ二期ニ分チ其ノ第一期ハ徵募年ノ十二月一日、第二期ハ翌年六月一日トシ輜重輸卒ノ入營ハ四期ニ分チ其ノ第一期ハ徵募年ノ十二月一日、第二期ハ翌年三月一日、第三期ハ同年六月一日、第四期ハ同年九月一日トス

第七師管 第八師管 第九師管及第十三師管ニ於ケル輜重輸卒ノ入營ハ三期ニ分チ其ノ第一期ハ徵募年ノ翌年三月一日、第二期ハ同年六月一日、第三期ハ同年九月一日トス

戰時若ハ事變ノ際必要ノ場合ニ在テハ前諸項ノ入營期日ヲ變更スルコトヲ得

第四十三條 (削除)

第四十四條 現役兵入營ニ際シ父母ノ疾病危篤或ハ死亡ノ爲メ延期ヲ願フ者アルトキハ聯隊區司令官又ハ警備隊司令官ニ於テ二十日以内ノ延期ヲ許スヘシ

其ノ延期ヲ願フ者ハ願書ニ市町村長ノ奥書證印ヲ受ケ其ノ父母ノ危篤ノ者ハ醫師診斷書ヲ添ヘ差出スヘシ

第四十五條 現役兵入營前ハ第四條ノ區域外ニ轉籍(戶籍上本人ノ出入モ含有ス以下同シ)スルモ所屬ノ隊籍ヲ變更セス

徵兵令第二十七條ニ當リ翌年回ト爲リタル者ハ身體検査ヲ行ヒ更ニ隊籍ヲ定ムル者トス但第四條ノ區域外ニ轉籍シタル者ハ其地ニ於テ身體検査ヲ行ヒ隊籍ヲ定ム

第四十六條 現役兵入營前若ハ入營後ニ於テ死亡、疾病、犯罪其ノ他ノ事故ニ依リ又ハ第四十二條第一項但書ノ期日ヲ過クルモ入營シ難キモノアルニ依リ關員ヲ生シタルトキハ徵募年ノ翌年一月三十一日迄ニ其ノ徵募區同兵種ノ補充兵ヲ以テ徵集順序ニ從ヒ補充ス但シ警備隊兵及輜重輸卒ニ在リテハ入營スヘキ月ノ十日迄ニ次期入營スヘキ者ヲ繰リ上ケ入營セシメ其ノ最終期ニ於テハ前期ニ繰リ上ケタル關員ト其ノ期ノ關員トヲ補充ス又看護卒ニ在リテハ入營スヘキ月ノ十日迄ニ補充スルモノトス

徵兵令第十二條ニ依リ陸軍現役兵ニ採用シタル者關員ト爲リタル場合ノ補充ハ之ヲ採用シタル聯隊區又ハ警備隊區内ニ於ケル同兵種ノ補充兵ヲ以テ徵集順序ニ從ヒ補充ス

第一項ノ場合ニ於テ其ノ徵募區ヨリ補充スルコト能ハサルトキハ聯隊區又ハ警備隊區内他ノ徵募區ヨリ第一項又ハ第二項ノ場合ニ於テ其ノ聯隊區又ハ警備隊區ヨリ補充スルコト能ハサルトキハ師管内他ノ聯隊區又ハ警備隊區ヨリ、其ノ師管ヨリ補充スルコト能ハサルトキハ他ノ師管ヨリ之ヲ補充スルコトヲ得其ノ補充ハ總テ徵集順序ニ依ルモノトス

前二項ニ依ル補充員ノ配賦ハ各徵募區、各聯隊區又ハ警備隊區、各師管同兵種補充兵ノ總數ヲ率トシ比例ヲ以テ之ヲ定ム

臨時ニ多數ノ闕員ヲ生シタル場合ニ於テハ第一項ノ期日ニ拘ラス前諸項ノ例ニ依リ各年次ニ於ケル現役兵ノ闕員ヲ補充スルコトヲ得

第四十七條 現役兵入營前癱疾又ハ不具トナリ永久兵役ニ堪ヘ難キ者アルトキハ聯隊區司令官又ハ警備隊司令官ニ於テ兵役ヲ免ス但徵兵令第二十七條ニ當リ翌年回ト爲リタル者其ノ年徵募事務終結前ハ此ノ限ニ在ラス

第四十八條 現役兵入營前徵兵令第二十二條ニ當ルヘキ事故ノ生スルトキハ本人ノ願ニ由リ聯隊區司令官又ハ警備隊司令官ニ於テ徵集ヲ延期ス

其ノ願書ニハ同徵募區内其ノ年徵集ニ應スヘキ現役兵ノ

戸主二名ノ保證書ヲ添ヘ烏司郡市長ヲ經テ聯隊區司令官又ハ警備隊區司令官ニ差出スヘシ但東京市、京都市、大阪市ニ在テハ區長町村ニ在テハ町村長ノ奥書證印ヲ受クヘキモノトス

烏司郡市長ハ其ノ事實ヲ定數シ狀況書ヲ作り願書ト共ニ聯隊區司令官又ハ警備隊區司令官ニ送付スヘシ

第四十九條 現役兵入營前及補充兵（補充兵證書附與後其ノ年十一月三十日以前ノ者以下同シ）轉籍シタルトキハ十四日以内ニ舊住地烏司郡市長ヲ經テ舊住地聯隊區司令官又ハ警備隊司令官ニ届出ヘシ但東京市、京都市、大阪市ニ在テハ區市町村ニ在テハ町村長ヲ經由スヘシ

其ノ轉籍聯隊區外又ハ警備隊區外ニ係ルトキハ舊住地聯隊區司令官又ハ警備隊司令官ヨリ新住地聯隊區司令官又ハ警備隊司令官ニ通報スヘシ

本條ノ届出ヲ爲ササル者ハ五錢以上一圓九十五錢以下ノ科料ニ處ス

第五十條 現役兵入營前及補充兵寄留若ハ十四日以上ノ旅行ヲ爲サントスルトキハ召集ノ命アルトキ之ヲ通報スヘキ者ヲ定メ市町村ニ在リテハ市町村長ニ届出ツヘシ其ノ復歸シタルトキハ亦届出ツヘシ

本條ノ届出ヲ爲ササル者ハ五錢以上一圓九十五錢以下ノ

科料ニ處ス
通報人正當ノ事由ナクシテ召集ノ命ヲ通報セス若クハ其ノ通報ヲ遲緩シタルトキハ五錢以上一圓九十五錢以下ノ科料ニ處ス

第七章 雜則

第五十一條 徵兵令第十二條ニ依リ現役ニ服セムコトヲ志願スル者ハ其ノ願書ニ戸主及親權者連署シ身元證書ヲ添へ市町村長ノ奥書證印ヲ受ケ徵兵検査ノ際任意ノ聯隊區司令官又ハ警備隊司令官ニ願出テ身體検査ヲ受ケヘシ但シ海軍兵志願者ニ限リテハ九月一日迄ニ鎮守府ニ願出テ許可ヲ受ケルカ又ハ徵兵検査ノ際聯隊區徵兵署又ハ警備隊區徵兵署ニ申立テ身體検査ヲ受ケ合格者ハ其ノ合格證書ヲ添へ鎮守府ニ願出ツルモノトス
検査及人營ノ爲往復スル旅費ハ自辨トス

第一項ノ出願者中陸軍兵志願者ハ聯隊區司令官又ハ警備隊司令官ニ於テ本人希望ノ兵種隊號ヲ參酌シ配賦要員ニ充テ得ヘキ者ニ限リ之ヲ許可シ本人本籍地所管ノ聯隊區司令官又ハ警備隊司令官ニ通知スヘシ

第五十二條 前條ニ依リ服役ヲ許可シタル者入營シタルトキハ當該隊長又ハ鎮守府兵事官ヨリ本籍地ノ市町村長ニ通知スヘシ

第五十三條 他ノ徵募區ニ寄留スル者ハ願ニ依リ其ノ地ニ於テ身體検査ヲ受ケルコトヲ得
前項ニ依リ身體検査ヲ受ケタル者ハ寄留地徵募區ノ壯丁ト合シテ抽籤ヲ行フコトヲ得

第五十四條 徵兵令第二十二條ニ當ル者ハ同徵募區内其ノ年ノ徵集ニ應スヘキ壯丁ノ戸主二名ノ保證書ヲ添へ三月一日迄ニ(三月一日後身體検査前迄ニ事故ノ生シタル者ハ其ノ都度)聯隊區徵兵官又ハ警備隊區徵兵官ニ願出ヘシ但其ノ事故二年以上繼續スル者ハ毎年願出テ其ノ三箇年ヲ過クルモ仍ホ止マサル者ハ本文ノ保證書ヲ添へ届出ヘシ

前項ノ願書及届書ニハ町村長ノ奥書證印ヲ受ケヘキモノトス

第五十五條 徵兵令第二十三條第一項ニ當ル者ハ學校長ノ證明書同條第二項ニ當ル者ハ大使、公使、領事又ハ貿易事務官ノ證明書ヲ添へ毎年四月十五日迄ニ聯隊區徵兵官又ハ警備隊區徵兵官ニ願出ヘシ
大使、公使、領事及貿易事務官ヲ置カサル國ニ在ル者及一定ノ地ニ在留セサル旅行ノ者ハ其ノ徵集猶豫願書ニ海外旅券ヲ受取リタル官廳ノ證明書ヲ添へ差出スヘシ
大使公使領事及貿易事務官ヲ置キタル國ニ在ル者ト雖徵

集猶豫願ヲ差出ストキ未タ大使、公使、領事又ハ貿易事務官ノ證明書ヲ得サルトキハ之ニ換フルニ海外旅券ヲ受取リタル官廳ノ承認書ヲ添ヘ差出シ置キ追テ證明書ヲ差出スコトヲ得

本條ノ願書ニハ町村長ノ奥書證印ヲ受クヘキモノトス

第五十六條 (削除)

第五十七條 徵兵令第二十三條第一項ノ事故止ミタル者ノ願書及同條第二項ノ歸朝シタル者ノ願書ハ町村長ヨリ其ノ壯丁名簿進達前ニ在テハ其名簿ト共ニ進達後ニ在テハ受領ノ日ヨリ三日以内ニ島司郡市長ニ差出スヘシ

島司郡市長ハ前項ノ願書ヲ聯隊區徵兵署又ハ警備隊區徵兵署開設ノトキ同署ニ提出スヘシ但シ當該徵兵署閉鎖後師管内各徵兵署閉鎖前ニ在リテハ之ヲ聯隊區司令官又ハ警備隊司令官ニ差出スモノトス

第五十八條 傷痍疾病、犯罪若ハ所在不明等ノ爲又ハ志願兵出願者ニシテ其ノ検査ノ爲徵兵検査ヲ受ケ難キ場合ニ於テハ本人ヨリ、本人届出ヲ爲シ得ヘカラサルトキハ家事擔當者ヨリ書面ヲ以テ検査當日迄ニ島司郡市長ニ届出ツヘシ其ノ傷痍疾病ノ者ハ醫師ノ診斷書ヲ添フヘシ前項ノ届出ヲ爲シタル者其ノ事故止ミタルトキハ直ニ島司郡市長ニ届出ツヘシ

島司郡長ニ差出ス願書ニハ町村長ノ奥書證印ヲ受クヘキモノトス

本條ノ届出ヲ爲ササル者ハ五錢以上一圓九十五錢以下ノ

科料ニ處ス

第五十八條ノ二 徵兵區徵兵署閉鎖後徵兵令第二十三條第一項ノ事故止ミタル者、同條第二項ノ歸朝シタル者、前條第一項ノ事故止ミタル者、六週間現役兵ニシテ入營前教職ヲ罷メタル者、徵兵令第十三條第五項ニ該當スル者身體検査前身體検査ヲ終リタル徵兵區ニ轉籍シタル者其ノ他其ノ年徵兵検査ヲ受クヘキ者アルトキハ聯隊區又ハ警備隊區内各徵兵區徵兵署閉鎖前ニ在リテハ區内便宜ノ徵兵署ニ於テ身體検査ヲ行フヘシ但シ該區内各徵兵區ノ徵兵署閉鎖後ニ在リテハ師團長ノ指定シタル聯隊區又ハ警備隊區内便宜ノ徵兵署ニ於テ身體検査ヲ行フコトヲ得

前項ニ依リ身體検査ヲ爲シタル者ノ中抽籤ヲ要スル者ニ付テハ第五十三條ニ依リ寄留地ニ於テ身體検査ヲ受クル者ノ例ニ依ル

第五十九條 疾病、傷痍或ハ犯罪等ニテ期限ニ際シ入營シ難キ者ハ書面ヲ以テ入營當日迄ニ聯隊區司令官又ハ警備隊區司令官ニ届出ヘシ其ノ疾病、傷痍ノ者ハ醫師ノ診斷

斷書ヲ添フヘシ其ノ届書ニハ市町村長ノ奥書證印ヲ受クヘキモノトス

本條ノ届出ヲ爲ササル者ハ五錢以上一圓九十五錢以下ノ科料ニ處ス

第六十條 徵兵署ノ諸費、壯丁及抽籤總代人ノ旅費、徵兵入營ノ旅費ハ官給ス但シ徵兵令第十二條ニ依リ現役ニ服スル者ノ入營旅費ハ此ノ限ニ在ラス

第六十一條 第四十條ニ依リ更ニ處分ヲ爲ストキハ臨時徵兵署ヲ開設スルコトヲ得

第六十二條 鳥嶼ニ於テ本條例中ノ條規ヲ實施スルコト能ハサルトキハ師團長、地方長官協議ノ上適宜ノ方法ヲ設クルコトヲ得

第六十三條 徵兵令ヲ施行セサル地ニ寄留ノ者ハ寄留地最寄ノ徵兵區ニ於テ身體検査ヲ受クルコトヲ得其ノ取扱ハ第五十三條ニ依リ寄留地ニ於テ身體検査ヲ受クル者ノ例ニ依ル

朝鮮在留ノ者ニ在テモ前項ノ例ニ依リ適宜徵兵區ニ於テ身體検査ヲ受クルコトヲ得

第六十四條 徵兵令ヲ施行セサル地ヨリ施行ノ地ニ轉籍シタル者ハ其ノ年又ハ翌年ノ徵集ニ應セシム但年齡八十六歳ヲ過キ轉籍シタル者ハ此ノ限ニ在ラス

附則

第六十五條 北海道千島、伊豆七島及小笠原島ニ於ケル聯隊區徵兵官タル聯隊區司令官ノ職務ハ聯隊區副官又ハ他ノ將校ヲシテ臨時之ヲ行ハシムルコトヲ得

北海道千島、伊豆七島及小笠原島ニ於ケル徵兵事務執行ノ際ハ第十四條ノ規定ニ依ラス軍醫一名ヲ以テ聯隊區徵兵醫官ト爲シ聯隊區徵兵副醫官ヲ置カサルコトヲ得

第六十六條 本令中郡役所トアルハ北海道ニ在リテハ支廳、市役所トアルハ北海道及沖繩縣ニ在リテハ區役所、警備隊司令官トアルハ沖繩警備隊區ニ在リテハ警備隊區司令官、郡長郡書記トアルハ北海道ニ在リテハ支廳長支廳屬、市長市書記トアルハ北海道及沖繩縣ニ在リテハ區長、區書記、町村長トアルハ町村制ヲ施行セサル地ニ在リテハ戶長其ノ他町村長ニ準スヘキ者ニ該當ス

第六十七條 本條例ハ明治二十九年四月一日ヨリ施行ス
附則 (四十年勅令第二百五十四號附則)

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

徵兵事務條例補則ハ之ヲ廢止ス

本令施行ノ際徵兵令第十二條ニ依リ陸軍現役ニ服スルコトノ許可ヲ受ケ未タ入營セサル者ハ更ニ本令ノ規定ニ依リ願出ツヘキモノトス

砲兵輸卒及輜重輸卒ノ入營期日ニ關スル改正ハ明治四十年十二月一日ヨリ之ヲ施行ス
明治二十八年勅令第百二十六號第二條及明治三十年勅令第百五十八號第三條ニ依リ徵集ヲ猶豫セラルル者ニ關シテハ仍從前ノ規定ニ依ル

●徵兵事務條例施行

明治二十九年四月二十三日
陸軍省令第十號

明治三〇年四月陸軍省令第七號、三二年四月同第八號、三五年二月同第七號、三六年三月同第七號、三七年二月同第七號、三八年三月同第六號、三九年六月同第五號、四〇年二月同第二號、同年七月同第一〇號、四一年四月同第六號、四二年四月同第八號、四三年一〇月同第一四號、四四年一月同第一三號、大正元年一月同第一〇號、三年四月同第五號、四年一二月同第一六號、五年九月同第九號

徵兵事務條例施行細則左ノ通改正ス

徵兵事務條例施行細則

第一條 條例第四條第一項但書及同條第二項ニ依リ兵員徵

集區域ヲ定ムルコト左ノ如シ

近衛ノ歩兵隊及騎兵隊ノ兵員 各師管

前號以外ノ近衛兵員 第一師管

騎兵第一旅團、野砲兵第一旅團ノ兵員（近衛兵員ヲ除ク） 第十四師管

鐵道隊、電信隊ノ兵員 各師管

航空隊ノ兵員 第一師管、第十四師管

縫工卒、靴工卒

第一師管、第二師管、第三師管、第四師管、第五師管、第九師管、第十師管、第十一師管、第十二師管、第十三師管、第十四師管、第十五師管、第十六師管、第十七師管

第七師團ノ兵員 第一師管（伊豆七島及小笠原島ヲ除ク）第二師管、第七師管、第八師管、第十三師管、第十四師管

臺灣歩兵隊ノ兵員

第三師管、第四師管、第五師管、第六師管、第九師管、第十師管、第十一師管、第十二師管、第十三師管、第十六師管、第十七師管、第十八師管

臺灣山砲兵隊ノ兵員 第十七師管、第十八師管
基隆及澎湖島重砲兵隊ノ兵員 第四師管、第五師管、第十二師管、第十八師管

騎兵第三旅團（騎兵第八聯隊ヲ除ク）ノ兵員

〔第二師管、第八師管、第十三師管〕

騎兵第四旅團（騎兵第十九聯隊ヲ除ク）ノ兵員

〔第三師管、第九師管、第十五師管〕

旅順及鎮海灣重砲兵隊ノ兵員

第四師管、第五師管

第十九師團ノ兵員

〔第一師管（伊豆七島及小笠原島ヲ除ク）第三師管、第十四師管、第十五師管〕

第二十師團ノ兵員

〔第五師管、第十師管、第十二師管（壹岐郡ヲ除ク）第十七師管（隱岐島ヲ除ク）〕

輜重兵第一大隊ノ兵員

〔第一師管（伊豆七島及小笠原島ヲ除ク）第十四師管〕

輜重兵第十二大隊ノ兵員

〔第五師管、第十二師管（壹岐郡ヲ除ク）〕

輜重兵第十五大隊ノ兵員

第三師管、第十五師管

輜重兵第十七大隊ノ兵員

〔第十師管、第十七師管（隱岐島ヲ除ク）〕

第六師團、第十二師團及第十八師團ノ兵員ハ沖繩警備隊區ヨリモ之ヲ徵集ス

第一條ノ二 前條ノ現役兵員（鐵道隊、電信隊、航空隊ノ兵員縫工卒及靴工卒ヲ除ク）ハ徵集師管ヲ管轄スル師團

ノ同兵種ノ兵員ヲ通シテ之ヲ配賦シ近衛兵員ニ在リテハ適當ノ者ヲ以テ之ニ充テ其ノ他ノ兵員ニ在リテハ其ノ殘員中ニツキ第二十二條ノ徵集順序ニ從ヒ本籍師團兵、本籍師團外他部隊兵ノ順序（他部隊二箇以上トナルトキハ前條記載ノ順序）ニ依リ交互之ニ充ツルモノトス
前項ニ依リ決定シタル者翌年回ト爲リ又ハ第一條ニ依ル各團隊兵徵集區域内ニ於テ轉籍スルモ其ノ決定ヲ變更セサルモノトス

第一條ノ三 條例第二十一條ノ壯丁名簿ハ附錄第一様式ニ依リ之ヲ作り一市（東京市、京都市、大阪市ノ區ニ在リテハ區）一町村ヲ一冊ト爲シ冊尾ニ其ノ人員ノ總計ヲ記シ市町村長（東京市、京都市、大阪市ニ在リテハ區長）之ニ署名押印スヘシ

第二條 徵兵令第八條第二十五條但書ニ當ル者ハ市町村長（東京市、京都市、大阪市ニ在テハ區長）之ヲ調査シ人名書（各事項ヲ頭書ス）ヲ作り壯丁名簿ニ添附スヘシ

第三條 烏司郡市長ハ毎年一月一日調ヲ以テ其ノ年ノ徵兵適齡者人員及前年假決ノ人員（逃亡失踪所在不明ノ爲假決ニ屬スル者ニシテ七箇年ヲ過キ尙所在不明ナル者ヲ除ク）ヲ同月二十日迄ニ聯隊區司令官又ハ警備隊司令官ニ通知シ聯隊區司令官及警備隊司令官ハ其人員ヲ取纏メニ

月一日迄ニ師團長ニ報告シ師團長ハ二月十日迄ニ之ヲ陸軍大臣ニ報告スヘシ

前項ノ人員中前年假決ノ人員ハ之ヲ列記スヘシ
町村長及東京市京都市大阪市ノ區長ハ毎年一月十日迄ニ
第一項ノ適齡者人員ヲ島司郡市長ニ報告スルモノトス

第四條 聯隊區徵兵署及警備隊區徵兵署島司郡市長（東京市、京都市、大阪市ニ在リテハ區長）聯隊區聯合徵兵署ハ市長及區長ニ於テ適當ノ家屋ヲ選定シ要スレハ吏員ヲ派シテ豫メ準備シ聯隊區司令官又ハ警備隊司令官到者ノ上之ヲ開設スヘシ

一徵募區ニ二箇所以上聯隊區徵兵署又ハ警備隊區徵兵署ヲ設ケムトスルトキハ每箇所一日ニ於テ検査スヘキ規定ノ人員以上ノ壯丁ヲ集合セシムヘキ地ヲ選フヘシ但シ交通不便ノ地ニ在リテハ此ノ限ニ在ラス

第五條 聯隊區徵兵署警備隊區徵兵署開設日割既ニ定マルトキハ島司郡市長（東京市、京都市、大阪市ニ在テハ區長）ハ其ノ徵募區又ハ検査區内ニ於テ毎日検査ヲ受クヘキ壯丁ノ順序ヲ定メ期日ニ至リ壯丁ヲ徵兵署ニ出頭セシムヘシ

第六條 身體検査ヲ行フトキハ島廳郡市書記（東京市、京都市、大阪市ニ在テハ區書記）ハ壯丁ヲ呼出シ軍醫ハ徵

兵検査規則ニ依リ身體ヲ検査シ體格ノ等位其ノ他所要ノ件ヲ壯丁名簿（前年ノ假決名簿中検査ヲ受クヘキ者ノ名簿ヲ含有ス）ニ記入シ聯隊區司令官又ハ警備隊區司令官ニ差出スヘシ

第七條 身體検査ヲ行フニ當リ壯丁ヲシテ裸體ナラシムルトキハ勉メテ別室若ハ隔障内ニ於テスヘシ

第八條 身體検査ハ毎年四月十六日ヨリ八月下旬迄ノ間ニ於テ之ヲ行フヲ例トス

其ノ日割表ハ附錄第十一様式ニ依リ之ヲ作り聯隊區司令官又ハ警備隊司令官ハ二月二十日迄ニ師團長ニ報告シ師團長ハ三月一日迄ニ陸軍大臣ニ報告スヘシ

第九條 徵兵令第二十條第二十一條第二十二條ニ依リ徵集延期ニ屬スル者徵兵令第二十三條ニ依リ徵集猶豫ニ屬スル者竝ニ徵兵令第十九條ニ依リ兵役免除ニ屬スル者ニハ聯隊區徵兵署又ハ警備隊區徵兵署ニ於テ附錄第二第三様式ニ依リ徵集延期證書徵集猶豫證書兵役免除證書ヲ作り市ハ市長（東京市、京都市、大阪市ニ在テハ區長）ヨリ本人ニ附與シ郡又ハ島嶼ニ在テハ町村長ヲシテ本人ニ附與セシムヘシ

徵集免除ニ屬シ國民兵役ニ服スル者ニハ徵兵事務條例第二十八條ノ抽籤後前條ノ例ニ依リ本人ニ達スヘシ

第十條 徴兵令第二十二條ノ願ヲ許可セサル者及同條ノ事故繼續シテ三箇年ヲ過クルモ仍ホ止マサル旨届出タル者ニシテ徴兵免除ニ屬セサル者ニハ其ノ裁決書ヲ市ハ市長（東京市、京都市、大阪市ニ在テハ區長）ヨリ本人ニ附與シ郡又ハ島嶼ニ在テハ町村長ヲシテ本人ニ附與セシムヘシ

第十一條 陸軍兵ニ編入スヘキ者ハ左ノ項目ニ依リ之ヲ選ブノ外各兵種ノ任務ニ應シ學力ヲ有スル者ト否ラサル者トヲ適當ニ配當スヘキモノトス但シ騎兵電信隊兵及輜重兵ニ在リテハ他兵種ニ比シ學力ヲ有スル者ノ割合ヲ多クスヘシ

一 歩兵ハ脚力強健ニシテ勞力ニ堪ヘ且成ルヘク視力聽力完全ナル者

二 騎兵ハ馬匹ノ使用ニ慣レ視力聽力完全身體輕捷性質敏捷言語明晰ナル者但シ要員ノ約十二分一ハ蹄鐵工卒ニ適スル者

三 砲兵ハ體力強大視力清明ナル者但シ要員ノ約十六分一宛ハ鞍工木工鍛工卒ニ適スル者

四 工兵隊ノ兵員ハ臂力アル者但シ要員ノ約二十分一ハ鍛工卒ニ適スル者約六分一ハ木工卒ニ適スル者（船大工ヲ含ム）約五分一ハ船ノ使用ニ慣レタル者約二十分一ハ石工及掘鑿業務ニ從事シタル者其ノ他若干名ハ土木建築等ノ業務ニ從事シタル者

鐵道隊ノ兵員ハ身幹中等臂力アル者ニシテ主トシテ鐵道ノ建築運輸又ハ工場業務ニ從事シタル者但シ若干名ハ電氣機時計器械ノ修理又ハ製圖ノ技能ヲ有スル者

電信隊ノ兵員ハ電信電話、通信又ハ建築業務ニ從事シタル者及聽力完全言語明晰ナル者其ノ他若干名ハ鍛工、木工卒ニ適スル者及電氣機時計器械修理ノ技能アル者

航空隊ノ兵員ハ體力強大ナル者但シ若干名ハ機關ノ取扱寫眞術製網ニ從事シタル者及鍛工、木工卒ニ適スル者

五 輜重兵、輜重輸卒ハ成ルヘク馬匹ノ使用ニ慣レ且臂力アル者但シ輜重輸卒要員ノ約四十分一宛ハ鞍工、木工、鍛工卒ニ適スル者並冷鐵工教育ニ適スル者

六 縫工卒、靴工卒ハ其ノ勤務ニ適スル者

第十二條 海軍兵ニ編入スヘキ者ハ左ノ項目ニ依リ之ヲ選フヘシ

一 水兵ハ體力強大ニシテ勞力ニ堪ヘ且成ルヘク性質敏捷言語明晰視力聽力完全ニシテ普通ノ文字ヲ解スル者

- 二 機關兵ハ體力强健ニシテ視力聽力完全シ且成ルヘク普通ノ文字ヲ解シ機械若ハ汽罐ノ取扱、火焚、鍛冶工業、機械工業、鑄造工業、製鐵工業又ハ兵器ノ製造修理ノ業ニ慣レタル者
 - 三 軍樂生ハ普通ノ文字ヲ解シ齒列齊正指節剛強ナラサル者
 - 四 木工ハ臂力アリテ成ルヘク普通ノ文字ヲ解シ其ノ職業ニ慣レタル者
 - 五 看護ハ普通ノ文字ヲ解シ成ルヘク患者ノ取扱ニ慣レタル者
 - 六 主廚ハ成ルヘク普通ノ文字ヲ解シ割烹ノ職ニ慣レタル者
- 第十三條 條例第二十七條ノ諸名簿ハ種類ヲ分チテ之ヲ編綴シ冊尾ニ聯隊區徵兵官又ハ警備隊區徵兵官署名押印スヘシ但シ徵兵令第二十三條第一項ニ依リ徵集猶豫中ニシテ志願兵ヲ出願シタル者ノ猶豫名簿ハ更ニ別綴ト爲シ各假決ノ區畫ニ其事由ヲ記スルモノトス
- 懲役又ハ禁錮ニ處セラレ其ノ刑ノ執行中逃亡若クハ失踪等ノ爲メ其ノ年徵集スルコト能ハサル壯丁ハ徵集延期名簿ニ六週間現役ニ服スヘキ者ハ徵集猶豫名簿ニ列入シ各假決ノ區畫ニ其事由ヲ記スルモノトス

假決中滿四十歳ヲ超過シタル者ノ名簿ハ之ヲ兵役免除名簿ニ編入シ終決ノ區畫ニ其ノ事由ヲ記スルモノトス

第十四條 聯隊區ニ於テ步兵ノ要員ヲ充ルコト能ハサルトキハ聯隊區司令官ヨリ之ヲ師團長ニ具狀シ師團長ハ師管內他ノ各聯隊區ニ配賦スヘシ其ノ配賦ハ壯丁ノ總數ヲ率トシ比例ヲ以テ之ヲ定ムルモノトス

師管內ニ於テ要員ヲ充タシ能ハサルトキハ師團長ハ陸軍大臣ニ具狀スヘシ

沖繩警備隊區ニ於テ要員ヲ充タシ能ハサルトキハ警備隊區司令官ハ之ヲ第六師團長ニ第六師團長ハ之ヲ陸軍大臣ニ具狀スヘシ

第十五條 徵兵令第二十三條ニ依リ徵集猶豫ニ屬スヘキ者ニハ身體検査ヲ施行セス

第十六條 疾病傷痍ノ爲メ身體検査ニ出頭セサル者ハ時宜ニ依リ其ノ家ニ就キ検査スヘシ

第十七條 抽籤施行ニ先チ聯隊區徵兵署、警備隊區徵兵署又ハ聯隊區聯合徵兵署ニ於テ合格者ノ人員ヲ調査シ步兵、騎兵、砲兵、工兵（工兵隊兵、鐵道隊兵、航空隊兵、電信隊兵ノ四種ニ分チ各別トス）輜重兵、輜重輪卒、縫工卒、靴工卒、水兵、機關兵、軍樂生、木工、看護、主廚ニ分チ甲種、第一乙種、第二乙種ニ區別シ籤札ヲ作ル

ヘシ

籤ノ番號ハ甲種、第一乙種、第二乙種各合格者中抽籤ヲ要スル者ノ數ニ應シ第一番ヨリ起スモノトス

第十八條 籤札ハ附錄第四様式ニ依リ之ヲ作り籤箱ニ納レ之ヲ封鎖シ徵兵官ノ前ニ置キ其ノ封ヲ披キ徵兵署事務員壯丁名簿ノ順序ニ氏名ヲ呼ヒ抽籤總代人ニ之ヲ抽カシム

第十九條 條例第二十九條ノ抽籤名簿ハ附錄第五様式ニ依リ册尾ニ徵兵官署名押印スヘシ

第二十條 抽籤總代人ハ抽ク所ノ番號ヲ高聲ニ呼ヒ其ノ抽札ヲ徵兵署事務員ニ渡シ徵兵署事務員ハ之ヲ壯丁名簿氏名ノ頭ニ貼附シ徵兵署印章ヲ以テ割印ヲ爲シ一人毎ニ之ヲ截チ切り總代人ニ交付シ總代人ハ之ヲ市町村長（東京市、京都市、大阪市ニアリテハ 區長）ニ差出シ市町村長ハ之ヲ各人ニ交付スヘシ

第二十一條 身體検査ニ合格シタル壯丁中身元確實ナル者ニシテ抽籤ノ法ニ依ラス現役ニ服センコトヲ志願スル者アルトキハ聯隊區徵兵官又ハ警備隊區徵兵官之ヲ許可スルコトヲ得

第二十二條 現役兵及補充兵ノ徵集ノ順序ハ左ノ如シ

一 甲種合格者ニシテ徵兵令第二十八條ニ當ル者 二人以上ナルトキハ年齢ノ順序同年齡ノ者ハ抽籤ニ依ル

第二號乃至第四號第六號第七號第八號第十號第十一號第十二號亦同シ

二 甲種合格者ニシテ徵兵令第十三條第五項及第二十三條ニ當リ抽籤ノ法ニ依ラスシテ徵集スル者

三 甲種合格者ニシテ徵兵令第二十七條ニ當リ徵集スル者

三ノ二 徵兵令第十二條ニ依リ陸軍現役兵ノ志願ヲ許可シタル者

四 第二十一條ニ依リ現役志願ヲ許可シタル者

五 甲種合格者ニシテ抽籤ノ者（番號ノ順序ニ從フ第九號第十三號亦同シ）

六 第一乙種合格者ニシテ徵兵令第二十八條ニ當ル者、

七 第一乙種合格者ニシテ徵兵令第十三條第五項及第二十三條ニ當リ抽籤ノ法ニ依ラスシテ徵集スル者

八 第一乙種合格者ニシテ徵兵令第二十七條ニ當リ徵集スル者

九 第一乙種合格者ニシテ抽籤ノ者

十 第二乙種合格者ニシテ徵兵令第二十八條ニ當ル者

十一 第二乙種合格者ニシテ徵兵令第十三條第五項及第二十三條ニ當リ抽籤ノ法ニ依ラスシテ徵集スル者

十二 第二乙種合格者ニシテ徵兵令第二十七條ニ當リ徵

集スル者

十三 第二乙種合格者ニシテ抽籤ノ者

第二十三條 聯隊區司令官又ハ警備隊司令官條例第三十一條ノ處分ヲ爲シタルトキハ附録第六様式ニ依リ現役兵證書及補充兵證書ヲ作り市ハ市長ヲ經テ本人ニ付與シ郡又ハ島嶼ニ在テハ島司郡長及町村長ヲ經テ本人ニ付與スヘシ但東京市京都市大阪市ニ在テハ尙ホ區長ヲ經由スヘシ要員超過ノ爲メ國民兵役ニ服スル者ニハ前項ノ例ニ依リ其ノ由ヲ本人ニ達スヘシ

徵兵令第十二條ニ依リ陸軍現役兵ノ志願ヲ許可シタル者ニハ第一項ニ準シ現役兵證書ヲ付與スヘシ

第二十四條 條例第三十一條ノ諸名簿ハ種類ヲ分テ編綴シ

冊尾ニ聯隊區司令官又ハ警備隊司令官署名押印スヘシ

第二十五條 條例第三十四條ノ徵兵表ハ附録第七様式ニ準シ之ヲ作ルヘシ

第二十六條 壯丁名簿進達前(市ニ在テハ調製前)他ノ市町村ニ轉籍スル者アルトキハ市町村長ヨリ本人徵兵適齡屆書ヲ添ヘ轉籍地ノ市町村長ニ通知スヘシ但シ原籍地ハ東京市、京都市、大阪市ナルトキハ區長ヨリ又轉籍地同三市ナルトキハ區長ニ通知スヘシ

第二十七條 壯丁名簿進達後條例第三十一條ノ處分前名簿

ニ關スル異動ヲ生シタル者若クハ他ノ市町村ヨリ入籍シタル者アルトキハ町村長ハ直ニ之ヲ島司郡長ニ報告シ抽籤前ハ島司郡長其ノ名簿ヲ訂正加除シ抽籤後ニ在テハ之ヲ聯隊區司令官又ハ警備隊司令官ニ通知スヘシ

市ニ在テ壯丁名簿調製後抽籤前本條ニ當ル者アルトハ市長(東京市、京都市、大阪市ニ在テハ區長)其ノ名簿ヲ訂正加除シ抽籤後條例第三十一條ノ處分前ニ在テハ之ヲ聯隊區司令官又ハ警備隊司令官ニ通知スヘシ

第二十八條 現役兵入營前及補充兵(補充兵證書付與後其ノ年十一月三十日以後ノ者)ノ名簿ニ關スル異動(轉入籍ヲ除ク)ヲ生シタルトキハ直ニ町村長之ヲ島司郡長ニ報告シ島司郡長ハ聯隊區司令官又ハ警備隊司令官ニ通知スヘシ

市ニ在テハ前項ノ異動ハ市長直ニ之ヲ聯隊區司令官ニ通知スヘシ但東京市、京都市、大阪市ニ在テハ區長ヨリ聯隊區司令官及市長ニ通知スヘシ

第二十九條 壯丁名簿受領後(市ニ在テハ調製後)身體検査前當該徵募區若ハ検査區外ニ轉籍スル者アルトキハ島司郡市長ヨリ壯丁名簿ヲ添ヘ轉籍地ノ島司又ハ郡市長ニ通知スヘシ但シ原籍地東京市、京都市、大阪市ナルトキハ區長ヨリ又轉籍地同三市ナルトキハ區長ニ通知スヘシ

第三十條 身體検査後條例第三十一條ノ處分前他ノ徵募區

ニ轉籍スルモ總テ舊徵募區ニ於テ之ヲ處分スルモノトス

第三十一條 抽籤後徵集延期徵集猶豫若クハ入營延期翌年
 回ト爲リタル者ノ名簿ニ關スル異動ヲ生スル者アルトキ
 ハ町村長之ヲ島司郡長ニ報告シ島司郡長ハ其ノ名簿ヲ訂
 正加除スヘシ但市ニ在テハ市長（東京市、京都市、大阪
 市ニ在テハ區長）之ヲ訂正加除スヘシ

其ノ徵募區外又ハ検査區外ニ轉籍スル者ハ島司郡市長ヨ
 リ前項ノ名簿ヲ添ヘ轉籍地ノ島司又ハ郡市長ニ通知スヘ
 シ但シ原籍地東京市、京都市、大阪市ナルトキハ市長ヨ
 リ又轉籍地同三市ナルトキハ區長ニ通知スヘシ

第三十二條 聯隊區司令官又ハ警備隊司令官條例第四十九
 條現役兵入營前及補充兵轉籍ノ通報ヲ受ケタルトキハ之
 ヲ島司郡市長ニ通知シ島司郡長ハ町村長ニ達スヘシ但シ
 東京市、京都市、大阪市ニ在テハ區長ニモ通知スヘシ

第三十三條 徵兵令第十三條第五項及條例第六十四條ニ該
 ル者アルトキハ市町村長（東京市、京都市、大阪市ニ在
 テハ區長）ハ戶籍ニ基キ壯丁名簿ヲ作り町村長ハ島司又
 ハ郡長ニ之ヲ差出スヘシ但シ徵兵令第十三條第五項該當
 者ニシテ既ニ壯丁名簿調製済ノモノハ此ノ限ニ在ラス
 徵兵令第二十五條ニ依リ適齡屆ヲ爲スヘキ期間ニ於テ戶

主未定若ハ失踪等ノ場合ニ在リテモ亦前項ニ依リ取扱フ
 モノトス

第三十四條 現役兵入營ノ期ニ先タチ聯隊區司令官又ハ警
 備隊司令官ハ現役兵入營地若クハ集合地ニ到ル日數ヲ量
 リ召集ノ場所及日時ヲ定メ島司郡市長及町村長ヲ經テ之
 ヲ各自ニ達スヘシ但シ東京市、京都市、大阪市ニ在テハ
 尙ホ區長ヲ經由スヘシ

聯隊區外又ハ警備隊區外ニ轉籍シタルモノニ在テハ舊住
 地聯隊區司令官又ハ警備隊司令官ヨリ其ノ召集ノ場所及
 日時ヲ新住地聯隊區司令官又ハ警備隊司令官ニ通知シ新
 住地聯隊區司令官又ハ警備隊司令官ハ前項ノ例ニ依リ之
 ヲ各自ニ達スヘシ

第三十五條 入營兵集合地ハ第七師管以外ヨリ徵集スル第
 七師團兵ニ在リテハ青森、第十九師團兵ニ在リテハ大阪、
 第二十師團兵ニ在リテハ第十師管第十七師管ノ者ハ字
 品、第五師管第十二師管ノ者ハ門司及下關、臺灣澎湖島
 軍隊ノ兵員ニ在リテハ門司及下關、旅順鎮海灣重砲兵ニ
 在リテハ字品、沖繩警備隊區ヨリ徵集ノ兵員ニ在リテハ
 那覇トス

第三十六條 現役兵ヲ入營セシムルトキハ聯隊區司令部員
 又ハ警備隊司令部員ヲ入營シ若ハ入營兵集合地ニ派遣シ

之ヲ當該隊長海軍人事部長又ハ入營兵受領員ニ交付セシム
入營ノ人員寡少ナルトキ及入營兵受領員出發後到着シタル者ハ直ニ入營セシム
沖繩警備隊區ヨリ徵集ノ現役兵入營ノトキハ地方吏員之ヲ引率シ第一項ノ取扱ヲ爲スモノトス

第三十六條ノ二 入營兵集合地ニ集合スヘキ兵員ニシテ入營地附近ニ住居スル爲集合地ニ至ルヲ不便トスル者ハ集合地ニ集合スルコトナク直ニ入營スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ集合地到着日前成ルヘク早ク豫メ本籍地聯隊區司令官又ハ警備隊司令官及市町村長（東京市、京都市、大阪市ニ在リテハ區長）ニ届出ヘシ

第三十七條 第三十五條ノ兵員入營ノ期ニ先チ第七師團司令部、臺灣總督府陸軍部、關東都督府陸軍部、朝鮮駐劄軍司令部ハ入營兵集合地ヨリ入營地ニ至ル日數ヲ量リ集合地到着ノ日割ヲ定メ豫メ之ヲ各聯隊區司令官又ハ警備隊司令官ニ通知スヘシ

臺灣澎湖島及旅順ノ軍隊ニ入營スヘキ兵員及此ノ師管ヨリ十二月第七師團ニ入營スヘキ兵員ハ十日間以内ニ朝鮮軍隊ニ入營スヘキ兵員ハ十七日間以内ニ於テ數回ニ分チ入營セシムルコトヲ得但其ノ期日ハ陸軍大臣ニ報告スヘシ
第三十七條ノ二 警備隊兵及輜重輸卒ヲ數期ニ分チ入營セシムルニハ第二十二條ノ徵集順序ニ依ル其各期ニ於ケル入營兵ノ員數ヲ聯隊區、警備隊區、徵募區ニ配當スルハ概ネ同區ニ於ケル同兵種現役兵徵集人員ノ數ニ比例スルモノトス但シ沖繩警備隊區ヨリ徵集ノ輜重輸卒ハ總テ第一期ニ入營セシム

第三十七條ノ三 警備隊兵及輜重輸卒ニシテ徵兵令第二十七條ニ該當シ入營シ難キ者ハ次期ニ繰リ下ケ入營セシメ其ノ終期ニ於テ入營シ難キ者ハ次年徵募ノ現役兵ト同時ニ入營セシム
前項ノ者ノ中傷痍疾病ノ者ハ徵兵検査ノ際身體検査ヲ爲シ徵集ニ適セサル者ハ徵集免除若ハ兵役免除ノ處分ヲ爲スモノトス

第一項ニ依リ入營ヲ次年ニ繰下ケタル者アルトキハ之ヲ翌年ノ配賦要員中ニ加フルモノトス但シ他ノ徵募區ニ轉籍シタル者ハ轉籍地ニ於テ之ヲ處分スルモノトス
所在不明ノ爲入營セサル者ノ所在ヲ發見シタルトキハ町村長之ヲ島司郡長ニ報告シ島司郡市長（東京市、京都市、大阪市ニ在リテハ區長）ハ之ヲ聯隊區司令官又ハ警備隊司令官ニ通知スヘシ

第三十八條 條例第四十四條ノ入營延期願濟ノ者其ノ他事

故不參ノ者アルトキハ聯隊區司令官又ハ入營地或ハ集合地派遣ノ聯隊區又ハ警備隊司令部員（聯隊區司令部所在ノ入營地ニ在テハ聯隊區司令官）若ハ入營兵引率員ヨリ當該隊長、海軍人事部長又ハ入營兵受領員ニ其ノ由ヲ通知スヘシ

第三十九條 條例第四十六條ニ依リ陸軍補充兵若クハ海軍補充兵ヲ以テ現役兵ノ缺員ヲ補フニハ聯隊區司令官又ハ警備隊司令官ニ於テ其ノ取扱ヲ爲スヘシ但他ノ聯隊區又ハ警備隊區ニ轉籍シタル者ニシテ入營セサル者ノ補缺ハ轉籍地聯隊區司令官又ハ警備隊司令官ノ通知ヲ得テ其ノ取扱ヲ爲スヘシ

條例第四十六條第五項ニ依リ現役兵ノ闕員ヲ補フ場合ニハ師團長ハ陸軍大臣ノ認可ヲ受クヘシ
現役兵入營後ノ補缺ハ各隊長被服本廠長同支廠長又ハ海軍人事部長ヨリ當該聯隊區司令官又ハ警備隊司令官ニ通知スルモノトス

條例第四十六條ニ依ル現役兵ノ補充ハ同條規定ノ期日ニ入營セシムルヲ得ル場合ニ於テハ必ス其ノ補充ヲ爲スヘキモノトス但シ師管内ヨリ補充スル能ハサルトキハ師團長之ヲ陸軍大臣ニ具狀スヘシ

第四十條 入營地又ハ集合地派遣ノ聯隊區司令部員又ハ警備隊司令部員ハ現役兵交附ノ際ニ於テ永久兵役ニ堪ヘ難キ者ト認メタル者アルトキハ一時入營ヲ差止メ其ノ診斷證書ヲ添ヘ聯隊區司令官又ハ警備隊司令官ニ具申スヘシ
聯隊區司令官又ハ警備隊司令官條例第四十七條ニ依リ兵役ヲ免スル場合ニハ其ノ診斷證書ハ師團軍醫部長ノ審査ヲ經ヘキモノトス

第四十條ノ二 朝鮮、臺灣、澎湖島及旅順ニ在ル軍隊ニ入營スル兵員及沖繩警備隊區ヨリ徵集ノ兵員ハ集合地ニ於テ身體検査ヲ施行ス

前項身體検査ノ爲集合地所管ノ師團長ハ所管内ノ軍醫一名ヲ臨時集合地ニ差遣スヘシ但シ受領員中ニ軍醫アルトキハ此ノ限ニ在ラス

集合地ニ於テ身體検査ヲ行フ爲必要ノ事項ハ受領員ヲ派遣スル部隊ヨリ之ヲ關係師團長ニ通報スヘシ

第四十條ノ三 現役兵入營ノ際施行スル身體検査及前條集合地ニ於テ施行スル身體検査ニ於テ傷痍若ハ疾病ノ爲ニ二箇月以後ニ非サレハ教育ヲ施スト得スト認ムル者アルトキハ當該隊長、被服本廠長同支廠長若ハ海軍人事部長又ハ入營兵受領員之ヲ歸郷セシメ其ノ旨ヲ本籍地所管ノ聯隊區司令官又ハ警備隊司令官ニ通報スヘシ但シ警備隊兵ニ在リテハ一箇月以後、輜重輸卒ニ在リテハ十日以後ニ

非サレハ教育ヲ施スヲ得スト認ムル者ヲ歸郷セシムルモノトス

沖繩警備隊區ヨリ徵集ノ兵員中第一項ニ該ル者アルトキハ警備隊司令官之ヲ歸郷セシメ其ノ旨ヲ當該隊長又ハ海軍人事部長ニ通知スヘシ

第二項ニ依リ歸郷セシメタル者ハ徵兵令第二十七條ニ該ル者トシテ取扱フヘシ

第四十條ノ四 前條ニ依リ歸郷セシメタル者及事故ニ依リ其ノ年入營スルヲ得サル者ノ現役兵名簿ハ直ニ當該隊長、被服本廠長、同支廠長又ハ海軍人事部長ヨリ本籍地所管ノ聯隊區司令官又ハ警備隊司令官ニ送付スヘシ

第四十一條 市町村長（東京市、京都市、大阪市ニ在リテハ區長）ハ現役兵及補充兵役輜重輸卒ニ決定シタル者ノ戶籍抄本（海軍ニ在リテハ戶籍謄本）ヲ作り町村長ハ之ヲ島司郡長ニ送付シ島司郡市長（東京市、京都市、大阪市ニ在リテハ區長）ハ之ヲ聯隊區司令官又ハ警備隊司令官ニ送付シ聯隊區司令官又ハ警備隊司令官ハ現役兵ノ戶籍抄本又ハ戶籍謄本ヲ當該隊長、被服本廠長、同支廠長又ハ海軍人事部長ニ送付スヘシ現役兵ニシテ入營前、補充兵役輜重輸卒ニシテ徵集年ノ十二月一日前其ノ戶籍抄本又ハ戶籍謄本記載事項ニ異動ヲ生シタルトキ亦同シ但シ

第三十二條ニ依リ達ヲ受ケタル場合ニ在リテハ町村長ハ戶籍抄本又ハ戶籍謄本ヲ島司郡長ニ送付シ島司郡市長（東京市、京都市、大阪市ニ在リテハ區長）ハ之ヲ聯隊區司令官又ハ警備隊司令官ニ送付シ聯隊區司令官又ハ警備隊司令官ハ之ヲ舊籍地聯隊區司令官又ハ警備隊司令官ニ送付スルモノトス陸軍補充兵（輜重輸卒ヲ除ク）ニシテ初テ召集ニ應スルトキハ町村長及島司郡市長（東京市、京都市、大阪市ニ在リテハ區長）ハ第一項ノ例ニ依リ召集令達六日以内ニ戶籍抄本ヲ聯隊區司令官又ハ警備隊司令官ニ送付スヘシ戶籍抄本ハ兵籍ヲ調製スルニ必要ナル諸件ヲ掲クルモノトス

第四十一條ノ二 市町村長（東京市京都市大阪市ニ在リテハ區長）ハ現役兵身上調査表ヲ作り之ヲ前條ノ戶籍抄本又ハ戶籍謄本ニ添付スヘシ

陸軍補充兵ニシテ教育ノ爲召集セララルル者ニ付テモ亦前項ニ準ス

前二項ノ身上調査表ハ其ノ取扱ニ任スル吏員以外ニ閱覽ヲ許スコトヲ得ス

第四十二條 條例第四十九條及本則第二十八條ニ當ル現役兵入營前ノ異動ハ聯隊區司令官又ハ警備隊司令官（條例第四十九條ノ異動ハ轉籍地ノ聯隊區司令官又ハ警備隊司

令官)ヨリ各隊長被服本廠長同支廠長又ハ海軍人事部長ニ通知スヘシ

第四十三條 現役兵入營前徵集延期若クハ入營延期翌年回ト爲リタル者又ハ兵役免除ト爲リタル者ノ名簿ハ聯隊區司令官又ハ警備隊司令官ヨリ島司郡市長ニ送付スヘシ但東京市京都市大阪市ニ在テハ尙ホ市長ヨリ區長ニ送附スヘシ

前項ノ名簿中入營延期翌年回ト爲リタル者ノ名簿ハ島司郡市長(東京市、京都市、大阪市ニ在テハ區長)之ヲ徵集延期名簿ニ編入スヘシ

第四十三條ノ二 警備隊兵及輜重輸卒以外ノ補充兵ハ其ノ身體検査後他ノ徵募區ニ轉籍スルモ徵募年ノ翌年一月三十一日以前ハ條例第四十六條ノ補充ニ關シテハ之ヲ舊徵募區ノモノトシテ取扱フヘシ

前項ニ該當スル者ニシテ死亡、處刑、所在不明、轉籍、志願兵トシテ入隊等ノ事故ヲ生シタルトキハ本籍地聯隊區司令官又ハ警備隊司令官ヨリ條例第三十一條ノ處分ヲ爲シタル聯隊區司令官又ハ警備隊司令官ニ通知スヘシ

第四十四條 補充兵ニシテ未タ教育ヲ終ラサル者(補充兵ニ決定シタル者ヲ含ム)他ノ徵募區ニ轉籍シタルトキハ第二十二條ニ依リ其ノ徵集順序ヲ定メ抽籤番號ヲ有スル

者ニ在リテハ新住地徵募區及抽籤ヲ施行シタル徵募區ノ同種補充兵最高抽籤番號ヲ率トシ比例ヲ以テ相當番號ノ上位ニ列セシムヘシ但シ比例算出上端數ヲ生スルトキハ之ヲ切り捨ツルモノトス

前項ノ轉籍者二人以上アリテ比例ニ依リ算出シタル番號同一ナルトキハ第二十二條第一號割註ニ準シ徵集順序ヲ定ムヘシ

警備隊兵及輜重輸卒以外ノ補充兵ニ在リテハ徵募年ノ翌年二月一日以後ニ第一項ノ取扱ヲ爲スモノトス

第四十五條 前條ノ轉籍者アルトキハ聯隊區司令官又ハ警備隊司令官ヨリ島司郡市長ニ通知スヘシ但シ東京市、京都市、大阪市ニ在テハ尙ホ區長ニ通知スヘシ

其ノ轉籍聯隊區外又ハ警備隊區外ニ係ルトキハ聯隊區司令官又ハ警備隊司令官其ノ名簿ヲ添ヘ抽籤ヲ施行シタル徵募區ノ同種補充兵最高ノ抽籤番號ヲ轉籍地ノ聯隊區司令官又ハ警備隊司令官ニ通知スヘシ

警備隊兵及輜重輸卒以外ノ補充兵ニ在リテハ徵募年ノ翌年二月一日以後ニ於テ前項ノ取扱ヲ爲スモノトス

第四十六條 現役兵入營前及補充兵ニシテ轉籍シタル者ノ現役兵證書補充兵證書ハ總テ轉籍地ノ聯隊區司令官又ハ警備隊司令官ニ於テ訂正スヘシ

第四十七條 現役兵證書・補充兵證書ヲ失ヒ又ハ損傷シタル者ハ更ニ下渡ヲ聯隊區司令官又ハ警備隊司令官ニ請求シ徵集延期證書、徵集猶豫證書及兵役免除證書ヲ失ヒ又ハ損傷シタル者ハ更ニ下渡ヲ島司郡市長（東京市、京都市、大阪市ニ在テハ區長以下同シ）ニ請求スヘシ

第四十八條 條例第五十條ノ召集ノ命アルトキハ之ヲ通知スヘキ者ハ成年以上ノ者ニ限ル

第四十九條 條例第五十三條及第六十三條ニ依リ身體検査ヲ受ケンコトヲ希望スル者ハ寄留地若ハ検査地ノ島司郡市長ニ願出テ且其ノ由ヲ本籍地ノ市町村長（東京市、京都市、大阪市ニ在リテハ區長）ニ届出ヘシ其ノ願出ヲ取消サントスル者及更ニ寄留換ヲ爲シ其ノ地ニ於テ身體検査ヲ受ケントスル者亦同シ 但シ身體検査ニ關スル願書ハ町村ニ在リテハ町村長ヲ經由スヘキモノトス
前項寄留換ノ場合ニ於テハ前願出ヲ爲シタル島司郡市長ニモ届出ヘシ

第一項ノ願出期日ハ本籍地及寄留地若ハ検査地徵募區ノ検査開始前三十日迄ニ限ルモノトス

島司郡市長第一項ノ願出ヲ許可シタルトキハ直ニ之ヲ本籍地ノ島司郡市長ニ通知シ其ノ通知ヲ受ケタル島司郡市長ハ其ノ壯丁名簿若ハ前年ノ假決名簿ヲ直ニ寄留地又ハ

検査地ノ島司郡市長ニ送附スヘシ

身體検査若ハ抽籤終ルトキハ前項ノ名簿ニ検査ノ結果及抽籤番號ヲ記入シ之ニ検査ヲ行ヒタル徵募區同兵種最高ノ番號ヲ添ヘ直ニ聯隊區徵兵官又ハ警備隊區徵兵官ヨリ本籍地ノ聯隊區徵兵官又ハ警備隊區徵兵官ニ送附スヘシ 但シ對馬警備隊區ニ於テ身體検査ヲ受ケタル者ニ在リテハ抽籤ヲ施行セズ該名簿ニ検査ノ結果ノミヲ記入シ之ヲ本籍地ノ島司郡市長ニ送附スルモノトス

島司郡市長前項但書ノ名簿ヲ受領シタルトキハ聯隊區徵兵署、聯隊區聯合徵兵署又ハ警備隊區徵兵署開設ノトキ之ヲ同署ニ提出スヘシ但シ抽籤ヲ要スルモノニシテ當該徵兵署閉鎖後師管内各徵兵署閉鎖前ニ到着シタルトキハ之ヲ聯隊區司令官又ハ警備隊司令官ニ送附シ一般ノ例ニ依リ同聯隊區若ハ警備隊區内又ハ同師管内便宜ノ徵兵署ニ於テ抽籤ヲ施行シ其ノ徵集順序ヲ定ムルモノトス
第一項ノ届出ヲ爲ササル者ハ五錢以上壹圓九拾五錢以下ノ科料ニ處ス

第四十九條ノ二 條例第五十八條ノ二ニ該當スル者ハ其ノ壯丁名簿若ハ假決名簿ヲ本籍地聯隊區司令官又ハ警備隊司令官ヨリ検査ヲ施行スル徵募區ノ徵兵官ニ送附シ條例第五十三條該當者ノ例ニ依リ取扱フモノトス

第五十條 本籍徵募區以外ノ地ニ於テ身體検査又ハ抽籤ヲ爲シタル者ノ名簿條例第三十一條ノ處分迄ニ到達セサルトキハ其ノ年ニ於ケル検査又ハ抽籤ノ成績ニ依リ翌年假決若ハ終決ノ處分ヲ爲スヘシ但シ丙種、丁種及戊種ノ者ニ在リテハ條例第三十一條ノ處分後到着シタルモノト雖徵兵事務報告書進達前ニ在リテハ其ノ年處分ヲ爲スヘキモノトス

第五十一條 條例第五十一條ノ願書ハ附錄第八様式ニ依リ身元證書ハ附錄第九様式ニ依リ合格證書ハ附錄第十様式ニ依リ之ヲ作ルヘシ

第五十一條ノ二 條例第五十一條ニ依リ陸軍現役兵ヲ志願スル者アルトキハ聯隊區司令官又ハ警備隊司令官ニ於テ願書其ノ他ニ依リ壯丁名簿ノ様式ニ準シ其ノ名簿ヲ作り志願ヲ許可シタル者ニ在リテハ之ヲ現役兵名簿ニ添綴スヘシ

前項現役兵志願者ノ名簿及現役證書ニ徵兵令第十二條ノ志願者ナルコトヲ記入スルモノトス

第五十二條 他ノ徵募區ニ於テ身體検査又ハ抽籤ヲ爲シタル者ハ第二十二條ニ依リ其ノ徵集順序ヲ定メ其ノ抽籤番號ヲ有スル者ニ在リテハ本籍地徵募區及抽籤ヲ行ヒタル徵募區同種兵ノ最高番號ヲ率トシ比例ヲ以テ本籍地相當

番號ノ上位ニ列セシム但シ比例算出上端數ヲ生スルトキハ之ヲ切り捨ツルモノトス

前項ニ該ル者二名以上アリテ比例ニ依リ算出シタル番號同一ナルトキハ第二十二條第一號割註ニ準シ徵集順序ヲ定ムヘシ

第五十三條 現役兵若ハ補充兵ニシテ志願兵（一年志願兵ヲ除ク）ヲ志願スルモ其ノ入營又ハ服役ヲ猶豫セス但シ現役兵ニシテ十二月十五日以前ニ、補充兵ニシテ召集前ニ志願兵ニ採用セラレ之ニ應シタルトキハ現役兵又ハ補充兵ノ服役ヲ解クモノトス

軍隊、官衙、學校長ハ志願兵トシテ兵籍ニ編入シタル者ノ本籍地氏名生年月日ヲ速ニ本籍地聯隊區司令官又ハ警備隊司令官ニ通知シ聯隊區司令官又ハ警備隊司令官ハ前項ノ但書ノ取扱ヲ爲スヘシ

第一項但書ニ該ル者ニシテ志願兵ヲ免セラレ服役ニ關スル爾後ノ處分ヲ受ケサル者ハ更ニ徵兵検査ヲ爲シ兵役上ノ處分ヲ爲スモノトス

第五十四條 現役兵又ハ補充兵ニシテ一年志願兵ニ採用セラレタル者一年志願兵ノ資格ヲ失ヒタルトキハ入營前ト入營後トヲ問ハス現役兵ニ在リテハ直ニ之ヲ徵集シ補充兵ニ在リテハ補充兵役ニ服セシム但シ其ノ現役兵ニシテ

條例第四十六條第一項ノ補充期間ニ入營セシメ得サル者ニ在リテハ徵兵令第二十七條該當者ノ例ニ依リ取扱フモノトス

第五十五條 聯隊區司令官、警備隊司令官ハ一年志願兵志願者ノ人名簿ヲ調製シ第五十四條ニ依ル取扱ノ資ニ供スヘシ

第五十六條 聯隊區司令官又ハ警備隊司令官ハ成ルヘク條例第五十三條第五十八條ノ二、第六十三條及明治三十九年陸軍省令第十六號第九條ニ依リ他ノ徵募區ニ於テ身體検査若ノ抽籤ヲ受ケタル者ノ名簿ヲ受領シタル後條例第三十一條ノ處分ヲ爲スヘシ

第五十七條 近衛第七、第八、第十二、第十五及第十八師團司令部並臺灣總督府陸軍部ハ條例第十八條ノ配賦ニ基キ現役兵ノ入營スヘキ隊號ヲ定メ之ヲ第二十三條ノ現役兵證書調製ニ差支ナキ様當該師團司令部ニ通報スヘシ但シ第七師團及臺灣總督府陸軍部ニ在リテハ第三十七條第二項ノ入營期日、第七師團、第十二師團及第十八師團ニ在リテハ第三十七條ノ二ノ入營人員ヲモ通知スルモノトス關東都督府陸軍部及朝鮮駐劄軍司令部ハ前項ニ準シ第三十七條第二項ノ入營期日ヲ當該師團司令部ニ通報スヘシ第五十七條ノ二 徵兵令第十三條第五項ニ該當スル者ハ更

ニ教職ニ就クト雖同項ノ規定ニ依リ之ヲ徵集スルモノトス但シ其ノ者ニシテ同條第一項ノ學校ニ入學シ條例第十五條ノ手續ヲ爲ストキハ其ノ徵集ヲ猶豫スヘシ

第五十七條ノ三 徵兵令第十三條第五項又ハ同第二十三條第二項ニ該當スル者ニシテ其ノ教職ヲ罷メタルトキ滿二十八歲以下又ハ歸朝ノトキニ於テ滿三十二歲以下ナルトキハ之ヲ徵集スルモノトス

第五十七條ノ四 徵兵令第十三條第一項ニ掲グル學校ニ在學ノ者ト雖其ノ年十二月一日ニ於テ滿二十八歲ヲ過クル者ハ其ノ徵集ヲ猶豫セサルモノトス

第五十七條ノ五 徵兵令第十二條ニ依リ陸軍現役兵ノ志願ヲ許可シタル者條例第四十七條第四十八條ノ事故ヲ生シタルトキ又ハ第四十條ノ三ニ依リ歸郷ヲ命セラレタルトキハ單ニ志願兵ヲ免スルモノトス

第五十七條ノ六 本令中警備隊司令官トアルハ沖繩警備隊區ニアリテハ警備隊司令官、郡長、郡書記トアルハ北海道ニ在リテハ支廳長、支廳屬、市長、市書記トアルハ北海道及沖繩縣ニ在リテハ區長、區書記、町村長トアルハ町村制ヲ施行セサル地ニ在リテハ戶長其ノ他町村長ニ準スヘキ者ニ該當ス

附則

第五十八條 第二條中明治二十八年勅令第二百二十六號第三條ニ當ル者ノ人名書ハ明治二十九年ニ於テハ明治二十八年陸軍省令第三十號第三項ニヨリ作りタル名簿ヲ以テ之ニ換フヘシ
 (様式略ス)

●徵兵検査規則

明治四十二年三月
 陸軍省令第六號

徵兵検査規則左記ノ通改正ス

第一條 徵兵並徵兵令第十二條及第十三條ニ依ル志願兵ノ身體検査ハ本規則ニ依リ施行スルモノトス

前項ノ検査ニハ學術上諸種ノ方法ヲ施スコトヲ得

第二條 左ノ疾病畸形ノ者ハ不合格トス

- 一 惡性腫瘍
- 二 骨軟化、佝僂病
- 三 象皮腫、癩
- 四 動脈瘤
- 五 癩癧
- 六 白痴
- 七 癩疔

八 盲

九 耳殼若ハ鼻ノ全缺スル者

十 聾

十一 啞

十二 唇、齒牙、口内ノ疾病ニシテ官能ニ大ナル妨アル者

十三 食道狹窄

十四 脊梁、骨盤ノ畸形ニシテ運動ニ大ナル妨アル者

十五 歇兒尼亞

十六 關節畸形

十七 習癖脱臼

十八 支肢ノ短縮、彎曲

十九 指節ノ強剛ニシテ把握ニ大ナル妨アル者

二十 母指若ハ示指若ハ二指以上ヲ失シタル者

二十一 翻足

二十二 第一趾ヲ失シタル者若ハ三趾以上ヲ失シタル者前項ノ疾病畸形中輕症ニシテ服役シ得ヘキ者ハ合格トシ爾餘ノ疾病畸形ト雖服役シ得ヘカラサル者ハ不合格トス

第三條 體格ノ等位ヲ區別スルコト左ノ如シ

- 一 甲種 身長五尺以上ニシテ身體強健ナル者
- 二 乙種 身長五尺以上ニシテ身體甲種ニ亞ク者其ノ體

格比較的良好ナル者ヲ第一乙種トシ之ニ亞ク者ヲ第二乙種トス

三 丙種 身長五尺以上ニシテ身體乙種ニ亞ク者及身長五尺未滿四尺八寸以上ニシテ丁種戊種ニ當ラサル者

四 丁種 第二條ニ當ル者及身長四尺八寸ニ滿タサル者

五 戊種 徵兵令第二十條第一項第二項ニ當ル者

第四條 徵兵ハ前條ノ甲種、乙種及丙種ヲ合格トシ其ノ甲種及乙種ハ現役ニ徵スヘキ者丙種ハ國民兵役ニ入ルヘキモノトシ丁種ヲ不合格戊種ヲ徵集延期トス

徵兵令第十二條及第十三條ノ志願兵ハ前條ノ甲種及乙種ヲ合格トシ丙種丁種及戊種ヲ不合格トス

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

陸軍志願兵身體檢查規則ハ之ヲ廢止ス

◎朝鮮其他ニ在住ノ者 徵兵身體檢查ノ件

明治三十九年十二月二十九日
勅令第三百十八號

(一部改正)大正二年八月勅令第二七五號

朕朝鮮、臺灣、樺太、支那等ニ在ル者ノ徵兵身體檢查ニ關スル件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

第一條 朝鮮、臺灣、樺太、露國領沿海州、露國領薩哈噠、支那、香港、澳門ニ在ル者ハ陸軍大臣ノ定ムル所ニ依リ所在地附近ノ軍隊、地方廳又ハ領事館ニ於テ徵兵身體檢查ヲ受クルコトヲ得但シ檢查ヲ受クル爲要スル旅費ハ自辨トス

第二條 徵兵身體檢查ハ陸軍佐官又ハ大尉一名ヲ検査員ト爲シ之ニ軍醫及下士ヲ附屬シテ之ヲ行フ

第三條 地方廳又ハ領事館ニ於テ施行スル徵兵身體檢查ニ關シテハ當該領事館員ヲシテ其ノ事務ノ一部ヲ擔任セシムルコトヲ得

第四條 検査員ノ任命其ノ他檢查施行ニ關スル事項ハ陸軍大臣之ヲ定ム

附則

明治三十六年勅令第五百十二號ハ之ヲ廢止ス

◎朝鮮其他ニ在住ノ者 徵兵身體檢查ニ關スル規程

明治三十九年十二月二十九日
陸軍省令第十六號

(一)部
改正

明治四一年二月陸軍省令第四號、同年一二月同
第二七號、大正元年一月同第八號、大正二年
八月同第七號、四年一二月同第一五號

明治三十九年勅令第三百十八號ニ依ル徵兵身體検査ニ關ス
ル規程左ノ通定ム

第一條 朝鮮、臺灣、樺太、露國領沿海州、露國領薩哈噠、
支那、香港、澳門ニ在ル者ハ左ノ區分ニ依リ徵兵身體檢
查ヲ受クルコトヲ得

臺灣ニ在ル者ハ臺灣守備隊

樺太ニ在ル者ハ樺太廳豊原支廳又ハ眞岡支廳

朝鮮及其ノ附近ノ地ニ在ル者ハ朝鮮ニ在ル軍隊

支那、香港及澳門ニ在ル者ハ關東州若ハ其ノ附近ノ地

ニ在ル軍隊、支那駐屯軍、青島守備軍、中支那派遣隊

又ハ芝罘、上海、廈門ニ在ル帝國領事館

露國領薩哈噠、露國領沿海州及其ノ附近ノ地ニ在ル者

ハ樺太守備隊又ハ朝鮮、支那ニ在ル軍隊

徵兵身體検査ハ中隊以下ノ軍隊ニ於テハ之ヲ施行セス

同一ノ地又ハ其ノ附近ニ數箇ノ軍隊駐在スル場合ニ於テ

ハ之ヲ統率スル最高級ノ團隊長ニ於テ徵兵身體検査ヲ施

行スル軍隊ヲ指定シ豫メ之ヲ公示スヘシ

軍隊ヲ統率スル最高級ノ團隊長ハ地方ノ狀況ニ依リ第一

項及第二項ノ規定ニ拘ラス陸軍大臣ノ認可ヲ受ケ適當ノ
地ニ検査場ヲ設ケ最近ノ軍隊ヨリ検査員及附屬員ヲ派遣
シ徵兵身體検査ヲ施行スルコトヲ得

樺太廳支廳又ハ領事館ニ於テ施行スル徵兵身體検査ハ受
檢者僅少ナル場合ニ於テハ附近ノ検査場ニ合併シテ之ヲ
施行スルコトアルヘシ

第二條 軍隊ニ於テ施行スル徵兵身體検査ハ其ノ軍隊ヲ統
率スル最高級ノ團隊長(臺灣ニ在リテハ守備隊司令官)之
ヲ統轄シ該隊所屬ノ將校ニ検査員ヲ命シ之ニ軍醫及下士
ヲ附屬シテ行ハシム

樺太廳支廳又ハ領事館ニ於テ施行スル徵兵身體検査ハ陸
軍大臣ノ定ムル所ニ依リ検査員及附屬員ヲ派遣シテ行ハ
シム

第三條 徵兵身體検査ヲ施行スル時期左ノ如シ

臺灣守備隊、朝鮮駐劄隊、關東州又 四月一日ヨリ

ハ其ノ附近ニ在ル軍隊、支那駐屯軍、 同月十日迄

青島守備軍、中支那派遣隊 同月十日迄

樺太廳支廳 四月二十五日ヨリ五月十日迄

廈門帝國領事館 四月一日ヨリ同月五日迄

上海帝國領事館 四月十五日ヨリ同月二十日迄

芝罘帝國領事館 四月一日ヨリ同月五日迄

リ五十日前迄ニ到着スル如ク本籍地府縣郡市町村番地及生年月日ヲ記シタル書面ヲ以テ検査ヲ受ケムトスル軍隊樺太廳支廳又ハ領事館ニ願出スヘシ

前項ノ願ヲ許可シタルトキハ直ニ之ヲ本人本籍地ノ島司郡長又ハ市長ニ通知スヘシ但シ許可前豫メ出願人員ヲ樺太廳支廳ニ在リテハ第七師團司令部ニ、領事館ニ在リテハ陸軍省ニ通報シ其ノ指揮ヲ受ケルモノトス

第五條 (削除)

第六條 島司郡長又ハ市長第四條ノ通知ヲ受ケタルトキハ壯丁名簿(前年假決ノ者ニ在リテハ假決名簿)ヲ徵兵身體検査開始前五日迄ニ到着スル如ク検査ヲ施行スル軍隊、樺太廳支廳又ハ領事館ニ送付スヘシ

島司又ハ郡長前項ニ依リ名簿ヲ送付シタルトキハ其ノ旨ヲ當該町村長ニ通達スヘシ

第七條 第四條第一項ノ願出ヲ爲シタル者傷疾疾病犯罪等ノ爲徵兵身體検査ヲ受ケ難キトキハ當該軍隊、樺太廳支廳又ハ領事館ニ届出ヘシ

第八條 徵兵身體検査終リタルトキハ徵兵檢定員ハ壯丁名簿又ハ假決名簿ニ検査ノ結果ヲ記入シ徵兵身體検査ヲ受ケサル者アルトキハ其事由ヲ附記シ直ニ之ヲ本籍地ノ島司郡長又ハ市長ニ送付スヘシ

第九條 本籍地徵募區ノ徵兵署閉鎖後壯丁名簿又ハ假決名簿到著シ抽籤ヲ要スル者ニ在リテハ徵兵事務條例第五十三條該當者ノ例ニ依リ同聯隊區警備隊區又ハ同師管內便宜ノ徵兵署ニ於テ抽籤ヲ施行シ其徵集順序ヲ定ムヘシ

第十條 第四條第一項ノ願出ヲ爲シタル者當該軍隊、樺太廳支廳又ハ領事館ニ於テ徵兵身體検査ヲ受ケサルトキハ徵兵事務條例ノ規定ニ依リ其ノ年更ニ徵兵身體検査ヲ受ケヘキモノトス

第十條ノ二 軍隊又ハ樺太廳支廳ニ於テ徵兵身體検査ヲ受ケヘキ者ニシテ徵兵令第二十八條ニ該當スト認メタルトキハ検査員又ハ樺太廳支廳長ニ於テ徵兵身體検査ヲ受ケルコトノ許可ヲ取消スコトヲ得此ノ場合ニ於テハ其ノ旨ヲ本人ニ達シ且其ノ事由書ヲ作り壯丁名簿又ハ假決名簿ト共ニ速ニ本籍地所管ノ島司郡長又ハ市長ニ送付スヘシ

第十一條 第一條ニ掲クル各地方ニ在リテ徵兵令第十二條ニ依リ内地部隊ニ於テ現役ニ服スルコトヲ出願スル者又ハ一年志願兵ヲ志願セムトスル者ニシテ學術試験ヲ要セサル者身體検査ヲ受ケムトスルトキハ第三條ノ徵兵身體検査開始前ニ軍隊、樺太廳支廳又ハ領事館ニ願出テ身體検査ヲ受ケルコトヲ得

前項ニ依リ身體検査ヲ受ケタル者ノ中合格者ニハ陸軍身

體檢查手續様式體格検査表ニ準シ合格證書ヲ付與スヘシ
第十二條 前條ノ合格證書ハ徵兵事務條例第五十一條及一
年志願兵條例施行細則第四條ノ願書ニ之ヲ添附スルモノ
トス

前項ニ依リ合格證書ヲ差シ出シタル者ハ身體検査ヲ施行
セス

第十三條 本令中郡長トアルハ北海道ニ在リテハ支廳長、
市長トアルハ北海道、沖繩縣、東京市、京都市、大阪市
及名古屋市ニ在リテハ區長町村長トアルハ町村制ヲ施行
セサル地ニ在リテハ町村長ニ準スヘキ者ニ該當ス

●徵兵處分ヲ受クヘキ 所在不明者調査規程

明治四十年四月
陸軍省訓令甲第一號

警視廳 道廳 府縣

(一部改正)四一年三月陸軍省訓令第九號

徵兵處分ヲ受クヘキ所在不明者調査規程左ノ通定ム

第一條 警視總監及地方長官ハ臨時所轄内ノ島司、郡長、
市町村長、警察署長、警察分署長、憲兵隊長、憲兵分隊
長ヲシテ徵兵判決處分未濟者及徵兵相當者ニシテ所在不

明ナル者ノ調査ヲ爲サシムヘシ

第二條 地方長官ハ毎年所轄内ニ於ケル所在不明ノ徵兵終
決處分未濟者ノ原籍氏名生年月日ヲ官報ニ掲載スヘシ

前項ノ徵兵終決處分未濟者ニシテ死亡、徵兵處分濟、滿
四十歳超過等ノ爲爾後調査ヲ要セサルトキハ前項ニ同シ

第三條 警視總監及地方長官ハ第一條ノ調査ニ關シ絶ヘス
相互ニ聯絡ヲ保持シ且必要ノ事項ハ時機ヲ失セス所轄内
ノ官公署ニ通知シ又ハ之ヲシテ報告若ハ通報セシムヘシ

第四條 第一條ノ調査ニ關シテハ左ノ各項ニ依ルノ外時機
ヲ利用シテ適當ノ手段ヲ採ルヲ要ス

- 一 島司、郡長、市町村長、警察署長、警察分署長、憲
兵隊長、憲兵分隊長ハ所轄内ニ本籍ヲ有スル所在不
明ノ徵兵終決處分未濟者ニ對シテハ本人ノ隣佑親戚
其ノ他心當リノ者ニ就キ平素ノ行動行先キ等ヲ捜査
シ又ハ親戚ヲシテ捜査セシメ其ノ端緒ヲ得タルトキ
ハ必要ノ事項ヲ具シ直ニ當該地ノ市町村長、警察署
長、警察分署長、憲兵隊長又ハ憲兵分隊長ニ通知ス
ヘシ

前項ノ通知ヲ受ケタル市町村長、警察署長、警察分
署長、憲兵隊長、憲兵分隊長ハ直ニ捜査ヲ爲シタル
上相當ノ處置ヲ爲シ且通知ヲ爲シタル官公署ニ通知

スヘシ

二 島司、郡長、市町村長、警察署長、警察分署長、憲兵隊長、憲兵分隊長ハ第二條第一項ニ依リ官報ニ掲載シタル者ノ所在ヲ發見シタルトキハ直ニ關係ノ官公署ニ通知シ且其ノ踪跡ヲ失セサルノ手段ヲ探ルヘシ

前項ノ外所轄内ニ本籍ヲ有セサル現住者ニシテ故ナク徵兵終結處分ヲ受ケスト認ムル者アルトキハ直ニ之ヲ本籍地ト認定シタル市町村長ニ通知スヘシ

三 市町村長ハ毎年一月其ノ年ノ壯丁名簿ニ編入スヘキ者(前年假決ノ者ヲ含ム)ノ不在ヲ調査シ其ノ不在者ニ對シテハ戸主又ハ家事擔當者若ハ親戚ヲシテ調査ヲ爲サシムヘシ

第五條 第一條ノ調査ヲ爲スニ際シテハ鑛山、工場其ノ他壯年者ノ集團スル場所ニ對シテハ特ニ注意ヲ加フルヲ要ス

第六條 本規程ノ實行ニ關シ必要ナル細則ハ警視總監及地方長官之ヲ定ム

第七條 本規程中郡長トアルハ北海道ニ在リテハ支廳長、市長トアルハ東京市、京都市、大阪市、北海道及沖繩縣ニ在リテハ區長、町村長トアルハ町村制ヲ施行セサル地

ニ在リテハ町村長ニ準スヘキ者ニ該當ス

附則

所在不明ノ徵兵終決處分未濟者調査ニ關スル從前ノ訓令ハ之ヲ廢止ス

明治三十五年以後明治三十九年以前ニ係ル所在不明ノ徵兵終決處分未濟者ニ關シテハ本年ニ於テ第二條第一項ノ手續ヲ爲スヘシ

明治三十四年以前ニ係ル所在不明ノ徵兵終決處分未濟者ニ關シテハ明治四十一年中ニ第二條第一項ノ手續ヲ爲スヘシ

●現役志願ノ後事故ニ

ヨリ服役未濟ノ者等

徵兵再検査方

明治二十七年二月二十一日
陸軍省訓令甲第二號

師團司令部(近衛師團司令部ヲ除ク)
消廳 府縣(沖繩縣ヲ除ク)

徵兵事務條例ニ依リ終決處分ヲ受ケサル者ニシテ志願ニ由リ現役軍人トナリ服役三箇年未滿ノ者若クハ常備兵籍ニ編入ノ諸生徒學生傷痍疾病其他ノ事故ニ由リ現役若クハ生徒學生ヲ免シ兵役上ニ關スル爾後ノ處分ヲ受ケサルモノハ更

ニ徵兵検査ヲ爲シ其徵否ヲ定ムヘシ
但明治二十一年陸軍省訓令甲第六號（師團司令部ヘハ訓令乙第一三號）ヲ廢ス

●步兵隊兵員徵集區

指定表

明治四十年九月十八日
陸達第五十六號

（二部改正）大正四年一二月陸達第二八號
步兵隊兵員徵集區指定表左ノ通定メ改正陸軍管區表施行ト
同時ニ之ヲ施行ス
明治三十二年陸達第三十五號ハ之ヲ廢止ス

步兵隊兵員徵集區指定表

師團	旅團	步兵聯隊	聯隊區名
第一	第一	第一聯隊	麻布
第一	第二	第三聯隊	本郷
第一	第三	第五十七聯隊	佐倉
第二	第三	第二十九聯隊	福島
第二	第四	第六十五聯隊	若松
第二	第五	第三十二聯隊	山形
第二	第六	第六十八聯隊	名古阜
第三	第三十	第五十一聯隊	津阪
第四	第七	第七十聯隊	大篠山
第四	第三十二	第六十一聯隊	和歌山
第五	第九	第二十一聯隊	廣島
第五	第二十一	第四十二聯隊	山口
第六	第十一	第十三聯隊	熊本
第六	第三十六	第四十五聯隊	鹿兒島
第八	第四	第五聯隊	都城
第八	第十六	第三十一聯隊	青森
第九	第六	第五十二聯隊	盛岡
第九	第三十一	第三十六聯隊	弘前
第十	第八	第四十聯隊	鳥取
第十	第二十	第三十九聯隊	福山
第十	第三十	第十二聯隊	徳島
第十	第四十	第六十二聯隊	善通寺
第十一	第十	第四十三聯隊	高知
第十一	第二十二	第四十四聯隊	高知

師團	旅團	步兵聯隊	聯隊區名
第三	第三十	第五十三聯隊	桑名
第三	第七	第七十聯隊	大篠山
第四	第三十二	第六十一聯隊	和歌山
第四	第九	第二十一聯隊	廣島
第五	第二十一	第四十二聯隊	山口
第五	第十一	第十三聯隊	熊本
第六	第三十六	第四十五聯隊	鹿兒島
第六	第四	第五聯隊	都城
第八	第十六	第三十一聯隊	青森
第八	第四	第五十二聯隊	盛岡
第九	第六	第三十六聯隊	弘前
第九	第三十一	第三十六聯隊	弘前
第十	第八	第四十聯隊	鳥取
第十	第二十	第三十九聯隊	福山
第十	第三十	第十二聯隊	徳島
第十	第四十	第六十二聯隊	善通寺
第十一	第十	第四十三聯隊	高知
第十一	第二十二	第四十四聯隊	高知

備	第二十第		三十第		四十第		五十第		六十第		七十第		八十第															
	第十二	第三十五	第十五	第二十六	第二十七	第二十八	第十七	第二十九	第十八	第十九	第三十三	第三十四	第二十三	第二十四														
一	第四十七聯隊	第七十二聯隊	第十四聯隊	第二十四聯隊	第三十六聯隊	第五十聯隊	第五十八聯隊	第二聯隊	第五十九聯隊	第十五聯隊	第六十六聯隊	第六十八聯隊	第六十聯隊	第三十四聯隊	第三十八聯隊	第五十三聯隊	第四十一聯隊	第二十一聯隊	第六十三聯隊	第四十六聯隊	第五十五聯隊	第四十五聯隊	第五十八聯隊	第五十六聯隊				
一	中	大	小	福	新	村	高	水	宇	高	熊	豐	飯	靜	濱	大	津	賀	京	奈	福	岡	濱	松	大	佐	久	高
一	津	分	倉	岡	田	松	本	田	戸	宮	崎	谷	橋	岡	田	松	津	賀	都	良	山	山	田	江	村	賀	米	瀬

考

兵員ハ本表ノ外沖繩警備隊ヨリモ徴集ス
 二 本表以外ノ各歩兵聯隊ノ兵員ハ徴兵事務
 條例施行細則第一條ノ規定ニ依リ之ヲ徴集
 スルヲ以テ本表中ニ之ヲ掲ケス

第三編 志願兵

◎陸軍一年志願兵條例

明治三十七年三月廿九日勅令第八十四號

(一部改正) 三十七年九月勅令第二一四號、四一年一〇月勅令第二六四號、四二年三月同第五〇號、四四年一〇月同第二七一號

朕陸軍一年志願兵條例改正ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

陸軍一年志願兵條例

第一條 徵兵令第十三條ニ依リ一年志願兵ト爲ル者ハ志願ノ際本籍ノ在ル師管内ノ軍隊ニ於テ服役セシム但シ軍事上ノ必要アルトキハ他ノ師管内ノ軍隊ニ服役セシムルコトアルヘシ

第二條 一年志願兵ノ兵科ハ本人ノ冀望ト軍事上ノ必要トニ依リ之ヲ定ム

第三條 一年志願兵出願者ニシテ左ノ各號中第一號ニ該當スル者ハ主計生、第二號ニ該當スル者ハ軍醫生、第三號ニ該當スル者ハ藥劑生、第四號ニ該當スル者ハ獸醫生タラムコトヲ志願スルコトヲ得

一 專門學校又ハ之ト同等以上ノ學校ニ於テ法律又ハ經濟ノ課程ヲ卒業シタル者

二 醫師免許證ヲ有シ又ハ之ヲ受クヘキ資格アル者

三 藥劑師免狀ヲ有シ又ハ之ヲ受クヘキ資格アル者

四 獸醫免狀ヲ有シ又ハ之ヲ受クヘキ資格アル者

第四條 一年志願兵ハ營内ニ居住セシム但シ入營後概ネ四箇月ヲ經過シタル者ニシテ家事其ノ他ニ關シ已ムヲ得サル事故アルトキハ聯隊長之ニ外泊ヲ許シ通勤セシムルコトヲ得

第五條 一年志願兵ニハ給料入營旅費及歸郷旅費ヲ給セス

第六條 一年志願兵ニハ所屬隊ニ於テ糧食、彈藥ヲ給シ兵器、被服等ヲ貸與ス

第七條 一年志願兵ノ服役ニ關スル費用ハ陸軍大臣ノ定ムル所ニ依リ之ヲ納付セシム

第八條 一年志願兵ハ現役滿期ノ後六年四箇月豫備役ニ、

豫備役滿期後十箇年後備役ニ服セシム但シ第二十七條及第二十八條ニ依リ豫備役ニ編入セラレタル者ノ豫備役ト

期ハ現役期間ヲ通算シテ七年四箇月トス

第九條 一年志願兵タラムトスル者ハ本籍所在師管ノ師團

長ニ願出テ身體検査又ハ身體検査及學術試験ヲ受クヘシ但シ其ノ検査及試験ハ寄留地所在師管ニ於テ之ヲ受クルコトヲ得

前項出願ノ期日手續並検査及試験ニ關スル事項ハ陸軍大臣之ヲ定ム

第十條 本籍所在師管ノ師團長ハ合格ノ者ニハ一年志願兵認定證書ヲ付與シ不合格ノ者ニハ其ノ旨ヲ通知スヘシ

第十一條 一年志願兵認定證書ヲ有スル者入營前左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ其ノ認定證書ヲ返還セシム

一 傷痍又ハ疾病ニ依リ服役ニ堪ヘ難キトキ

二 陸海軍ノ兵籍ニ編入スヘキ諸生徒候補生等ヲ命セラレタルトキ

三 本人ヲ要スルニ非サレハ一家ノ生計ヲ營ミ難キトキ

第十二條 一年志願兵ノ入營期日ハ毎年十二月一日トス但シ戰時又ハ事變ノ際其ノ他必要ノ場合ニ於テハ之ヲ變更スルコトアルヘシ

第十三條 一年志願兵認定證書ヲ有スル者傷痍疾病其ノ他止ムヲ得サル事故ニ依リ所定ノ期日ニ入營シ難キトキハ其ノ入營ヲ延期スルコトヲ得

第十四條 入營ヲ延期セラレタル者十二月三十一日迄ニ入營シ難キトキハ翌年入營セシム

前項ニ依リ翌年入營セシムヘキ者仍其ノ年ニ入營シ難キトキハ 年志願兵認定證書ヲ返還セシム

第十五條 (削除)

第十六條 一年志願兵ノ教育ハ聯隊長其ノ責ニ任ス

第十七條 一年志願兵ハ入營後四箇月一般ノ兵卒ト同一ノ教育ヲ爲シ之ニ一等卒ヲ命シ二箇月以上通常教育ノ外特別ノ教育ヲ爲シ之ニ上等兵ヲ命シ下士及士官ノ勤務ヲ練習セシム其ノ成績ノ優秀ナルトキハ伍長ノ階級ニ進ムルコトヲ得

一等卒上等兵ヲ命シ又ハ伍長ノ階級ニ進ムルハ聯隊長ニ於テス

第十八條 第三條第一號、第二號又ハ第三號ニ該當スル者ハ歩兵隊ニ於テ、同條第四號ニ該當スル者ハ騎兵隊、砲兵隊又ハ輜重兵隊ニ於テ六箇月間前條ニ依リ教育ヲ爲シタル後上等兵ヲ命シ之ヲ主計生、軍醫生、藥劑生又ハ獸醫生ト爲シ各専門ニ關スル下士及士官ノ勤務ヲ練習セシム

主計生ハ師團經理部長、軍醫生及藥劑生ハ師團軍醫部長、獸醫生ハ師團獸醫部長師團長ノ認可ヲ受ケ之ヲ命ス

第一項ノ期間ハ戰時又ハ事變ニ際シテハ之ヲ四箇月ニ短縮スルコトヲ得

第十九條 専門勤務ニ關スル教育ハ主計生ニ在リテハ隊附高級主計、軍醫生ニ在リテハ隊附高級醫官、藥劑生ニ在リテハ衛戍病院長、獸醫生ニ在リテハ隊附高級獸醫官各其ノ責ニ任シ師團經理部長、師團軍醫部長、師團獸醫部長各其ノ教育ヲ監督ス

第二十條 専門勤務ヲ練習スル者ニシテ其ノ成績優秀ナルトキハ其ノ教育ヲ監督スル諸官ニ於テ主計生ハ三等計生ノ階級ニ、軍醫生藥劑生ハ三等看護長ノ階級ニ、獸醫生ハ三等蹄鐵工長ノ階級ニ進ムルコトヲ得

第二十一條 一年志願兵ハ戰時又ハ事變ニ際シ通常ノ現役勤務ニ服セシムルコトアルヘシ此ノ場合ニ於テハ階級相當ノ給料ヲ給シ服役ニ關スル費用ハ之ヲ官費トス

第二十二條 一年志願兵ハ現役滿期終末試験ヲ施行ス其ノ方法ハ陸軍大臣之ヲ定ム

第二十三條 終末試験ヲ終リタルトキハ試験ノ成績ト平素ノ勤務トヲ參酌シ及第者ハ豫備役編入ノ際各兵科ノ者ニ在リテハ軍曹ニ、主計生ニ在リテハ二等計生ニ、軍醫生及藥劑生ニ在リテハ二等看護長ニ、獸醫生ニ在リテハ二等蹄鐵工長ニ任ス

終末試験ニ及第セサル者ニシテ下士ノ技能アル者ハ豫備役編入ノ際各兵科ノ者ニ在リテハ伍長ニ、主計生ニ在リテハ三等計手ニ、軍醫生及藥劑生ニ在リテハ三等看護長ニ、獸醫生ニ在リテハ三等蹄鐵工長ニ任シ主計生、軍醫生、藥劑生、獸醫生ニシテ下士ノ技能ナキ者ハ之ヲ免ス前二項ニ依リ下士ニ任シ又ハ主計生、軍醫生、藥劑生、獸醫生ヲ免スルハ師團長ノ命ニ依リ主計生ニ在リテハ師團經理部長、軍醫生及藥劑生ニ在リテハ師團軍醫部長、獸醫生ニ在リテハ師團獸醫部長、其ノ他ニ在リテハ聯隊長之ヲ爲スモノトス

第二十四條 一年志願兵ニシテ傷疾疾病等ニ因リ終末試験ヲ受ケサル者ハ現役滿期後一箇年以内ニ於テ終末試験ヲ受クルコトヲ得

前項ニ依リ終末試験ヲ受ケタル者ハ前條ノ例ニ依ル
第二十五條 前條ニ依リ終末試験ヲ受ケサル者ハ第三十三條第二項及第三項ニ準シ伍長同相當官ニ任シ又ハ主計生、軍醫生、藥劑生、獸醫生ヲ免ス

第二十六條 一年志願兵ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ第十七條及第十八條ノ例ニ依ラス二等卒ト爲シ一般ノ兵卒ト同一ノ教育ヲ爲シ其必要ニ應シ現役滿期ノ後毎年六十日間勤務演習ノ爲召集ス之ニ要スル費用ハ自辨トス

一 怠慢ニシテ勤務習得ノ見込ナキ者
二 軍紀ヲ紊リ、屢法則ヲ犯シ又ハ品行不正ニシテ改悛ノ見込ナキ者

前項ニ依リ勤務演習ニ召集スル者ニハ第五條、第六條及第七條ノ規定ヲ準用ス

第二十七條 一年志願兵中第十一條第三號ニ該當スル者アルトキハ師團長ハ聯隊長ヲシテ現役ニ堪ヘサル者ハ豫備役ニ編入シ常備後備ノ役ニ堪ヘサル者ハ其ノ役ヲ免シ第二國民兵役ニ服セシメ永久服役ニ堪ヘサル者ハ兵役ヲ免セシム

第二十八條 一年志願兵中傷疾又ハ疾病ニ因リ服役ニ堪ヘ難キ者アルトキハ師團長ハ聯隊長ヲシテ現役ニ堪ヘサル者ハ豫備役ニ編入シ常備後備ノ役ニ堪ヘサル者ハ其ノ役ヲ免シ第二國民兵役ニ服セシメ永久服役ニ堪ヘサル者ハ兵役ヲ免セシム

第二十九條 前二條ニ依リ豫備役ニ編入スル者ハ第二十三條第二項及第三項ニ準シ伍長同相當官ニ任シ又ハ主計生、軍醫生、藥劑生、獸醫生ヲ免ス

第三十條 本條例ニ規定スルモノノ外一年志願兵ト爲リタル者ノ士官又ハ下士ノ任官ニ關シテハ陸軍補充條例、豫備後備ノ服役ニ關シテハ陸軍服役條例ノ規定ニ依ル

第三十一條 本條例中聯隊長トアルハ獨立隊ニ在リテハ其ノ隊長ニ該當ス

附則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
本令施行ノ際服役中ノ者翌年回トナリタル者及明治三十七年出願ニ係ル一年志願兵ノ服役スヘキ兵科及衛戍地ニ關シテハ從前ノ規定ニ依ル

明治三十七年一年志願兵ヲ志願シタル者ノ身體検査及學術試験並認定證書ノ付與ニ關シテハ從前ノ規定ニ依ル

本令施行ノ際既ニ官費服役ヲ許可シタル者ハ其ノ服役ノ費用ニ關シテハ從前ノ規定ニ依ル

本令施行ノ際既ニ現役ヲ終リ又ハ免セラレタル者ノ服役ニ關シテハ從前ノ規定ニ依ル

臺灣總督府國語學校土語科ノ卒業證書ヲ有スル者ハ當分臺灣ニ於テ身體検査ヲ受ケ臺灣守備歩兵隊ニ於テ服役スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ本條例中師團長トアルハ臺灣守備隊司令官ニ該當ス但シ第九條ノ願書ハ本籍所在師管ノ師團長ニ差出スヘキモノトス

●陸軍一年志願兵條例

施行細則

明治三十七年三月廿九日
陸軍省令第十三號

(一部改正)

三八年二月陸軍省令第四號、三九年一〇月同第一一號、四二年三月同第五號、四三年一〇月同第一〇號、四四年一〇月同第一〇號

陸軍一年志願兵條例施行細則左ノ通改正ス

陸軍一年志願兵條例施行細則

第一條 一年志願兵ハ年額百八圓(臺灣ニ於テ服役スル者ニ在リテハ百二十九圓)ヲ入營スル月ノ前月盡日迄ニ所屬隊ニ納ムヘシ

前項ノ納金ハ當該部隊ニ於テ歳入納付ノ手續ヲ爲スヘシ
第二條 前條第一項ノ納金ハ服役ニ關スル費用ノ實費ト看做シ追徴若ハ還付セス但シ入營前死亡シ又ハ其ノ入營ヲ翌年ニ延期シ若ハ認定證書ヲ返還セシメタルトキハ納金ノ全額、服役中陸軍一年志願兵條例第二十一條ニ依リ通常ノ現役勤務ニ服スルトキハ其ノ當月ヨリ官給期間ニ係ル既納金額 月割計算法ニ依ル以下同シ) 除除若ハ死亡シタルトキハ其ノ當月以後ニ係ル既納金額ヲ本人又ハ遺族ニ拂戻スモノトス

第三條 陸軍一年志願兵條例第二十六條ニ依リ勤務演習ニ召集スル場合ニハ前二條ヲ準用ス但シ其ノ納ムヘキ金額ハ月割計算法ニ依リ二月分トス

第四條 一年志願兵ヲ出願スル者ハ其ノ願書(附錄第一様

式)ニ戸籍謄本、履歷書(附錄第二様式)ヲ添へ學術試験ヲ要スル者ニ在リテハ六月十日迄ニ其ノ他ノ者ニ在リテハ七月十日迄ニ本籍地ノ市町村長ニ差出スヘシ
前項ノ願書ニハ徵兵令第十三條ノ學校卒業者ニ在リテハ學校長ノ卒業證明書、戸主ニ非ラサル者ハ戸主、未成年者ニ在リテハ親權者ノ服役承認書(附錄第三様式)ヲ添付スヘシ

市町村長ハ志願者ノ身元資産及犯罪ノ有無等ヲ調査シ證明書(附錄第四様式)ヲ製シ又他師管ニ全戸寄留ノ者ニ在リテハ其ノ師管名及寄留ノ年月日ヲ附記シ願書ニ添付シ學術試験ヲ要スル者ニ在リテハ七月十日迄、其ノ他ノ者ニ在リテハ八月五日迄ニ師團長ニ到着スル如ク島司、郡長、聯隊區司令官ヲ經テ之ヲ差出スヘシ

第五條 前條ノ志願者ニシテ徵兵令第十三條ノ學校ヲ卒業セサル者ハ其ノ年十月三十一日迄ニ卒業スヘキ者ニ限り學校長ノ證明書ヲ以テ卒業證明書ニ代フルコトヲ得但シ卒業ノ上ハ直ニ學校長ノ卒業證明書ヲ添へ師團長ニ届出ツヘシ

第六條 師團長ハ志願者中學術試験ヲ要スル者ノ人員ヲ検査ヲ爲スヘキ師管ニ區分シ之ヲ八月一日迄ニ陸軍將校生徒試験常置委員長ニ通知シ他ノ師管ニ於テ検査ヲ受ケム

トスル者ノ人名及必要ノ事項ヲ當該師管ノ師團長ニ八月二十日迄ニ通知スヘシ

第七條 陸軍將校生徒試験常置委員長前條ノ通知ヲ受ケタルトキハ試験問題ヲ師團長ニ送付スヘシ

第八條 志願者中學術試験ヲ受クヘキ者及徵兵検査ニ依ラス身體検査ヲ受クヘキ者ハ検査期日前検査地ニ到着シ書面ヲ以テ其ノ止宿所ヲ検査地所管師團司令部ニ届出ヘシ但シ検査地ニ現住ノ者ト雖本文ニ準シ届出ヘシ

第九條 師團長ハ軍醫ヲシテ志願者ノ身體検査ヲ行ハシメ尙身體検査合格者中學術試験ヲ要スル者ハ部下ノ將校同相當官ニ試験委員ヲ命シ其ノ試験ヲ行ハシム但シ其ノ年徵兵検査ニ於テ甲種又ハ乙種ニ合格シタル者ニ在リテハ其ノ結果ニ從ヒ別ニ身體検査ヲ行ハサルモノトス
學術試験ヲ受クヘキ者ハ新ニ單身脱帽ニテ撮影シタル寫眞紙(手札形)ノ裏面ニ族籍氏名ヲ自書シ學術試験ノ際試験委員ニ差出スヘシ

聯隊區司令官ハ徵兵検査ニ於テ甲種又ハ乙種ニ合格シタル志願者ノ壯丁名簿寫ヲ師團長ニ差出シ他ノ師管ニ於テ學術試験ヲ受クヘキ者ニ在リテハ尙其ノ結果ヲ速ニ當該受驗地所管ノ師團長ニ通知スヘシ

第十條 一年志願兵出願者ノ検査場ハ師團司令部所在ノ衛

戊地トシ其ノ身體検査期日ハ九月四日學術試験期日ハ九月五日トス

第十一條 學術試験ヲ要セサル者ハ検査場ノ變更ヲ爲スコトヲ得此ノ場合ニ於テハ八月十日迄ニ本籍所在師管ノ師團長ニ願出テ許可ヲ受クヘシ

第十二條 師團長前條ノ願ヲ許可シタル場合ニ於テ第六條ノ他師管内受験者ノ通知ニ變更ヲ要スルトキハ八月二十日迄ニ關係師團長ニ通知スヘシ

第十三條 師團長ハ検査ヲ終リタルトキハ十月一日迄ニ合格人員表(附錄第七様式)ヲ調製シ陸軍大臣ニ報告スヘシ但シ他ノ師管在籍者ノ成績ハ學術受験者ニ在リテハ之ニ寫眞紙ヲ添ヘ同日迄ニ受験本籍所在師管ノ師團長ニモ通知スヘシ

第十四條 陸軍大臣ハ前條ノ合格人員表ニ依リ一年志願兵配當表ヲ作り師團長ニ通達ス

師團長前項ノ通達ヲ受ケタルトキハ一年志願兵認定證書(附錄第五様式)ヲ本人ニ付與スヘシ但シ第五條ニ依リ學校長ノ證明書ヲ以テ卒業證明書ニ代用スル者ニ在リテハ卒業ノ届出ヲ爲シタル後之ヲ付與スヘキモノトス

第十五條 他ノ師管ニ於テ服役スヘキ者ノ認定證書ハ本籍所在師管ノ師團長之ヲ付與シ其ノ人名書ニ資格検査表、

又ハ壯丁名簿寫願書其ノ他必要ノ書類ヲ添ヘ速ニ當該師團長ニ送付スヘシ

第十六條 師團長前條ノ書類ヲ受領シタルトキハ更ニ入營命令(附錄第六様式)ヲ作り本人ニ送付スヘシ

第十七條 一年志願兵ヲ各師管、各軍隊ニ配賦スルニハ左ノ各號ヲ參酌スルモノトス但シ主計生タラムコトヲ希望スル者ハ師團司令部所在地ノ歩兵隊ニ配賦スルモノトス

一 軍事上ノ必要

二 志願者ノ希望

三 兵科毎ニ成ルヘク各隊ノ人員ヲ平等ニスルコト

四 特別ノ技術ヲ修メ若ハ其ノ實驗ヲ有スル者ハ其ノ技術ヲ必要トスル部隊ニ配賦スルコト例ヘハ鐵道隊工兵隊等ニハ成ルヘク土木、電氣、機械、冶金探鑛、物理ニ關スル技能アル者重砲兵隊ニハ成ルヘク電氣機械ニ關スル技能アル者ヲ配賦スル等

第十八條 師團長ハ其ノ師管内ノ軍隊ニ於テ服役スヘキ者ノ人名書ニ其ノ體格検査表、又ハ壯丁名簿寫願書其ノ他必要ノ書類ヲ添ヘ入營前隊長ニ下付スヘシ但シ近衛師團ニ於テ服役スヘキ者ニ關スル書類ハ第一師團長ヨリ近衛師團長ニ送付シ同師團長ニ於テ下付ノ手續ヲ爲スモノトス

第十九條 一年志願兵願出後入營迄ノ間ニ轉籍、轉住、氏名變更、犯罪、死亡其ノ他願書及添付書類ニ記載セル事項ニ異動ヲ生シタルトキハ本人又ハ親族ヨリ認定證書付與前ニ在リテハ本籍所在師管ノ師團長ニ、認定證書付與後ニ在リテハ服役スヘキ師團ノ師團長ニ届出ツヘシ

第二十條 條例第十一條第一號ニ該當スルトキハ在職軍醫ノ診斷書（軍醫有ラサル地ニ在リテハ醫師ノ病況書）同第二號ニ該當スルトキハ學校又ハ官廳等ノ證明書、第三號ニ該當スルトキハ近鄰戸主二名ノ保證書ヲ添付シ本籍地ノ市町村長、島司、郡長、聯隊區司令官ヲ經テ服役スヘキ師團ノ師團長ニ届出ツヘシ

島司、郡市町村長ハ前項ノ病況書又ハ保證書ニ記載セル事實ヲ査覈シ市町村長ニ在リテハ狀況書島司、郡長ニ在リテハ意見書ヲ作り届書ト共ニ聯隊區司令官ニ送付シ聯隊區司令官ハ該狀況書及意見書ニ尙其ノ意見ヲ添付シ師團長ニ進達スヘシ

第二十一條 條例第十三條ニ依リ入營ノ延期ヲ願出テムトスルトキハ願書ニ證據書類ヲ添へ本籍地市町村長、島司、郡長、聯隊區司令官ヲ經テ服役スヘキ軍隊所管ノ師團長ニ差出スヘシ

市町村長ハ前項ノ願書ニ證印ヲ爲スヘキモノトス

第二十二條 師團長一年志願兵入營前認定證書ヲ返還セシメムトスルトキハ本籍地ノ聯隊區司令官ニ其ノ旨ヲ通知シ聯隊區司令官ハ本人ヘ其ノ返還ヲ命スヘシ

第二十二條ノ二 一年志願兵入營ノ際施行セル身體検査ニ於テ傷痍若ハ疾病ノ爲ニ箇月以後ニ非サレハ教育ヲ施スヲ得スト認ムル者アルトキハ當該隊長之ヲ歸郷セシメ其ノ旨ヲ直ニ本籍地所管ノ聯隊區司令官ニ通報スヘシ

前項ニ依リ歸郷セシメタル者ハ條例第十四條第一項ニ該ル者トシテ取扱フヘシ

第二十二條ノ三 條例第四條但書ニ依リ外泊ヲ願出テムトスル者ハ願書ニ證據書類ヲ添へ本籍地市町村長、島司、郡長、聯隊區司令官ヲ經テ聯隊長ニ差出スヘシ

市町村長ハ前項ノ願書ニ證印ヲ爲スヘキモノトス

第二十三條 聯隊長條例第二十八條ニ依リ常備後備ノ役ヲ免シ又ハ兵役ヲ免シタルトキハ之ヲ本籍地ノ聯隊區司令官ニ通知スヘシ

第二十四條 聯隊長ハ一年志願兵中所定ノ期日ニ入營セサル者アルトキハ之ヲ師團長ニ報告シ尙本籍地ノ聯隊區司令官ニ通知スヘシ

第二十五條 師團長ハ一年志願兵人員表（附錄第八様式）及一年志願兵終末試驗成績表（附錄第九様式）ヲ毎年一

月三十一日迄ニ陸軍大臣ニ報告スヘシ

第二十六條 (削除)

第二十七條 一年志願兵認定證書ヲ有スル者入營シタルトキ又ハ翌年回ト爲リタルトキハ十四日以内ニ本籍地ノ市町村長ニ届出ツヘシ

第二十八條 一年志願兵ニシテ條例第十一條第三號ニ該當スルトキハ聯隊長ニ届出ツヘシ此ノ場合ニ在リテハ第二十條ヲ準用ス

第二十九條 本則中聯隊長トアルハ獨立隊ニ在リテハ該隊長、聯隊區司令官トアルハ警備隊區ニ在リテハ警備隊司令官又ハ警備隊區司令官、島司又ハ郡長トアルハ北海道ニ在リテハ支廳長又ハ區長、沖繩縣ノ區ニ在リテハ區長、島司又ハ郡長ヲ置カサル島嶼ニ在リテハ島司又ハ郡長ニ準スヘキ者、市長トアルハ東京市、京都市、大阪市、名古屋市ニ在リテハ區長、町村長トアルハ町村制ヲ施行セサル地ニ在リテハ町村長ニ準スヘキ者ニ該當ス

附則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際入營延期又ハ翌年回ト爲リタ者及明治三十七年志願ニ係ル一年志願兵ニシテ舊一年志願兵條例施行細則ノ規定ヲ適用スヘキモノハ從前ノ規定ニ依ル

明治三十七年志願ニ依ル一年志願兵中條例第三條第一號ニ該當スル者主計生タラムトスルトキハ證明書類ヲ添へ入營一箇月前迄ニ服役スヘキ軍隊所管ノ師團長ニ願出ツヘシ前項ノ願ヲ許可セラレタル者ハ師團司令部所在地ノ歩兵隊ニ於テ服役セシム

條例附則ニ依リ臺灣ニ於テ服役スル者ニ關シテハ第五條第九條第一項第十一條第十二條第十八條乃至第二十條第二十二條第二十四條及第二十五條中師團長トアルハ臺灣守備隊司令官ニ該當シ、第四條ノ願書其ノ他ノ書類及壯丁名簿寫ハ本籍所在師管ノ師團長ヨリ臺灣守備隊司令官ニ送付シ第八條ノ届書ハ其ノ地ノ守備隊司令部ニ差出シ検査ハ臺灣守備隊司令官ヨリ當該司令部所在地ニ召集シテ之ヲ行ヒ、認定證書ハ検査終了後臺灣守備隊司令官ニ於テ適宜之ヲ付與シ、第二十一條ノ書類ハ直接臺灣守備隊司令官ニ差出スモノトス

(様式略ス)

● 試補及判任見習等ノ官吏一年志願兵服役ノ件

明治二十三年三月二十八日 勅令第六十二號

朕試補及判任官見習並非職休職ノ官吏ニシテ一年志願兵トナル者服役ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム
試補及判任官見習並非職休職ノ官吏ニシテ一年志願兵トナル者ハ其儘服役スルコトヲ得

但有給者ニハ俸給ヲ給セス試補及判任官見習ニ在テハ服役時日ヲ實務練習ノ期限ニ算入セス

●戰時又ハ事變ノ際一年志願兵取扱方

明治三十七年十一月十一日
陸達第百六十一號

戰時若ハ事變ノ際ニ於ケル一年志願兵ノ取扱方左ノ通定ム
明治三十三年陸達第百二十六號ハ之ヲ廢止ス

第一條 現役一年志願兵ハ之ヲ野戰隊、守備隊及補充隊ノ要員ニ充ツルトキハ一年志願兵條例第二十一條ニ依ルモノトス

第二條 前條ニ該ル者ト雖守備隊及補充隊ニ於テハ成ルヘク一年志願兵條例ノ規定ニ依リ特別ノ教育ヲ施シ常例ノ期ニ於テ終末試験ヲ行フヘシ

第三條 徵兵令第七條ニ依リ現役兵ノ服役ヲ延期シタル場合ニ於テ現役一年志願兵服役滿一箇年ヲ經過シタルトキ

ハ豫備役ニ編入シ直ニ召集ノ上其ノ儘在隊セシムヘシ

第四條 前條ノ場合ニ於テ一年志願兵終末試験及第證書ヲ得タル者ハ成ルヘク引續キ陸軍補充條例ノ規定ニ依リ勤務演習ヲ行ヒ必要ニ應シ同條例第五百十三條ニ依リ士官ノ勤務ニ服セシム但シ補充上ノ必要ニ依リ勤務演習ヲ行フ暇ナキ場合ニ限り同條例第五百十四條ニ依リ士官ノ勤務ニ服セシムルコトヲ得

第五條 師團長教育上必要アリト認ムルトキハ甲隊ノ一年志願兵ヲ乙隊ニ集メ教育セシムルコトヲ得但シ衛戍地ヲ異ニスル者ニ在リテハ陸軍大臣ノ認可ヲ受クヘシ
前項ノ場合ニ於テ所要ノ旅費ハ之ヲ官給ス

●陸軍一年志願兵學術

試験科目

明治四十二年二月十三日
陸軍省告示第三號

(一部改正)大正二年陸軍省告示第一號

陸軍一年志願兵志願者ニシテ學術試験ヲ要スル者ノ試験科目當分ノ内左ノ通之ヲ定ム

- 讀書 國、漢文ノ講讀
- 作文 漢字交リ文、書翰文、文法
- 代數 對數迄

幾何 平面、立體
 三角法 平面
 地理 日本地理、外國地理、地文
 歷史 日本歷史、外國歷史
 圖畫 用器畫、自在畫

●陸軍一年志願兵終末
 試驗及第一次勤務演
 習期末試驗規程

明治四十四年十月二十六日
 陸達第二十八號

(一部改正)大正二年二月陸達第二號

陸軍一年志願兵終末試驗及第一次勤務演習期末試驗規程左ノ通定ム

一年志願兵終末試驗格例ハ之ヲ廢止ス

第一條 終末試驗及第一次勤務演習期末試驗ハ一年志願兵ノ豫備役將校同相當官タルニ必要ナル資格ノ有無ヲ檢査スルヲ以テ目的トス

第二條 終末試驗ハ師團長ニ於テ之ヲ實施ス

第三條 師團長ハ一年志願兵終末試驗委員ヲ編成シ終末試

驗ヲ行ハシム其ノ試驗委員ノ編成ハ附表第一ニ依ル

第四條 師團長ハ一年志願兵終末試驗ノ日割ヲ定メ施行期日一日前ニ各部隊長ニ達スヘシ

第五條 各部隊長ハ一年志願兵ノ志操、品性其ノ他ニ付將校同相當官タルニ必要ナル素質ノ有無並平素ノ學科及術科ノ成績ヲ調査シ終末試驗期日一週間前迄ニ師團長ニ報告スヘシ

第六條 試驗委員長ハ各兵科ノ者ニ在リテハ軍隊教育令附第十四各部ノ者ニ在リテハ附表第二ニ依リ學科試驗問題及術科試驗問題ヲ調製シ師團長ノ認可ヲ受クヘシ

第七條 試驗委員長ハ試驗期日ノ前日迄ニ學科試驗問題ヲ各部隊長ニ送付シ術科試驗問題ヲ各衛戍地毎ニ各兵科ノ高級試驗委員ニ送付スヘシ

第八條 學科試驗ハ前條ノ問題ニ依リ師團ノ各部隊ニ於テ同日同時ニ之ヲ行ヒ各部隊長其ノ監視ノ責ニ任ス

第九條 各部隊長ハ學科試驗終了シタルトキハ其ノ答案ヲ試驗委員長ニ送付スヘシ

第十條 術科試驗ハ各衛戍地毎ニ之ヲ行フ

第十一條 學科試驗及術科試驗ノ成績ノ調査ハ左ノ方法ニ依ル

一 採點ハ各課目毎ニ滿點ヲ二十點トス

二 各課目ノ得點ハ其ノ試験ヲ分擔シタル各試験委員ニ於テ各別ニ採點シ之ヲ合計平均シタルモノトス

三 學科及術科ノ得點ハ學科及術科毎ニ各課目ノ得點ヲ合計平均シタルモノトス

第十二條 終末試験ニ於ケル學科試験及術科試験ノ及第點ハ概ネ左ノ標準ニ依ル

一 終末試験ニ於テ學科及術科共各課目ノ得點八點以上

二 終末試験ニ於テ學科及術科ノ各得點十點以上

三 終末試験ニ於ケル學科及術科ノ各得點ニ平素ニ於ケル學科及術科ノ各得點(滿點ハ二十點トス)ヲ學科

及術科毎ニ加ヘ之ヲ二除シ其ノ各得點二十點以上

第十三條 試験委員長ハ終末試験ヲ終リタルトキハ其ノ成績ヲ調査シ師團長ニ報告スヘシ

第十四條 師團長ハ終末試験ノ成績ト第五條ノ報告ヲ參酌シ終末試験及第者ヲ決定ス

第十五條 第一次勤務演習期末試験ハ各兵科ノ者ニ在リテハ軍隊教育令附第十八ニ依リ、各部ノ者ニ在リテハ附表第二ノ課目ニ就キ其ノ程度ヲ高上シ共ニ終末試験ノ方法ニ準シ之ヲ實施スヘシ

(附表略ス)

●陸軍志願兵身體檢查

規則

明治四十二年三月三十一日
陸軍省令第七號

(一部改正)

明治四三年二月陸軍省令第一號、四五年二月同第三號、大正四年二月同第三號

陸軍士官候補生諸生徒其他陸軍志願兵身體檢查規則左ノ通定ム

陸軍士官候補生諸生徒其他陸軍志願兵

身體檢查規則

第一條 士官候補生、陸軍中央幼年學校豫科生徒、陸軍地方幼年學校生徒、主計候補生、見習醫官、見習藥劑官、見習獸醫官、衛生部及獸醫部依託學生、同依託生徒及砲兵工長候補者、陸軍戸山學校軍樂隊生徒志願者ノ身體檢查ハ本規則ニ依リ施行ス

陸軍監獄看守其ノ他陸軍ニ從事スルコトヲ志願スル者ノ身體檢查ニハ本規則ヲ準用ス

前二項ノ身體檢查ニハ學術上諸種ノ方法ヲ施スコトヲ得

第二條 志願者身長ノ定限ハ五尺以上トス但シ別ニ定ムル所アルモノハ此ノ限ニ在ラス

第三條 (削除)

第四條 (削除)

第五條 不合格ト爲スヘキ者概ネ左ノ如シ

- 一 全身發育不全ナル者
 - 二 精神機能ニ妨アル者及諸種ノ神経系病ニシテ急治スヘカラサル者
 - 三 諸種ノ内臓疾患ニシテ急治スヘカラサル者
 - 四 各眼ノ裸眼視力「〇・七」ニ滿タサル者(陸軍中央幼年學校豫科生徒及陸軍地方幼年學校生徒志願者ニ在リテハ「一・〇」ニ滿タサル者)及辨色不全ノ者但シ主計候補生、見習醫官、見習藥劑官、見習獸醫官、衛生部及獸醫部依託學生、同依託生徒及陸軍戸山學校軍樂生徒志願者ニ在リテハ近視ニ限リ其ノ度ヲ斟酌シテ特ニ合格ト爲スコトヲ得
 - 五 聽器ニ障碍アル者
 - 六 咀嚼言語ノ機能ニ妨アル者
 - 七 骨、軟部ノ疾患ニシテ急治スヘカラサル者
 - 八 諸種ノ癍痕、畸形、缺損等ニシテ醜形甚シク又ハ運動ニ妨アル者
- 第一條第二項ノ志願者ニ在リテハ前項ニ該當スル者ト雖勤務上支障ナキ限リ之ヲ合格ト爲スコトヲ得
- 附 則 本令ハ公布ノ日ヨリ施行ス

第四編 服役

●陸軍軍人服役令

明治四十四年十二月九日 勅令第二百八十五號

朕樞密顧問ノ諮詢ヲ經テ陸軍軍人服役令ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

陸軍軍人服役令

第一章 總 則

- 第一條 陸軍現役豫備役後備役將校同相當官准士官下士兵卒及補充兵役ニ在ル者ノ服役ニ關シテハ本令ノ定ムル所ニ依ル
- 第二條 現役將校准士官下士兵卒ハ所屬部隊ノ兵籍ニ編入シ將校准士官ニ在リテハ現役定限年齢ニ滿ツル迄、下士兵卒ニ在リテハ現役期間滿ツル迄服役セシム但シ將校准士官ニ付特ニ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス
- 第三條 豫備役後備役將校准士官下士及歸休兵ハ戰時又ハ事變ノ際ニ在リテハ必要ニ應シ平時ニ在リテハ勤務演習ノ爲之ヲ召集ス

豫備役後備役下士及歸休兵ニ對シテハ毎年一回簡閱點呼ヲ爲ス

第四條 將校准士官下士ニシテ文官ニ任セラレ餘人ヲ以テ代フヘカラルサル職務ニ在ル者及市町村長助役收入役其ノ他之ニ準スヘキ者ハ勤務演習ノ爲之ヲ召集シ又ハ其ノ簡閱點呼ヲ爲スコトナシ帝國議會、府縣會、郡會、市町村會其ノ他之ニ準スヘキモノノ議員其ノ開會中亦同シ

第五條 前條、第四十七條又ハ徵兵令第二十四條ノ場合ニ於テ餘人ヲ以テ代フヘカラルサル職務ニ在ル者ニ付テハ當該官廳豫メ理由ヲ附シ内閣ニ具狀シ勤務演習及簡閱點呼免除ノ認可ヲ受クヘシ

第六條 豫備役後備役將校准士官下士兵卒又ハ補充兵役ニ在ル者ニシテ文官ニ任セラレ又ハ官吏ト爲リ餘人ヲ以テ代フヘカラルサル職務ニ在ル者及運輸其ノ他ノ業務ニ從事シ戰役ニ關シ必要ナル職務ヲ執ル者ニ付テハ陸軍大臣上裁ヲ經テ充員召集及臨時召集ヲ猶豫スルコトヲ得

第七條 外國ニ旅行又ハ在留スル者ニ對シテハ勤務演習召集又ハ簡閱點呼ヲ爲ササルコトヲ得

第八條 待命休職停職將校准士官、豫備役後備役將校准士官下士兵卒、歸休兵及補充兵役ニ在ル者ハ之ヲ本籍所在師管ノ兵籍ニ編入シ將校准士官ニ在リテハ師團長、其ノ

他ノ者ニ在リテハ聯隊區司令官ノ管轄ニ屬セシム

前項聯隊區司令官ニ關スル規定ハ警備隊司令官又ハ警備隊區司令官ニ之ヲ適用ス

第九條 將校准士官下士ノ服役期間ハ現役年限年齢ニ拘ラス戰時又ハ事變ノ際又ハ航海若ハ外國駐劄中之ヲ延長スルコトヲ得但シ之カ爲他ノ服役期間ノ終期ヲ變更スルコトナシ

第十條 將校准士官下士兵卒後備役期間滿了ノ後引續キ服役ヲ志願スルトキハ之ヲ許可スルコトヲ得

第十一條 豫備役後備役將校准士官下士服役期間滿了シタルトキハ別ニ辭令ヲ用キス豫備役ノ者ハ後備役ニ入り、後備役ノ者ハ將校准士官ニ在リテハ退役トシ下士ニ在リテハ第一國民兵役ニ入ル

下士ニシテ第一國民兵役ニ入りタル者ハ同時ニ其ノ官ヲ免セラレタルモノトス

第十二條 下士上等兵又ハ之ト同等階級ノ兵卒ニシテ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者ハ其ノ官又ハ等級ヲ失フ

前項ノ規定ハ陸軍刑法又ハ海軍刑法ニ依リ一年未滿ノ禁錮ノ刑ニ處セラレタル者ニ之ヲ適用セス

第十三條 下士上等兵又ハ之ト同等階級ノ兵卒ニシテ前條ノ規定又ハ陸軍懲罰令ニ依リ其ノ官又ハ等級ヲ失ヒ又ハ

免セラレタル者ハ歩騎砲工輜重兵科、經理部及衛生部下士（計手ヲ除ク）兵卒ニ在リテハ當該兵科部ノ一等卒又ハ之ト同等階級ノ兵卒ト爲シ其ノ他ノ者ニ在リテハ前兵科（前兵科ナキ者ハ歩兵科）ノ一等卒ト爲ス

第十四條 士官候補生、主計候補生、見習醫官、見習藥劑官又ハ見習獸醫官ニシテ下士兵卒ト爲リタル者ハ前服役年月ヲ通算シ服役期間七年四月ニ滿タサル者ハ七年四月ニ滿ツル迄豫備役ニ、十七年四月ニ滿タサル者ハ十七年四月ニ滿ツル迄後備役ニ服セシメ後備役終ルノ後第一國民兵役ニ服セシム

第十五條 本令ノ服役期間ハ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外月ヲ以テ算シ最後ノ月ノ末日ヲ以テ滿了ス

第十六條 本令中將校ニ關スル規定ハ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外將校相當官ニ之ヲ適用ス

第二章 將校ノ服役

第十七條 將校ノ現役年限年齢ハ左ノ如シ

- 大將 六十五歲
- 中將 六十二歲
- 少將 五十八歲
- 大佐 五十五歲
- 中佐 五十三歲

- 少佐 五十歲
- 大尉 四十八歲
- 中尉 四十五歲

元帥タル大將ノ現役年限年齢ハ之ヲ定メス
第十八條 將校相當官ノ現役年限年齢ハ左ノ如シ

- 主計總監 六十二歲
- 軍醫總監 六十歲
- 軍醫監 六十歲
- 一等主計正 五十六歲
- 一等軍醫正 五十六歲
- 一等藥劑正 五十六歲
- 一等獸醫正 五十六歲
- 二等主計正 五十四歲
- 二等軍醫正 五十四歲
- 二等藥劑正 五十四歲
- 二等獸醫正 五十四歲
- 三等主計正 五十二歲
- 三等軍醫正 五十二歲
- 三等藥劑正 五十二歲
- 三等獸醫正 五十二歲

- 一等主計
 - 一等軍醫
 - 一等藥劑官
 - 一等歌醫
 - 一二等樂長
 - 二三等主計
 - 二三等軍醫
 - 二三等藥劑官
 - 二三等歌醫
- 五十歳
- 四十七歳

第十九條 現役將校ニシテ現役年限年齢ニ滿タサルモ退職恩給ヲ受クヘキ服役年數ニ達シ現役ニ堪ヘサル者ハ將官ニ在リテハ上諭ニ依リ上長官又ハ士官ニ在リテハ陸軍大臣旨ヲ諭シテ現役ヲ退カシムルコトアルヘシ

第二十條 豫備役將校ノ服役期間ハ現役年限年齢ニ滿ツル年ノ翌年三月三十一日ヲ以テ滿了ス

第二十一條 後備役將校ノ服役期間ノ終期ハ現役年限年齢ニ滿ツル年ヨリ起算シ六年目ノ三月三十一日トス

第二十二條 現役將校准士官ニシテ服役延期中進級シタル者、明治二十三年勅令第二十四號ニ依リ進級シタル者及豫備役後備役將校准士官ニシテ進級シタル者ノ服役期間ハ前官ノ現役年限年齢ニ依ル但シ豫備役後備役特務曹長

(憲兵特務曹長ヲ除ク)ニシテ少尉ニ進級シタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第二十三條 待命、休職、停職、豫備役及後備役將校外國ニ旅行又ハ在留セムトスルトキハ目的、國名及期間ヲ具狀シ陸軍大臣ノ許可ヲ受クヘシ

第三章 准士官ノ服役

第二十四條 准士官ノ現役年限年齢ハ左ノ如シ

- 一 歩、騎、砲、工、輜重兵科特務曹長 四十歳
- 二 其ノ他ノ准士官 四十八歳

第二十五條 現役准士官ニシテ現役年限年齢ニ滿タサルモ退職恩給ヲ受クヘキ服役年數ニ達シ現役ニ堪ヘサル者ハ特務曹長ニ在リテハ所管長官、其ノ他ノ者ニ在リテハ陸軍大臣旨ヲ諭シテ現役ヲ退カシムルコトヲ得

第二十六條 第二十四條第一號ニ該當スル者現役年限年齢ニ滿チ現役ヲ退キタルトキハ豫備役ニ服セシム但シ豫備役期間ニ滿チタル者ニ在リテハ之ヲ後備役ニ服セシム

第二十七條 第二十四條第一號ニ該當スル者ノ豫備役期間ノ終期ハ現役年限年齢ニ滿ツル年ヨリ起算シ六年目ノ三月三十一日、後備役期間ノ終期ハ現役年限年齢ニ滿ツル年ヨリ起算シ十一年目ノ三月三十一日トス

第二十八條 第二十四條第二號ニ該當スル者ノ豫備役期間

ノ終期ハ現役年限年齢ニ滿ツル年ノ翌年三月三十一日、後備役期間ノ終期ハ現役年限年齢ニ滿ツル年ヨリ起算シ六年目ノ三月三十一日トス

第二十九條 第二十三條ノ規定ハ准士官ニ之ヲ準用ス

第四章 下士ノ服役

第一款 通則

第三十條 下士ノ服役ハ分チテ現役豫備役及後備役トス其ノ服役ヲ終リタル者ハ第一國民兵役ニ服セシム

第三十一條 志願ニ依リ下士ニ任セラレタル者ノ服役期間ハ第四十二條又ハ第四十三條ノ規定ニ拘ラス四十五歳ニ達スル年ノ三月三十一日ヲ以テ限トス

第三十二條 下士ニシテ現役ヲ離ルルトキ前條又ハ第四十三條ノ規定ニ依ル服役期間ニ滿チタル者又ハ服役ノ全部若ハ兵役ヲ免セラレタル者ハ別ニ辭令ヲ用キス其ノ官ヲ免セラレタルモノトス

第二款 現役

第三十三條 憲兵科及軍樂部下士ヲ除クノ外隊附(教導隊及生徒隊ヲ含ム以下同シ)現役下士ハ營内ニ居住セシムルヲ例トス但シ砲兵諸工長、經理部衛生部獸醫部下士及懲治隊附下士ハ人員ヲ限り營外ニ居住セシム

警備隊附現役下士ニシテ其ノ警備隊區ニ本籍ヲ有スル者

ハ之ニ外泊ヲ許スコトヲ得

隊附ニ非サル現役下士ト雖必要ニ應シ營内ニ居住セシムルコトヲ得

第三十四條 現役下士ノ服役期間ハ左ノ如シ

一 憲兵科下士ハ前服役年月ヲ通算シ六年

二 歩騎砲工輜重兵科下士(砲兵諸工長ヲ除ク)縫靴工長及衛生部下士ハ徵集年ノ十二月ヨリ起算シ四年但シ警備隊附下士ニシテ警備隊區ヨリ徵集シタル者ニ在リテハ入隊ノ月ヨリ起算シ三年

三 砲兵諸工長及獸醫部下士ハ任官年ノ十二月ヨリ起算シ三年

四 計手ハ計手ニ任セラレタル年ノ十二月ヨリ起算シ二年

五 軍樂部下士ハ樂手補ヲ命セラレタル年ノ十二月ヨリ起算シ五年

六 豫備役後備役下士ニシテ再ヒ現役ニ服シタル者並歸休又ハ豫備役後備役ノ上等兵及之ト同等階級ノ兵卒ニシテ現役下士ト爲リタル者ハ前各號ノ規定ニ拘ラス再入隊年ノ十二月ヨリ起算シ二年

七 志願ニ依ラスシヲ兵卒ヨリ下士ニ任セラレタル者ハ前各號ノ規定ニ拘ラス徵集年ノ十二月ヨリ起算シ三

年

第三十五條 下士ノ現役年限年齢ハ左ノ如シ

一 歩、騎、砲、工、輜重兵科ノ隊附下士

(砲兵諸工長ヲ除ク)

四十歳

二 其ノ他ノ下士

四十五歳

第三十六條 下士現役期間満了ノ後再服役ヲ志願スルトキ

ハ現役年限年齢ニ滿ツル迄數次之ヲ許可スルコトヲ得

第三十七條 現役中本人ニ依ルニ非サレハ一家ノ生計ヲ營

ミ難キ事故ヲ生シタルトキハ本人ノ願ニ依リ現役ヲ免ス

ルコトヲ得

第三十八條 現役中傷疾ヲ受ケ又ハ疾病ニ罹リ現役ニ堪ヘ

サル者ハ現役ヲ、現役豫備役及後備役ニ堪ヘサル者ハ現

役豫備役及後備役ヲ、永久服役ニ堪ヘサル者ハ兵役ヲ免

ス

前項ノ規定ニ依リ現役豫備役及後備役ヲ免セラレタル者

ハ第一國民兵役ニ服セシム

第三十九條 憲兵科下士ニシテ素行修マラサル者ハ其ノ現

役ヲ免ス

第四十條 下士ニシテ現役中六年未滿ノ懲役若ハ禁錮ノ刑

ニ處セラレ又ハ逃亡シタル者ニ付テハ其ノ刑期中又ハ逃

亡中ノ期間ハ之ヲ現役期間ニ算入セス

前項ニ該當スル者ノ服役期間ハ其ノ起算ノ月ノ初日ヨリ起算シ日ヲ以テ之ヲ算ス

第三款 豫備役及後備役

第四十一條 下士ニシテ現役ヲ離レルトキ第四十二條ノ期

間ニ滿タサル者ハ豫備役ニ、第四十三條ノ期間ニ滿タサ

ル者ハ後備役ニ服セシム

第四十二條 後備役下士ノ服役期間ノ終期ハ志願ニ依ラス

シテ兵卒ヨリ下士ニ任セラレタル者ニ在リテハ徵集年ノ

十二月ヨリ、其ノ他ノ者ニ在リテハ任官年ノ十二月ヨリ

起算シ七年四月ニ滿ツル日トス

第四十三條 後備役下士ノ服役期間ノ終期ハ前條起算ノ月

ヨリ十七年四月ニ滿ツル日トス

第四十四條 豫備役後備役下士現役ヲ志願スルトキハ之ヲ

許可スルコトヲ得

第四十五條 豫備役後備役下士犯罪ノ爲又ハ正當ノ事由ナ

クシテ召集ニ應セス若ハ其ノ期ニ後レ又ハ召集中職役ヲ

離レタルトキハ其ノ年ハ之ヲ服役期間ニ算入セス

第四十六條 豫備役後備役下士在郷中傷疾ヲ受ケ又ハ疾病

ニ罹リ永久服役ニ堪ヘサルトキハ兵役ヲ免ス

豫備役後備役下士部隊編入中傷疾ヲ受ケ又ハ疾病ニ罹リ

豫備役後備役ニ堪ヘサルトキハ第一國民兵役ニ服セシメ

永久服役ニ堪ヘサルトキハ兵役ヲ免ス

第五章 兵卒ノ服役

第一款 通則

第四十七條 徵兵令第七條、第十六條、第二十四條、第二十九條第一項但書及第三項ノ規定ハ憲兵上等兵、樂手補、第十三條ノ規定ニ依リ一等卒又ハ之ト同等階級ノ兵卒ト爲リタル者及第十四條ノ兵卒ニ之ヲ準用ス

第四十八條 憲兵上等兵及樂手補ノ服役ハ分チテ現役豫備役及後備役トシ現役ヲ終リタル者ハ豫備役ニ、豫備役ヲ終リタル者ハ後備役ニ、後備役ヲ終リタル者ハ第一國民兵役ニ服セシム

第四十九條 第十三條ノ規定ニ依リ一等卒又ハ之ト同等階級ノ兵卒ト爲リタル者ハ前服役年月ヲ通算シ服役期間三年ニ滿タサル者ハ三年ニ滿ツル迄現役ニ、七年四月ニ滿タサル者ハ七年四月ニ滿ツル迄豫備役ニ、十七年四月ニ滿タサル者ハ十七年四月ニ滿ツル迄後備役ニ服セシメ十年四月ヲ過クル者ハ第一國民兵役ニ服セシム

第二款 現役

第五十條 現役兵ハ營内ニ居住セシムルヲ例トス但シ憲兵上等兵及樂手補ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第六十一年條 憲兵上等兵ノ現役期間ハ前服役年月ヲ通算シ

第六十二年條 輜重輸卒ノ現役期間ハ二年四月トシ三月間在營ノ後歸休セシム

戰時又ハ事變ノ際其ノ他必要アル場合ニ於テハ前項ノ在營期間ヲ伸縮スルコトヲ得

第五十三條 樂手補ノ現役期間ハ樂手補ヲ命セラレタル年ノ十二月ヨリ起算シ五年トス

第五十四條 兵卒ノ現役年限年齢ハ四十歳トス

第五十五條 現役兵現役期間又ハ在營期間滿了ノ後引續キ現役又ハ在營ヲ志願スルトキハ現役年限年齢ニ滿ツル迄數次之ヲ許可スルコトヲ得

第五十六條 現役中本人ニ依ルニ非サレハ家族自活シ能ハサル事故ヲ生シタルトキハ家族ノ願ニ依リ現役ヲ免スルコトヲ得但シ本人其ノ自活シ能ハサル事故ヲ作爲シタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第五十七條 第三十八條ノ規定ハ在營中ノ現役兵ニ之ヲ準用ス

第五十八條 第四十條ノ規定ハ憲兵上等兵、樂手補及第十三條ノ規定ニ依リ一等卒又ハ之ト同等階級ノ兵卒ト爲リタル者ニ之ヲ準用ス

第五十九條 徵兵令第十五條ノ規定ニ依ル歸休ハ警備隊ノ

兵卒ニ在リテハ概ネ八月以上、其ノ他ノ者ニ在リテハ概ネ二年以上在營シタル者ニ付之ヲ命ス
前項ノ規定ニ依リ歸休ヲ命スヘキ人員ハ陸軍大臣上裁ヲ經テ之ヲ定ム

第六十條 現役歩兵科兵卒、電信隊附工兵科兵卒及衛生部兵卒ニシテ勤務ヲ習得シタル者ハ服役二年ノ終ニ於テ之ヲ歸休セシム

戰時又ハ事變ノ際其ノ他必要アル場合ニ於テハ前項ノ規定ニ拘ラス在營ノ期間ヲ伸縮シ又ハ所要ノ人員ヲ限り歸休セシメサルコトヲ得

第六十一條 歸休兵ハ第三條ニ規定スルモノノ外臨時現役兵ノ闕員ヲ補充スル爲之ヲ召集ス

第六十二條 歸休兵傷痍ヲ受ケ又ハ疾病ニ罹リ永久服役ニ堪ヘサルトキハ兵役ヲ免ス

第三款 豫備役及後備役

第六十三條 兵卒ニシテ服役ヲ離ルルトキ第六十四條ノ期間ニ滿タサル者ハ豫備役ニ、第六十五條ノ期間ニ滿タサル者ハ後備役ニ、第六十五條ノ期間ヲ過クル者ハ第一國民兵役ニ服セシム

第五十六條又ハ第五十七條ノ規定ニ依リ現役ヲ免セラレタル看護卒ニシテ其ノ第一期ノ教育ヲ終ラサル者ハ前兵

科ノ兵卒ト爲ス

第六十四條 豫備役兵卒ノ服役期間ノ終期ハ前服役年月ヲ通算シ七年四月ニ滿ツル日トス

第六十五條 後備役兵卒ノ服役期間ノ終期ハ前服役年月ヲ通算シ十七年四月ニ滿ツル日トス

第六十六條 第四十六條ノ規定ハ豫備役後備役兵卒ニ之ヲ準用ス

第四款 補充兵役

第六十七條 第五十六條又ハ第五十七條ノ規定ニ依リ現役ヲ免セラレタル者ニシテ第一期ノ教育ヲ終ラサル者ハ補充兵役ニ服セシム其ノ服役期間ノ終期ハ前服役年月ヲ通算シ十二年四月ニ滿ツル日トス

前項ノ規定ハ第六十三條第二項ノ場合ニ之ヲ適用セス
第六十八條 補充兵役ニ在ル者在郷中傷痍ヲ受ケ又ハ疾病ニ罹リ永久服役ニ堪ヘサルトキハ兵役ヲ免ス

補充兵役ニ在ル者部隊編入中傷痍ヲ受ケ又ハ疾病ニ罹リ補充兵役ニ堪ヘサルトキハ第一國民兵役ニ服セシメ永久服役ニ堪ヘサルトキハ兵役ヲ免ス

附則

第六十九條 本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第七十條 陸軍服役條例及明治四十年勅令第三百三十二號

ハ之ヲ廢止ス

第七十一條 本令ノ適用ニ付テハ舊刑法ノ禁錮以上ノ刑又ハ舊陸軍刑法若ハ舊海軍刑法ノ重罪ノ刑若ハ剝官ヲ附加スヘキ禁錮ノ刑ニ處セラレタル者ハ第十二條第一項ノ刑ニ、舊刑法舊陸軍刑法又ハ舊海軍刑法ノ禁錮ノ刑ニ處セラレタル者ハ第四十條又ハ第五十八條ノ刑ニ處セラレタル者ト看做ス

第七十二條 本令施行ノ際現役將校准士官ニシテ現役定限年齢ニ滿チ留任中ノ者ハ従前ノ規定ニ依リ其ノ期間仍之ヲ留任セシム

第七十三條 本令施行ノ際現役、豫備役又ハ後備役ニ在ル將校准士官下士兵卒ニシテ現役定限年齢又ハ服役期間ヲ過クル者ノ現役定限年齢又ハ服役期間ハ仍従前ノ規定ニ依ル

第七十四條 本令施行ノ際現役ニ在ル砲兵諸工長、計手、獸醫部下士、軍樂部下士及樂手補ノ服役期間ハ仍従前ノ規定ニ依ル

●陸軍軍人服役令施行

規則

明治四十四年十二月十一日
陸軍省令第十六號

(一部改正)大正三年四月陸軍省令第六號
陸軍軍人服役令施行規則左ノ通定ム

陸軍軍人服役令施行規則

第一章 總則

第一條 現役ヨリ豫備役後備役若ハ補充兵役ニ入り又ハ待命休職停職若ハ歸休ヲ命セラレタル者ニシテ轉役ノ日又ハ待命休職停職若ハ歸休ヲ命セラレタル日ヨリ十四日以内(朝鮮、臺灣、樺太、支那ヨリ歸還スル者ニ在リテハ二十日以内)ニ本籍地ニ歸郷セサルトキハ本籍地市區町村ニ於テ召集其ノ他軍衙ノ命アルトキ之ヲ通報スヘキ者(成年者ニ限ル)ヲ定メ連署ヲ以テ同期日以内ニ本籍地所管ノ聯隊區司令官ニ届出ヘシ

第二條 待命休職停職ノ將校准士官豫備役後備役將校准士官下士兵卒、歸休兵又ハ補充兵役ニ在ル者十四日以上本籍地外ニ旅行、滞在若ハ寄留又ハ外國ニ旅行若ハ在留スルトキハ前條ニ準シ通報人ヲ定メ出發前連署ヲ以テ其ノ行先ト共ニ本籍地所管ノ聯隊區司令官ニ届出ヘシ
外國ニ旅行又ハ在留スル爲前項ノ届出ヲ爲シタル者其ノ届出ノ日ヨリ十四日以内ニ内地ヲ離レサルトキハ同期日以内ニ本籍地所管ノ聯隊區司令官ニ届出ヘシ
第三條 前二條ニ依リ届出タル通報人死亡其ノ他ノ事故ニ

依リ變更ヲ要スルトキハ第一條ニ準シ通報人ヲ定メ連署ヲ以テ十四日以内ニ本籍地所管ノ聯隊區司令官ニ届出ヘシ

第四條 待命休職停職ノ將校准士官豫備役後備役將校准士官下士兵卒、歸休兵又ハ補充兵役ニ在ル者ニシテ旅行、滞在、寄留又ハ外國ニ在留シタル者本籍地ニ復歸シタルトキ又ハ寄留地ヲ變更シタルトキハ十四日以内ニ本籍地所管ノ聯隊區司令官ニ届出ヘシ

外國ヨリ歸朝シタル者内地歸著ノ日ヨリ十四日以内ニ本籍地ニ復歸セサルトキハ同期日以内ニ本籍地所管ノ聯隊區司令官ニ届出ヘシ

第五條 待命休職停職豫備役後備役將校十四日以上本籍地外ノ聯隊區ニ滞在又ハ寄留スルトキハ十四日以内ニ滞在地又ハ寄留地ニ區町村長及島司郡長ヲ經テ寄留地又ハ滞在地所管ノ聯隊區司令官ニ届出ヘシ
前項ニ該ル者同一聯隊區内ニ於テ滞在地若ハ寄留地ヲ變更シ又ハ寄留若ハ滞在ノ聯隊區ヲ退去シタルトキハ十四日以内ニ前項ニ準シ届出ヘシ

前二項及第十一條ノ規定ハ待命休職停職豫備役後備役將校ニシテ朝鮮、臺灣、樺太、關東州又ハ滿洲ニ在留シ又ハ寄留地ヲ變更シ若ハ退去スル者ニ之ヲ準用ス

第六條 本籍地外ノ聯隊區ニ寄留スル豫備役後備役將校准士官下士兵卒、歸休兵又ハ補充兵役ニ在ル者ニシテ其ノ地附近ノ軍隊ニ於テ勤務演習ヲ爲サムトスル者ハ毎年三月一日迄ニ將官佐官ニ在リテハ本籍地所管ノ師團長、其ノ他ニ在リテハ本籍地所管ノ聯隊區司令官ニ願出テ許可ヲ受ケヘシ

豫備役後備役下士兵卒、歸休兵又ハ補充兵役ニ在ル者ニシテ寄留地ニ於テ簡閱點呼ヲ受ケムトスル者ハ毎年四月一日迄ニ本籍地所管ノ聯隊區司令官ニ願出テ許可ヲ受ケヘシ

前二項ノ許可ヲ受ケタル者其ノ許可ノ取消ヲ本籍地所管ノ師團長又ハ聯隊區司令官ニ願出ルトキハ本籍地ニ於ケル勤務演習又ハ簡閱點呼開始前ニ限り之ヲ許可スルコトヲ得

第七條 前條第一項第二項ノ許可ヲ受ケタル者ハ寄留換ヲ爲シ又ハ本籍地ニ復歸スルモ同條第三項ノ許可ヲ受ケタル者ヲ除クノ外其ノ許可ヲ受ケタル地ニ於テ勤務演習ヲ爲シ又ハ簡閱點呼ヲ受ケルモノトス

第八條 第六條第一項ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ年四月一日迄ニ、本籍地外ノ聯隊區ニ寄留シ第六條第二項ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ年五月一日迄ニ其ノ旨ヲ寄留地市區

町村長及島司郡長ヲ經テ寄留地所管ノ聯隊區司令官ニ届出ヘシ

本籍地外ノ聯隊區ニ寄留シタル者第六條第三項ノ許可ヲ受ケタルトキハ前項ニ準シ速ニ其ノ旨ヲ前項ノ届出ヲ爲シタル聯隊區司令官ニ届出ヘシ

師團長又ハ聯隊區司令官第六條第一項ノ願ヲ許可シタルトキハ本籍、徵集年、役種、官等級氏名、豫備役後備役編入年、現官ニ任セラレタル年月、嘗テ勤務演習ヲ爲シタル年月、特業又ハ適任證書ヲ有スル者ニ在リテハ其ノ種類其ノ他必要ノ事項ヲ記シ第六條第二項及第三項ノ願ヲ許可シタルトキハ本籍、徵集年、兵種、官等級氏名ヲ記シ之ヲ第一項又ハ第二項ノ聯隊區司令官ニ通報スヘシ

第九條 本籍地外ノ聯隊區ニ寄留シ第六條第一項第二項ノ許可ヲ受ケタル者寄留換ヲ爲シ又ハ本籍地ニ復歸シ第四條ノ届出ヲ爲シタルトキハ聯隊區司令官之ヲ前寄留地所管ノ聯隊區司令官ニ通報スヘシ

第十條 豫備役後備役將校准士官下士兵卒、歸休兵及補充兵役ニ在ル者ニシテ寄留地ニ於テ勤務演習ヲ爲スノ許可ヲ受ケタル者十四日以上其ノ地以外ニ旅行又ハ滞在スルトキハ寄留地市區町村ニ於テ勤務演習ノ命アルトキ之ヲ通報スヘキ者（成年者ニ限ル）ヲ定メ出發前ニ連署ヲ以

テ其ノ行先ト共ニ寄留地市區町村長及島司郡長ヲ經テ寄留地所管ノ聯隊區司令官ニ届出ヘシ其ノ本籍地ニ復歸シ又ハ寄留換ヲ爲シ從前ノ寄留地ニ於テ勤務演習ヲ爲スヘキトキ亦同シ

前項ニ依リ届出タル通報人死亡其ノ他ノ事故ニ依リ變更ヲ要スルトキハ前項ニ準シ通報人ヲ定メ十四日以内ニ寄留地市區町村長及島司郡長ヲ經テ寄留地所管ノ聯隊區司令官ニ届出ヘシ

第一項ノ届出ヲ爲シタル者寄留地ニ歸還シタルトキハ十四日以内ニ寄留地市區町村長及島司郡長ヲ經テ寄留地所管ノ聯隊區司令官ニ届出ヘシ

前三項ノ規定ハ豫備役後備役下士兵卒、歸休兵又ハ補充兵役ニ在ル者ニシテ寄留地ニ於テ簡閱點呼ヲ受クルノ許可ヲ得タル者ニ之ヲ準用ス

第十一條 本籍地外ノ聯隊區ニ寄留スル待命休職停職豫備役後備役將校及寄留地ニ於テ勤務演習ヲ爲シ又ハ簡閱點呼ヲ受クル許可ヲ得タル豫備役後備役准士官下士兵卒、歸休兵又ハ補充兵役ニ在ル者ニ係ル必要ノ事項ハ本籍地所管ノ聯隊區司令官ヨリ寄留地所管ノ聯隊區司令官ニ通報スヘシ

第十二條 待命休職停職ノ將校准士官、豫備役後備役將校

准士官下士兵卒、歸休兵又ハ補充兵役ニ在ル者ニシテ氏名ヲ變更シタルトキハ十四日以内ニ本籍地所管ノ聯隊區司令官ニ届出ヘシ

第十三條 待命休職停職ノ將校准士官、豫備役後備役將校准士官下士兵卒、歸休兵又ハ補充兵役ニ在ル者ニシテ死亡シ又ハ所在不明ト爲リタルトキハ其ノ戸主(本人戸主ナレハ家族中家事ヲ擔當スル者以下同シ)ヨリ十四日以内ニ本籍地所管ノ聯隊區司令官ニ届出ヘシ

所在不明者ニシテ所在分明ト爲リタルトキ亦前項ニ同シ
第一項ノ届出ニハ所在不明ノ場合ニ在リテハ憲兵又ハ警察官吏ノ證明書ヲ添附スヘシ

家族ナキ者ニシテ第一項又ハ第二項ノ事故生シタルトキハ本籍地所管ノ市區町村長ヨリ聯隊區司令官ニ通報スヘシ

第十四條 待命休職停職ノ將校准士官、豫備役後備役將校准士官下士兵卒、歸休兵又ハ補充兵役ニ在ル者ニシテ轉籍シタルトキハ十四日以内ニ轉籍地ノ市區町村長及郡司郡長ヲ經テ轉籍地所管ノ聯隊區司令官ニ届出ヘシ

所在不明中轉籍シタルトキハ前項ニ準シ戸主ヨリ届出ヘシ
前二項 場合ニ於テ他ノ聯隊區ヨリ轉籍シタル者ニ付テ

ハ聯隊區司令官ヨリ舊本籍地所管ノ聯隊區司令官ニ通報スヘシ

聯隊區司令官同一聯隊區内ニ於ケル轉籍ノ届出又ハ前項ノ通報ヲ受ケタルトキハ直ニ舊本籍地市區町村長ニ通報スヘシ

第十五條 待命休職停職ノ將校准士官、豫備役後備役將校准士官下士兵卒、歸休兵又ハ補充兵役ニ在ル者ニシテ刑法、陸軍刑法若ハ其ノ他ノ法令ニ依リ刑ニ處セラレタルトキハ罪名、刑名、刑期若ハ罰金科料ノ金額並刑ノ執行猶豫ニ關スル事項、勳章ヲ褫奪セラレタルトキハ其ノ勳等功級ヲ本籍地市區町村長ヨリ聯隊區司令官ニ通報スヘシ

第十六條 豫備役後備役將校准士官下士兵卒、歸休兵又ハ補充兵役ニ在ル者ニシテ已ムヲ得サル事故アリ勤務演習召集ノ猶豫ヲ願フ者ハ其ノ事實ヲ證明シ將官佐官ニ在リテハ本籍地所管ノ師團長、其ノ他ニ在リテハ本籍地所管ノ聯隊區司令官ニ願出テ許可ヲ受クヘシ但シ下士兵卒ニ在リテハ願書ニ本籍地市區町村長ノ奥書證印ヲ受クヘシ
聯隊區司令官前項ノ願ヲ許可セムトスルトキハ師團長ノ認可ヲ受クヘシ

豫備役後備役下士兵卒、歸休兵又ハ補充兵役ニ在ル者已

ムヲ得サル事故アリ簡閱點呼ノ免除ヲ願ハムトスルトキ亦前二項ニ同シ

師團長又ハ聯隊區司令官寄留地ニ於テ勤務演習ヲ爲シ又ハ簡閱點呼ヲ受ケヘキ者ニ對シ第一項又ハ第三項ノ願ヲ許可シタルトキハ將官佐官ノ勤務演習ニ在リテハ寄留地所管ノ師團長、其ノ他ニ在リテハ寄留地所管ノ聯隊區司令官ニ通報スヘシ

第十七條 陸軍軍人服役令第五條ニ依リ勤務演習又ハ簡閱點呼免除ノ認可ヲ受ケタル者ハ當該官廳ヨリ本人本籍地所管ノ聯隊區司令官ニ通報スヘシ

勤務演習又ハ簡閱點呼免除ノ認可ヲ受ケタル者其ノ免除ヲ爲スヘキ事故止ミタルトキ亦前項ニ同シ

第十八條 豫備役後備役將校准士官下士兵卒又ハ補充兵役ニ在ル者ニシテ市町村長、助役、收入役其ノ他之ニ準スヘキ者又ハ帝國議會、府縣會、郡會、市町村會其ノ他之ニ準スヘキモノノ議員ト爲リ勤務演習及簡閱點呼ヲ免セラルヘキ者ハ之ニ就キタル日ヨリ十四日以内ニ本籍地所管ノ聯隊區司令官ニ届出ヘシ其ノ事故止ミタルトキ亦同シ

第十九條 豫備役後備役將校准士官下士兵卒又ハ補充兵役ニ在ル者ニシテ朝鮮、臺灣、樺太、關東州又ハ滿洲ニ在

留スル者及歸休兵ニシテ朝鮮、臺灣又ハ樺太ニ在留スル者ハ願ニ依リ其ノ地附近ノ軍隊ニ於テ勤務演習ヲ爲スコトヲ得

豫備役後備役下士兵卒及補充兵役ニ在ル者ニシテ朝鮮、臺灣、樺太、關東州又ハ滿洲ニ在留スル者又ハ歸休兵ニシテ朝鮮、臺灣又ハ樺太ニ在留スル者ハ願ニ依リ其ノ地附近ニ於テ簡閱點呼ヲ受クルコトヲ得

第六條乃至第十一條ノ規定ハ前二項ニ依リ勤務演習又ハ簡閱點呼ヲ受クル者ニ付之ヲ準用ス

第二十條 待命休職停職ノ將校准士官ヲ就職セシメ又ハ豫備役後備役將校准士官下士兵卒ヲ召集ニ依ラス部隊ノ要員ニ採用シタルトキハ當該部隊長ヨリ本人本籍地所管ノ聯隊區司令官ニ通報スヘシ

第二十一條 聯隊區司令官ハ待命休職停職豫備役後備役將校准士官ニ關シ届出、届出又ハ通報ヲ受ケタル事項ハ必要ニ應シ之ヲ所管師團長ニ報告スヘシ

第二十二條 本規則中將校ニ關スル規定ハ將校相當官ニ之ヲ準用ス

第二十三條 本規則中別ニ規定アルモノヲ除クノ外陸軍大臣ニ差出ス願届書ハ本籍地所管ノ師團長ヲ經由シ、本籍地所管ノ師團長ニ差出シ又ハ同官ヲ經由スル願届書ハ本

籍地所管ノ聯隊區司令官ヲ經由シ、本籍地所管ノ聯隊區司令官ニ差出シ又ハ同官ヲ經由スル願届書ハ本籍地ノ島司郡市區長ヲ經由シ、本籍地ノ島司郡長ヲ經由スル願届書ハ町村ニ在リテハ本籍地町村長ヲ經由スヘキモノトス但シ部隊在職ノ者ヨリ陸軍大臣又ハ師團長ニ差出ス願届書ハ直屬長官ニ差出シ順序ヲ經テ上申スルモノトス

第二十四條 聯隊區司令官ヨリ町村長ニ通報シ及町村長ヨリ聯隊區司令官ニ通報スルモノハ當該町村長所管ノ島司郡長ヲ經由スヘシ

第二十五條 本規則中聯隊區トアルハ對馬及沖繩縣ニ在リテハ警備隊區、聯隊區司令官トアルハ對馬警備隊區ニ在リテハ警備隊司令官、沖繩警備隊區ニ在リテハ警備隊區司令官、郡長トアルハ北海道ニ在リテハ支廳長、町村長トアルハ町村制ヲ施行セサル地ニ在リテハ戶長其ノ他町村長ニ準スヘキ者ニ該當ス

第五條第三項及第十九條ノ場合ニ於テ寄留地所管ノ聯隊區司令官又ハ寄留地市區町村長トアルハ朝鮮ニ在リテハ駐劄師團長又ハ憲兵隊長若ハ憲兵分隊長、臺灣ニ在リテハ臺灣守備隊司令官又ハ廳長、樺太ニ在リテハ樺太守備隊司令官又ハ支廳長、關東州又ハ滿洲ニ在リテハ駐劄師團長又ハ民政署長若ハ領事官ニ該當ス

第二章 將校及准士官

第二十六條 傷疾又ハ疾病ニ依リ現役將校准士官ニシテ職務ニ堪ヘサル者ハ休職ヲ、現役ニ堪ヘサル者ハ豫備役ヲ、現役豫備役後備役將校准士官ニシテ永久服役ニ堪ヘサル者ハ退役ヲ陸軍大臣ニ願出ヘシ但シ特務曹長ニ在リテハ所管長官ニ願出ルモノトス

前項ノ願出ニハ在職陸軍々醫ノ診斷書又ハ醫師ノ病況書ヲ添付スヘシ

第二十七條 將校准士官ニシテ傷疾又ハ疾病ニ依リ休職ト爲リタル者全癒シタルトキハ在職陸軍々醫ノ診斷書若ハ醫師ノ病況書ヲ添ヘ陸軍大臣ニ願出ヘシ但シ特務曹長ニ在リテハ本籍地所管ノ師團長ニ届出ルモノトス

第二十八條 後備役將校ニシテ滿期後引續キ服役セムトスル者ハ年數ヲ定メ滿期一月前迄ニ陸軍大臣ニ願出ヘシ但シ現役年限年齢ニ滿ツル年ヨリ第十一年目ノ三月三十一日迄ヲ限トス

後備役准士官ニシテ滿期後引續キ服役セムトスル者ハ年數ヲ定メ滿期一月前迄ニ所管師團長ニ願出ヘシ但シ陸軍軍人服役令第二十四條第一號ニ該ル者ニ在リテハ現役年限年齢ニ滿ツル年ヨリ第十六年目、同條第二號ニ該ル者ニ在リテハ第十一年目ノ三月三十一日迄ヲ限トス

第三章 下士

第一款 現役

第二十九條 陸軍々人服役令第三十六條ニ依ル下士再服役ノ期間ハ毎回一年以上トス

第三十條 前條ノ再服役ハ所屬中隊長（憲兵分隊ニ在リテハ分隊長、懲治隊及軍樂隊等ニ在リテハ該隊長以下同シ）ニ願出テ該中隊長ハ順序ヲ經テ聯隊長又ハ之ト同等以上ノ權アル長官ノ認可ヲ受ケ之ヲ許可スヘシ但シ諸本部官衙學校ニ在リテハ直屬長官ニ願出ヘシ

直屬長官聯隊長ト同等以上ノ權ナキトキハ聯隊長ト同等以上ノ權アル長官ノ認可ヲ受ケ之ヲ許可スヘシ

前項ノ場合ニ於テ經理部、衛生部、獸醫部下士ノ再服役許可ニ付テハ聯隊長又ハ之ト同等以上ノ權アル長官ヨリ當該經理部長、軍醫部長又ハ獸醫部長ニ協議スヘシ

再服役ヲ許可スル場合ニハ服役ノ終期ヲ十一月三十日トスルヲ例トス

第三十一條 再服役ノ許可ヲ得タル下士ニシテ已ムヲ得サル事故アルトキハ中隊長又ハ直屬長官ハ本人ノ願ニ依リ前條ノ手續ニ準シ再服役ノ年月ヲ短縮スルコトヲ得但シ毎回一年以下ニ短縮スルコトヲ得ス

前項ノ願ハ少クモ現役ヲ退カムトスル二月前前條ノ規定

ニ準シ之ヲ爲スコトヲ要ス

第三十二條 再服役ノ許可ヲ得タル下士ニシテ軍紀ヲ紊リ又ハ品行不正ニシテ現役下士タルヲ得スト認ムルトキハ聯隊長又ハ之ト同等以上ノ權アル長官其ノ許可ヲ取消スコトヲ得

第三十三條 再服役許可ノ後轉隊又ハ轉職シタルトキハ其ノ再服役期限ヲ舊所屬ノ中隊長又ハ直屬長官ヨリ新所屬ノ中隊長又ハ直屬長官ニ通報スヘシ

第三十四條 陸軍々人服役令第三十七條ニ依リ現役免除ヲ願出ル者ハ其ノ事故父兄ノ療疾不具等ノ場合ニ在リテハ在職陸軍軍醫ノ診斷書又ハ醫師ノ病況書、其ノ他ノ場合ニ在リテハ居住地市區町村長ノ證明書ヲ添ヘ聯隊長又ハ之ト同等以上ノ權アル長官ニ願出ヘシ

第三十五條 現役下士ニシテ現役滿期後直ニ第一國民兵役ニ入ルヘキ者陸軍軍人服役令第十條ニ依リ後備役ニ服セムトスル者ハ年數ヲ定メ現役滿期ノ際聯隊長又ハ之ト同等以上ノ權アル長官ニ願出ヘシ但シ四十五歳ト爲ル年ノ三月三十一日迄ヲ限トス

聯隊長又ハ之ト同等以上ノ權アル長官前項ノ願ヲ許可シタルトキハ本人本籍地所管ノ聯隊區司令官ニ通報スヘシ

第三十六條 陸軍軍人服役令第三十七條乃至第三十九條ニ

該ル者アルトキハ聯隊長又ハ之ト同等以上ノ權アル長官ハ師團長又ハ之ト同等以上ノ權アル長官ノ認可ヲ受ケ現役、現役豫備役及後備役又ハ兵役ヲ免ス但シ師團長及之ト同等以上ノ權アル長官ニ在リテハ自ラ之ヲ處分ス

第二款 豫備役及後備役

第三十七條 豫備役後備役下士ニシテ陸軍補充令ノ規定ニ依リ現役下士ト爲ル資格アル者ハ現役滿期後二年以内ニ於テ更ニ現役ヲ志願スルコトヲ得

第三十八條 前條ニ依リ服役セムトスル者ハ願書ニ原所屬部隊、現役任命及現役滿期ノ年月日、現役ニ服シタル年數、現役滿期後ノ職業並服役セムトスル部隊等ヲ記シ本籍地所管ノ市區町村長及聯隊區司令官ヲ經テ服役セムトスル部隊長ニ差出スヘシ

前項ノ願書ニハ市區町村長與書證印ヲ爲シ聯隊區司令官ハ本人在郷中ノ事項ニ關シ意見ヲ添附シ之ヲ服役セムトスル部隊長ニ送付スヘシ但シ原所屬部隊外ニ服役セムトスル者ニ在リテハ聯隊區司令官其ノ願書ヲ原所屬部隊長ニ送付シ原所屬部隊長ハ現役中ニ於ケル勤務及品行ニ關シ意見ヲ添附シ之ヲ服役セムトスル部隊長ニ送付スヘシ
第三十九條 第三十七條ニ依リ現役ニ服スルコトヲ許可シタルトキハ當該部隊長ヨリ十四日以内ニ本籍地所管ノ聯

隊區司令官ニ通報スヘシ

第四十條 後備役下士滿期後引續キ服役セムトスルトキハ年數ヲ定メ滿期一月前迄ニ本籍地所管ノ聯隊區司令官ニ願出ヘシ但シ部隊編入中ノ者ニ在リテハ第三十五條ノ規定ニ準ス

前項ニ依ル服役ハ四十五歳ト爲ル年ノ三月三十一日迄ヲ限トス

第四十一條 豫備役後備役下士在郷中傷痍又ハ疾病ニ依リ永久服役ニ堪ヘサルトキハ在職陸軍軍醫ノ診斷書若ハ醫師ノ病況書ヲ添ヘ本籍地所管ノ聯隊區司令官ニ届出ヘシ前項ノ届出アリタルトキハ聯隊區司令官ハ之ヲ審査シ師團長ノ認可ヲ受ケ其ノ兵役ヲ免スルモノトス
豫備役後備役下士部隊編入中傷痍又ハ疾病ニ依リ豫備役後備役ニ堪ヘス又ハ永久服役ニ堪ヘサルトキハ聯隊長又ハ之ト同等以上ノ權アル長官第三十六條ノ例ニ依リ處分シ本籍地所管ノ聯隊區司令官ニ通報スヘシ

第四章 兵 卒

第一款 現 役

第四十二條 騎砲工輜重兵科ノ兵卒（輪卒ヲ除ク）及縫工卒靴工卒ニシテ下士タルノ技能ヲ有スル者ハ現役滿期ノ後一年間現役トシテ在營ヲ志願スルコトヲ得

第四編 服役

歩兵科兵卒、電信隊附工兵科兵卒及衛生部兵卒ニシテ下士タルノ技能ヲ有スル者ハ在營期限滿ツルノ後二年間現役トシテ在營ヲ志願スルコトヲ得

警備隊上等兵同上等看護卒中下士タルノ技能ヲ有スル者ハ現役期滿ツル迄在營ヲ志願スルコトヲ得

第一項乃至第三項ノ許可ヲ得タル者ニシテ補充上ノ關係ニ依リ下士ニ任スヘキ見込ナキトキハ願ニ依リ在營志願ノ取消ヲ許スコトアルヘシ

前諸項ニ依リ願ヲ許可スルハ聯隊長又ハ之ト同等以上ノ權アル長官ニ於テス

第四十三條 憲兵上等兵樂手補ハ現役滿期ノ後現役定期年限ニ滿ツル迄數次再服役ヲ爲スコトヲ得但シ再服役年期ハ一年以上トス

警備隊現役兵中上等兵上等看護卒及上等兵タルノ技能ヲ有スル者ハ在營期限滿ツルノ後一年間在營ヲ志願スルコトヲ得

第四十四條 第三十條乃至第三十三條ノ規定ハ前二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第四十五條 陸軍軍人服役令第五十六條ニ依リ現役ノ免除ヲ受ケムトスル者ハ願書ニ同徵募區内現役兵ノ戶主(憲兵上等兵樂手補ニ在リテハ近隣ノ戶主)二人ノ保證書ヲ

添へ本籍地所管ノ聯隊區司令官ニ差出スヘシ但シ町村ニ於テハ町村長ノ奥書證印ヲ受ケヘキモノトス

烏司郡市區長ハ前項願出ノ事實ヲ調査シ狀況書ヲ作り願書ト共ニ聯隊區司令官ニ送付シ聯隊區司令官ハ之ニ意見ヲ附シ本人所屬ノ聯隊長又ハ之ト同等以上ノ權アル長官ニ移スヘシ

第四十六條 歸休兵在郷中傷痍又ハ疾病ニ依リ永久服役ニ堪ヘサルトキハ在職陸軍軍醫ノ診斷書若ハ醫師ノ病況書ヲ添へ本籍地所管ノ聯隊區司令官ニ届出ヘシ

第四十七條 陸軍軍人服役令第五十六條第五十七條ニ該ル者アルトキハ聯隊長又ハ之ト同等以上ノ權アル長官ハ師團長又ハ之ト同等以上ノ權アル長官ノ認可ヲ受ケ現役、現役豫備役及後備役又ハ兵役ヲ免ス

陸軍軍人服役令第六十二條ニ依リ歸休兵ノ兵役ヲ免スルハ師團長ノ認可ヲ受ケ聯隊區司令官ニ於テス但シ部隊編入中陸軍軍人服役令第五十七條ニ該ル者ニ在リテハ聯隊長又ハ之ト同等以上ノ權アル長官第一項ノ例ニ依リ處分シ本籍地所管ノ聯隊區司令官ニ通報スヘシ

第四十八條 歸休兵現役滿期ニ至リタルトキハ別命ナク豫備役ニ入ルモノトス

第四十九條 歸休兵ハ官廳ニ奉職スルノ故ヲ以テ召集又ハ

簡閱點呼ヲ猶豫又ハ免除スルコトナシ

第五十條 歸休兵ハ外國ニ旅行又ハ在留スルコトヲ得ス

第五十一條 陸軍軍人服役令第六十條ニ依ル歸休兵ニハ第六條第十六條及第十九條ヲ適用セス但シ臺灣ノ軍隊ニ在リテ陸軍軍人服役令第六十條ニ依リ歸休ヲ命セラレ臺灣ニ居住スル者ニ限り臺灣ニ於テ勤務演習ヲ爲シ又ハ簡閱點呼ヲ受クルコトヲ得

第五十二條 歸休ヲ命セラレタル上等兵又ハ之ト同等階級ノ者ニシテ下士適任證書ヲ有シ陸軍補充令ノ規定ニ依リ現役下士ト爲ル資格アル者ハ歸休中現役下士ヲ志願スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ第三十八條及第三十九條ヲ準用ス

第二款 豫備役及後備役

第五十三條 豫備役上等兵及之ト同等階級ノ者ニシテ下士適任證書ヲ有シ陸軍補充令ノ規定ニ依リ現役下士ト爲ル資格アル者ハ現役期限滿ツル後二年以内(歸休ヲ命セラレ豫備役ニ入りタル者ニ在リテハ一年以内)ニ於テ現役下士ヲ志願スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ第三十八條及第三十九條ヲ準用ス

第五十四條 豫備役後備役兵卒服役滿期ニ至リタルトキハ別命ナク豫備役ノ者ハ後備役、後備役ノ者ハ第一國民兵

役ニ入ルモノトス

第五十五條 後備役兵卒ニシテ下士適任證書ヲ有スル者ハ滿期後引續キ服役スルコトヲ得

前項ノ志願者ハ年數ヲ定メ滿期一月前迄ニ本籍地所管ノ聯隊區司令官ニ願出ヘシ但シ部隊編入中ノ者ニ在リテハ第三十五條ノ規定ニ準ス

第一項ニ依ル服役ハ四十五歳ト爲ル年ノ三月三十一日迄ヲ限トス

第五十六條 豫備役後備役兵卒在郷中傷痍又ハ疾病ニ依リ永久服役ニ堪ヘサルトキハ在職陸軍軍醫ノ診斷書又ハ醫師ノ病況書ヲ添ヘ本籍地所管ノ聯隊區司令官ニ届出ヘシ前項ノ届出アリタルトキハ聯隊區司令官之ヲ審査シ師團長ノ認可ヲ受ケ其ノ兵役ヲ免ス

豫備役後備役兵卒ニシテ部隊編入中傷痍又ハ疾病ニ依リ豫備役後備役又ハ永久服役ニ堪ヘサルトキハ聯隊長又ハ之ト同等以上ノ權アル長官第三十六條ノ例ニ依リ處分シ本籍地所管ノ聯隊區司令官ニ通報スヘシ

第三款 補充兵役

第五十七條 補充兵役ニ在ル者在郷中傷痍又ハ疾病ニ依リ永久服役ニ堪ヘサルトキハ在職陸軍軍醫ノ診斷書又ハ醫師ノ病況書ヲ添ヘ本籍地所管ノ聯隊區司令官ニ届出ヘシ

前項ノ届出アリタルトキハ聯隊區司令官之ヲ審査シ師團長ノ認可ヲ受ケ其ノ兵役ヲ免ス

補充兵役ニ在ル者部隊編入中補充兵役又ハ永久服役ニ堪ヘサルトキハ聯隊長又ハ之ト同等以上ノ權アル長官第三十六條ノ例ニ依リ處分シ本籍地所管ノ聯隊區司令官ニ通報スヘシ

第五十八條 補充兵役ニ在ル者服役滿期ニ至リタルトキハ別命ナク召集セラレタル者ハ第一國民兵役ニ入り、其ノ他ノ者ハ第二國民兵役ニ入ルモノトス

第五章 雜則

第五十九條 關東州及滿洲以外ノ外國ニ在ル者ハ勤務演習及簡閱點呼ヲ行ハス

第六十條 戰時又ハ事變ノ際第三十七條、第五十二條及第五十三條ニ該ル者部隊編入中ナルトキハ當該部隊ニ服務セムトスル場合ニ限り現役ヲ志願スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ第三十條及第三十九條ヲ準用ス

第六十一條 正當ノ事由ナク第一條、第二條第一項、第三條、第十條第一項第二項、第五十條又ハ之ヲ準用シタル規定ニ違反シ又ハ自己ノ居所ヲ通報人ニ詳知セシメサル爲召集又ハ軍衙ノ命令ヲ通報スルヲ得サルニ至ラシメタルトキハ十日以上ノ拘留又ハ五圓以上ノ科料ニ處ス

第六十二條 正當ノ事由ナク第二條第二項、第四條、第五條、第八條、第十條第三項、第十二條乃至第十四條、第十八條又ハ之ヲ準用シタル規定ニ違反シタル者ハ拘留又ハ一圓以上ノ科料ニ處ス

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

陸軍軍人服役令第六十條ニ依ル歸休兵ヲ除クノ外當分ノ内臺灣ニ在留スル者ニ對シテハ簡閱點呼、朝鮮、樺太、關東州又ハ滿洲ニ在留スル者ニ對シテハ勤務演習及簡閱點呼ヲ行ハス

第五十一條但書中簡閱點呼ニ關スル規定ハ當分ノ内之ヲ行ハス

●朝鮮其他ニ在ル陸軍軍人服役事務ニ關スル件

明治四十四年十二月九日 勅令第二百八十六號

朕朝鮮、臺灣、樺太若ハ關東州又ハ滿洲ニ在ル陸軍軍人ノ服役事務ニ關スル件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム
朝鮮、臺灣、樺太若ハ關東州又ハ滿洲ニ在ル陸軍軍人ノ服役ニ關シテハ朝鮮ニ在リテハ憲兵隊長及憲兵分隊長、臺灣

ニ在リテハ臺灣守備隊司令官及廳長、樺太ニ在リテハ樺太守備隊司令官及支廳長、關東州父ハ滿洲ニ在リテハ民政署長又ハ領事官ヲシテ其ノ事務ノ一部ヲ擔任セシムルコトヲ得

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●降等ノ上尙現役ニ服

セシムヘキ一等卒等

取扱方

明治四十二年十一月六日
陸達第五十二號

陸軍服役條例第六十六條及第八條ニ依リ官等等級ヲ免セラレ一等卒又ハ之ト同等階級ノ兵卒ト爲リ尙現役ニ服セシムヘキ者ノ取扱左ノ通定ム

- 一 平時編制ニ於テ從來屬シタル部隊ニ同兵種同等級ノモノアルトキハ當該部隊ニ於テ服役セシム
- 二 憲兵科下士上等兵及軍樂部下士、樂手補タリシ者ハ本籍地所管師團長ニ於テ其ノ指定スル所管内ノ部隊ニ編入ス
- 三 隊附縫工長靴工長タリシ者ハ陸軍省經理局長ニ於テ其ノ指定スル被服本廠又ハ同工廠ニ編入ス

四 隊附衛生部下士上等看護卒タリシ者ハ所管師團長ニ於テ其ノ指定スル所管内衛戍病院ニ編入ス但シ近衛師團ニ屬シタル者ハ第一師團長ノ指定スル衛戍病院ニ編入ス

- 五 前各號ニ依リ難キ者ハ其ノ所管ノ師團長又ハ臺灣總督、關東都督、韓國駐劄軍司令官ニ於テ其ノ指定スル所管内ノ部隊ニ編入ス
- 六 前各號ニ依リ定員ヲ超過スルトキハ一時定員外ニ置クモノトス然ルトキハ陸軍報告例第一表及第二表ニ其ノ旨ヲ記載シ報告スヘシ

附則

明治三十四年陸達第三十四號ハ之ヲ廢止ス

●現役下士兵卒中逃亡

者取扱方

明治二十一年九月廿一日
陸達第百八十二號

- 明治十一年達乙第百二十四號達ヲ廢シ更ニ現役下士卒逃亡者取扱方左ノ通定ム
- 一 現役下士兵卒中逃亡シタル者アルトキハ下士ハ六日兵卒ハ三箇月ヲ過クルトキハ之ヲ員外トナシ其缺ヲ補フコトヲ得

- 一 歸役若クハ就縛後服役中年齡四十歳ヲ過クヘキ者ハ四十歳ニ至ル迄服役セシム可シ
- 一 逃亡中年齡四十歳ヲ過クル者ハ兵役ヲ除ス可シ
- 一 從來逃亡ノ者ニシテ近衛又ハ師團司令部ノ直轄ニ屬シタルモノハ此際原隊ニ兵籍ヲ復セシム可シ
- 一 隊外下士兵卒ニシテ逃亡ノ者取扱方ハ前諸項ニ準シ取扱フ可シ

●陸軍在郷軍人ニシテ
臺灣居住ノ者取扱方

明治四十年十二月二十四日
陸軍省訓令第十號

臺灣總督府 師團司令部(近衛師團ヲ除ク)

陸軍在郷軍人ニシテ臺灣ニ居住スル者アルトキハ左記ノ取扱ヲ爲スヘシ

- 一 師團長ハ休職、停職、豫備役、後備役ノ陸軍將校同相當官及准士官ニシテ臺灣ニ居住ノ届出ヲ受ケタルトキハ兵役、官氏名、居住スヘキ地名及其ノ戰時職務ニ關シ參考ト爲スヘキ事項ヲ臺灣總督ニ通報スヘシ
- 二 聯隊區司令官、警備隊區司令官ハ豫備役、後備役ノ陸軍下士兵卒(雜卒職工ヲ包含ス) 歸休兵及補充兵ニシ

テ臺灣ニ居住ノ届出ヲ受ケタルトキハ兵役、官名(兵卒ハ兵種等級) 氏名及居住スヘキ地名ヲ其ノ居住地所管ノ廳長ニ通報スヘシ

- 三 師團長、聯隊區司令官、警備隊區司令官ハ前二項ノ通報ヲ爲シタル後准士官以上ノ者ニシテ他ノ師管へ轉籍シタルトキ又ハ下士以下ノ者ニシテ聯隊區又ハ警備隊區管區外へ轉籍シタルトキハ前二項ノ例ニ依リ臺灣總督又ハ廳長ニ通報スヘシ
- 四 第一項第二項ノ者ニシテ居住地ヲ轉換シ又ハ臺灣總督府管外へ轉籍シタルトキハ第一項第二項ノ例ニ依リ臺灣總督又ハ廳長ヨリ本籍地所管ノ師團長又ハ聯隊區司令官若ハ警備隊區司令官ニ通報スヘシ

●屯田兵下士卒タリシ者ノ服役ニ關スル件

明治三十七年九月九日
勅令第二百三號

朕屯田兵下士卒タリシ者ノ服役ニ關スル件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

第一條 屯田兵條例廢止ノ際ニ於ケル屯田各兵科下士卒ハ各相當兵科ノ相當下士卒トシテ其ノ服役ノ殘期間後

備役ニ服セシム

第二條 後備役中ハ戰時若ハ事變ニ際シ召集シ平常ニ在リテハ勤務演習簡閱點呼ノ爲召集ス

第三條 後備役中滿四十歳ニ達スルトキハ其ノ服役ヲ免ス

第四條 後備役ノ期間既ニ滿ツルト雖戰時若ハ事變ニ際スルトキ又ハ航海若ハ外國駐劄中ハ其ノ期限ヲ延スコトアルヘシ

第五條 餘人ヲ以テ代フヘカラサル勤務ヲ奉スル官吏又ハ市町村長、區長、戶長、助役若ハ收入役ト爲ル者ハ勤務演習及簡閱點呼ノ爲召集スルコトナシ

法令ヲ以テ設立シタル議會ノ議員ト爲ル者其ノ開會中前項ニ同シ

第六條 前各條ニ定ムルモノノ外服役ニ關シテハ陸軍服役條例ノ規定ヲ準用ス

附則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●文官採用ノ資格ヲ有スル准士官下士滿期退營前見習通勤ヲ許

ス件 明治三十三年五月七日 陸達第五十一號

文官採用ノ資格ヲ有スヘキ准士官下士ハ職務ニ妨ケナキ限リ滿期退營前半箇年ニ於テ本人ノ志願ニ依リ他日奉職セントスル陸軍官衙學校(本人所在ノ衛戍地ニ限ル)ニ見習ノ爲メ通勤セシムルコトヲ得其規定ハ所管長官ニ於テ之ヲ定ムヘシ

但陸軍部外ノ官廳若クハ私立會社等ニ在テモ各部團隊長之ト協議ノ上本文ニ準シ取扱フコトヲ得

●營外居住下士ヲ營内居住ノ職ニ轉セシメサル件

明治三十七年六月二十一日 陸達第百十三號

營外居住ノ職ニ在ル下士ハ營内居住ノ職ニ轉セシメサルモノトス但シ戰時事變ノ際又ハ編制改正等ノ爲メ過員トナリシ者ニシテ隊附ニ適任ノ者ハ營内居住ノ職ニ轉セシムルコトヲ得

●服役延期解止ノ場合ニ於ケル新役ニ關ス

ル件

明治四十一年三月十四日
陸達第十六號

服役延期中ノ者其ノ延期ヲ解止セラレタル場合ニ於テハ其ノ解止ノ日ヨリ現役豫備役後備役補充兵役ニ在リテハ新役ニ服シ國民兵役ニ在リテハ兵役ニ在ラサルモノトス

●陸軍下士兵卒在隊間

成績通報規程

明治四十五年五月二十九日
陸軍省令第九號

陸軍下士兵卒在隊間成績通報規程左ノ通定ム

第一條 現役下士兵卒ニシテ現役滿期ト爲リ若ハ現役ヲ免除セラレ又ハ歸休ヲ命セラレタルトキハ聯隊長又ハ之ニ準スヘキ部隊長ニ於テ附錄様式ニ依リ在隊間成績調書ヲ作り退營ノ日ヨリ三日以内ニ本人本籍地所管ノ聯隊區司令官及幕司郡長ヲ經テ本籍地市町村長ニ之ヲ送付スヘシ教育ノ爲召集セラレタル補充兵ニシテ其ノ召集ヲ解除セラレタルトキ亦前項ニ準ス

第二條 市町村長ハ前條ノ調書ヲ整理保存スヘシ但シ轉籍シタル者ノ調書ハ之ヲ轉籍地ノ市町村長ニ送付シ國民兵役ニ入りタル者ノ調書ハ之ヲ燒却スルモノトス

第三條 第一條ノ調書ハ其ノ取扱ニ任スル吏員外ニ閱覽ヲ許スコトヲ得ス但シ聯隊區司令官ノ許可シタル者ハ此ノ限ニ在ラス

第四條 本令中聯隊區司令官トアルハ對馬ニ在リテハ警備隊司令官、沖繩ニ在リテハ警備隊區司令官、市町村長トアルハ東京市京都市大阪市名古屋市及北海道沖繩縣ノ區ニ在リテハ區長町村制ヲ施行セサル地方ニ在リテハ町村長ニ準スヘキ者ニ該當ス

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
(様式略ス)

第五編 陸軍管區、海軍區

◎陸軍管區表

明治四十年九月十八日
軍令陸第三號

(一部改正) 明治四十三年三月軍令陸第二號、大正二年七月同
第六號、四年九月同第一〇號

朕陸軍管區表ヲ改正シ之カ施行ヲ命ス
陸軍管區表左ノ通改正ス

(別表ノ通)

附則

本令施行ノ期日ハ陸軍大臣之ヲ定ム
師管旅管ニ付テハ當分ノ内陸軍大臣ニ於テ別表ニ依ラス臨
時ノ管轄區域ヲ定ムルコトヲ得

陸軍管區表	
師旅聯隊警備隊區	管轄區域
第 第 麻布	東京府 麹町區 神田區 日本橋區 京橋區 芝 區 麻布區 赤坂區 四谷區 牛込區 小 石川區 荏原郡 豊多摩郡 西多摩郡 南多摩郡 北多摩郡 伊豆七島小笠 原島

第五編 陸軍管區、海軍區

第 一		第 二		第 三		第 五	
甲府	本郷	佐倉	福島	若松	仙臺	山形	名古
神奈川縣 橋本郡	山梨縣 神奈川縣 橫濱市 須賀市 久良岐郡 鎌倉郡 三浦郡 中井郡 足柄上郡 足柄下郡	千葉縣	福島縣 福島市 信夫郡 伊達郡 相馬郡 雙葉郡 石城郡 柴田郡 刈田郡 伊具郡 互理郡 名取郡	宮城縣 仙台市 本吉郡 牡鹿郡 桃生郡 登米郡 遠田郡 栗原郡 志田郡 黒川郡 玉造郡 加美郡 宮城郡	山形縣	愛知縣 東區 西區 中區 南區 東春日井郡 岐阜縣 多郡 愛知郡 西春日井郡	岐阜縣 岐阜市 郡上郡 加茂郡 可兒郡 武儀郡 丹羽郡 葉栗郡

第 三		第 四		第 五	
桑名	津	大阪	篠山	堺	和歌山
三重縣 四日市市 桑名郡 愛知縣 中島郡 海部郡	三重縣 津市 宇治山田市 河藝郡 鈴鹿郡 安濃郡 一志郡 飯南郡 多氣郡 度會郡 志摩郡 北牟婁郡 南牟婁郡 西成郡	大阪府 東區 南區 東區 北區 西區 成郡	兵庫縣 多紀郡 有馬郡 豐能郡 三島郡	大阪府 堺市 北區 中區 河內郡	和歌山縣 和歌山市 海草郡 那賀郡 有田郡 日高郡 西牟婁郡 東牟婁郡
廣島縣 廣島市 吳市 豐田郡 賀茂郡 安藝郡 越智郡	愛媛縣 松山市 溫泉郡 伊豫郡 上浮穴郡 喜多郡 東宇和郡 北宇和郡 南宇和郡 西宇和郡	山口縣 吉敷郡 阿武郡 佐波郡 都濃郡 熊毛郡 美禰郡 大津郡	山口縣 玖珂郡 廣島縣 高田郡 山縣郡 大島郡	熊本縣 熊本市 飽託郡 上益城郡 下益城郡 宇土郡	

姫路	第九				第八				第七				旭川
	第十一		第十二		第十六		第十七		第十四		第十五		
	富山	高岡	福井	金澤	弘前	秋田	盛岡	青森	岩手	青森	岩手	青森	
兵庫縣 姫路市 攝保郡 佐田郡 赤穂郡	富山縣 富山市 下新川郡 中新川郡	石川縣 東礪波郡 西礪波郡 鳳至郡	福井縣 足羽郡 今立郡 丹生郡 南條郡	石川縣 金澤市 羽咋郡 河北郡	秋田縣 鹿角郡 北秋田郡	青森縣 弘前市 北津輕郡 南津輕郡	秋田縣 南秋田郡 仙北郡 平鹿郡 雄勝郡	青森縣 三戸郡 東津輕郡 上北郡	岩手縣 盛岡市 閉伊郡 氣仙郡 陸奥郡 紫波郡	岩手縣 二戸郡 下閉伊郡	青森縣 三戸郡 東津輕郡 上北郡	岩手縣 盛岡市 閉伊郡 氣仙郡 陸奥郡 紫波郡	旭川縣 旭川市 占冠郡 天鹽郡 利尻郡 網走郡 斜里郡 常呂郡 紋別郡

釧路	第十		第六				八代
	第三		第十三		第十六		
	函館	札幌	北海	鹿兒島	鹿兒島	鹿兒島	
北海 釧路市 釧路郡 阿蘇郡 川上郡 十勝郡 厚岸郡 占郡	函館市 函館郡 岩手郡 紋別郡 釧路郡 阿蘇郡 川上郡 十勝郡 厚岸郡 占郡	札幌市 札幌郡 石狩郡 空知郡 樺皮郡 十勝郡 釧路郡 阿蘇郡 川上郡 十勝郡 厚岸郡 占郡	鹿兒島市 鹿兒島郡 日置郡 川邊郡 薩摩郡 宮崎郡 鹿兒島郡 日置郡 川邊郡	鹿兒島市 鹿兒島郡 日置郡 川邊郡 薩摩郡 宮崎郡 鹿兒島郡 日置郡 川邊郡	鹿兒島市 鹿兒島郡 日置郡 川邊郡 薩摩郡 宮崎郡 鹿兒島郡 日置郡 川邊郡	鹿兒島市 鹿兒島郡 日置郡 川邊郡 薩摩郡 宮崎郡 鹿兒島郡 日置郡 川邊郡	鹿兒島市 鹿兒島郡 日置郡 川邊郡 薩摩郡 宮崎郡 鹿兒島郡 日置郡 川邊郡

第 二 十 第	第 一 十 第		第 十 第		第 八 第	
	大分	中津	高知	德島	神戶	鳥取
宮崎縣 西臼杵郡 東臼杵郡	大分縣 大野郡 直入郡	高知縣 土佐郡 吾川郡 高岡郡	高知縣 安藝郡	德島縣 勝浦郡 那賀郡 海部郡	兵庫縣 朝來郡 養父郡	岡山縣 勝田郡 真庭郡 美方郡
豐橋市 額田郡 海部郡 幡豆郡 八名郡	豐橋市 渥美郡 寶飯郡 南設樂郡	高知縣 仲多度郡 香川郡 三豐郡 德島縣 阿波郡 三好郡 美馬郡 麻植郡	高知縣 安藝郡	德島縣 勝浦郡 那賀郡 海部郡	兵庫縣 朝來郡 養父郡	岡山縣 勝田郡 真庭郡 美方郡

第 十 第	第 三 十 第		第 二 十 第	
	高田	松本	村松	新發田
茨城縣	新潟縣 高田郡 中野郡 上野郡 水内郡 高井郡	長野縣 諏訪郡 北安曇郡 筑摩郡 高田郡 中野郡 上野郡 水内郡 高井郡	新潟縣 北魚沼郡 中魚沼郡 南魚沼郡 三島郡 古志郡	新潟縣 西蒲原郡 東蒲原郡 北蒲原郡 佐渡郡
栃木縣	新潟縣 高田郡 中野郡 上野郡 水内郡 高井郡	長野縣 諏訪郡 北安曇郡 筑摩郡 高田郡 中野郡 上野郡 水内郡 高井郡	新潟縣 北魚沼郡 中魚沼郡 南魚沼郡 三島郡 古志郡	新潟縣 西蒲原郡 東蒲原郡 北蒲原郡 佐渡郡
群馬縣	新潟縣 高田郡 中野郡 上野郡 水内郡 高井郡	長野縣 諏訪郡 北安曇郡 筑摩郡 高田郡 中野郡 上野郡 水内郡 高井郡	新潟縣 北魚沼郡 中魚沼郡 南魚沼郡 三島郡 古志郡	新潟縣 西蒲原郡 東蒲原郡 北蒲原郡 佐渡郡
埼玉縣	新潟縣 高田郡 中野郡 上野郡 水内郡 高井郡	長野縣 諏訪郡 北安曇郡 筑摩郡 高田郡 中野郡 上野郡 水内郡 高井郡	新潟縣 北魚沼郡 中魚沼郡 南魚沼郡 三島郡 古志郡	新潟縣 西蒲原郡 東蒲原郡 北蒲原郡 佐渡郡
愛知縣	新潟縣 高田郡 中野郡 上野郡 水内郡 高井郡	長野縣 諏訪郡 北安曇郡 筑摩郡 高田郡 中野郡 上野郡 水内郡 高井郡	新潟縣 北魚沼郡 中魚沼郡 南魚沼郡 三島郡 古志郡	新潟縣 西蒲原郡 東蒲原郡 北蒲原郡 佐渡郡

第十第三			第十第六		第十第八		第十第十		第十第十	
三第	三十第	三第	九十第	第十第	第十第	九十第	第十第	第十第	第十第	第十第
濱田	岡山	福山	奈良	京都	敦賀	大津	濱松	静岡	飯田	
廣島縣 雙三郡	岡山縣 岡山郡 川上郡 淺口郡 後月郡	愛媛縣 周桑郡	奈良縣	京都府 上京區 下京區 東區 西區 南區 北區 東山部 西山部 嵯峨野 宇治郡 長岡京 葛野郡 乙訓郡 紀伊郡 久世郡	滋賀縣 大上郡 愛知郡 神崎郡 高島郡	福井縣 遠敷郡 三方郡	三重縣 阿山郡 多賀郡	靜岡縣 濱松市 磐田郡 引佐郡 濱名郡	靜岡縣 安倍郡 田方郡 賀茂郡	長野縣 上伊那郡 下伊那郡 西筑摩郡 東筑摩郡 飯田郡 岐阜縣 惠那郡 愛知縣 北設樂郡 東加茂郡 茂原郡
廣島縣 尾道市 神石郡 深安郡 甲奴郡 蘆品郡 沼隈郡 世羅郡 御調郡 宇摩郡 新居郡	岡山縣 岡山市 上道郡 赤磐郡 久米郡 御津郡 鳥郡 川上郡 淺口郡 後月郡	愛媛縣 周桑郡	奈良縣	京都府 上京區 下京區 東區 西區 南區 北區 東山部 西山部 嵯峨野 宇治郡 長岡京 葛野郡 乙訓郡 紀伊郡 久世郡	滋賀縣 大上郡 愛知郡 神崎郡 高島郡	福井縣 遠敷郡 三方郡	三重縣 阿山郡 多賀郡	靜岡縣 濱松市 磐田郡 引佐郡 濱名郡	靜岡縣 安倍郡 田方郡 賀茂郡	長野縣 上伊那郡 下伊那郡 西筑摩郡 東筑摩郡 飯田郡 岐阜縣 惠那郡 愛知縣 北設樂郡 東加茂郡 茂原郡

第十第八			第十第十		第十第十	
四第	十二第	三第	四第	十第		
高瀨	米久留	佐賀	大村	松江		
熊本縣 菊地郡 鹿本郡 玉名郡 天草郡	福岡縣 久留米市 三井郡 八女郡 三潞郡 山門郡 三池郡 浮羽郡 佐賀縣 三養基郡 神埼郡	長崎縣 杵高郡 藤津郡 南高來郡 北高來郡	佐賀縣 佐賀市 佐賀郡 小城市	長崎縣 彼杵郡 北松浦郡 南松浦郡 西松浦郡	鳥取縣 西伯郡 日野郡 比婆郡	岡山縣 阿哲郡
	熊本縣 菊地郡 鹿本郡 玉名郡 天草郡	福岡縣 久留米市 三井郡 八女郡 三潞郡 山門郡 三池郡 浮羽郡 佐賀縣 三養基郡 神埼郡	長崎縣 杵高郡 藤津郡 南高來郡 北高來郡	佐賀縣 佐賀市 佐賀郡 小城市	長崎縣 彼杵郡 北松浦郡 南松浦郡 西松浦郡	鳥取縣 西伯郡 日野郡 比婆郡

(明治四十年九月十八日陸軍省令第十二號ヲ以テ同年十月一日ヨリ施行)

附則 (大正四年九月軍令陸第十號附則)
 大正四年徵集兵ノ徵集及入營ニ關シテハ仍從前ノ規定ニ又
 在郷軍人ノ管轄區域ハ大正五年三月三十一日迄仍從前ノ區
 域ニ依ル

● 聯隊區司令部警備隊 區司令部ノ位置

明治四十二年二月二十日
陸軍省告示第四號

(一部) 改正 明治四十二年六月陸軍省告示第一〇號、四五年三
月同第五號、大正三年同第一三號

聯隊區司令部警備隊司令部及警備隊區司令部ノ位置左ノ通
定ム 明治四十年陸軍省告示第二十一號ハ之ヲ廢止ス

- 麻布聯隊區司令部 東京市赤坂區
- 甲府聯隊區司令部 山梨縣東山梨郡相川村
- 本郷聯隊區司令部 東京市本郷區
- 佐倉聯隊區司令部 千葉縣印旛郡佐倉町
- 福島聯隊區司令部 福島縣福島市
- 若松聯隊區司令部 福島縣若松市
- 仙臺聯隊區司令部 宮城縣仙臺市
- 山形聯隊區司令部 山形縣山形市
- 名古屋聯隊區司令部 愛知縣名古屋市
- 岐阜聯隊區司令部 岐阜縣岐阜市
- 桑名聯隊區司令部 三重縣桑名郡桑名町
- 津 聯隊區司令部 三重縣津市

- 大阪聯隊區司令部 大阪府大阪市
- 篠山聯隊區司令部 兵庫縣多紀郡篠山町
- 堺 聯隊區司令部 大阪府泉北郡向井村
- 和歌山聯隊區司令部 和歌山縣和歌山市
- 廣島聯隊區司令部 廣島縣廣島市
- 松山聯隊區司令部 愛媛縣松山市
- 山口聯隊區司令部 山口縣吉敷郡上宇野令村
- 岩國聯隊區司令部 山口縣玖珂郡岩國町
- 熊本聯隊區司令部 熊本縣熊本市
- 八代聯隊區司令部 熊本縣八代郡八代町
- 鹿兒島聯隊區司令部 鹿兒島縣鹿兒島市
- 都城聯隊區司令部 宮崎縣北諸縣郡都城町
- 札幌聯隊區司令部 北海道札幌區
- 函館聯隊區司令部 北海道函館區
- 釧路聯隊區司令部 北海道釧路國釧路郡釧路浦見町
- 旭川聯隊區司令部 北海道石狩國上川郡旭川町
- 青森聯隊區司令部 青森縣青森市
- 盛岡聯隊區司令部 巖手縣盛岡市
- 秋田聯隊區司令部 秋田縣秋田市
- 弘前聯隊區司令部 青森縣弘前市
- 金澤聯隊區司令部 石川縣金澤市

鯖江聯隊區司令部	福井縣今立郡鯖江町
高岡聯隊區司令部	富山縣高岡市
富山聯隊區司令部	富山縣富山市
姫路聯隊區司令部	兵庫縣姫路市
鳥取聯隊區司令部	鳥取縣鳥取市
福知山聯隊區司令部	京都府天田郡福知山町
神戸聯隊區司令部	兵庫縣神戸市
丸龜聯隊區司令部	香川縣丸龜市
德島聯隊區司令部	德島縣德島市
善通寺聯隊區司令部	香川縣仲多度郡善通寺町
高知聯隊區司令部	高知縣高知市
中津聯隊區司令部	大分縣下毛郡中津町
大分聯隊區司令部	大分縣大分郡大分町
小倉聯隊區司令部	福岡縣小倉市
福岡聯隊區司令部	福岡縣福岡市
新發田聯隊區司令部	新潟縣北蒲原郡新發田町
村松聯隊區司令部	新潟縣中蒲原郡村松町
松本聯隊區司令部	長野縣松本市
高田聯隊區司令部	新潟縣中頸城郡高田町
水戸聯隊區司令部	茨城縣水戸市
宇都宮聯隊區司令部	栃木縣宇都宮市

高崎聯隊區司令部	群馬縣高崎市
熊谷聯隊區司令部	埼玉縣大里郡熊谷町
豐橋聯隊區司令部	愛知縣豐橋市
飯田聯隊區司令部	長野縣下伊那郡飯田町
静岡聯隊區司令部	静岡縣静岡市
濱松聯隊區司令部	静岡縣濱松市
大津聯隊區司令部	滋賀縣大津市
敦賀聯隊區司令部	福井縣敦賀郡粟野村
京都聯隊區司令部	京都府紀伊郡深草村
奈良聯隊區司令部	奈良縣奈良市
福山聯隊區司令部	廣島縣深安郡福山町
岡山聯隊區司令部	岡山縣御津郡伊島村
濱田聯隊區司令部	島根縣那賀郡濱田町
松江聯隊區司令部	島根縣八束郡津田村
大村聯隊區司令部	長崎縣東彼杵郡大村町
佐賀聯隊區司令部	佐賀縣佐賀市
久留米聯隊區司令部	福岡縣三井郡國分村
高瀬聯隊區司令部	熊本縣玉名郡高瀬町
沖繩警備隊區司令部	沖繩縣那霸區
對馬警備隊司令部	長崎縣對馬國下縣郡鷓知村

●海軍區、軍港位置

明治三十六年一月
勅令第五號

(一部改正) 三八年十一月勅令第二三二號、四三年一二月同
第四五二號

朕明治二十六年勅令第三十八號改正ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ
公布セシム

第一條 帝國ノ海岸及海面ヲ分チテ五海軍區トス其ノ區畫
ハ左ノ如シ

第一海軍區 羽後陸奥國界ヨリ本土東海岸及同南海岸ニ
沿ヒ紀伊國南牟呂東牟呂郡界ニ至ルノ海岸海面、小笠
原島及北海道ノ海岸海面並ニ太島ノ海岸海面

第二海軍區 紀伊國南牟呂東牟呂郡界ヨリ長門國大津豐
浦郡界ニ至リ又筑前國遠賀宗像郡界ヨリ九州東海岸ニ
沿ヒ日向大隅國界ニ至ルノ海岸海面及四國ノ海岸海面
並ニ内海

第三海軍區 筑前國遠賀宗像郡界ヨリ九州西海岸及同南
海岸ニ沿ヒ日向大隅國界ニ至ルノ海岸海面及壹岐沖繩
諸島ノ海岸海面並ニ臺灣澎湖列島ノ海岸海面

第四海軍區 長門國大津豐浦郡界ヨリ本土西海岸ニ沿ヒ
羽後陸奥國界ニ至ルノ海岸海面及隱岐佐渡ノ海岸海面

第五海軍區 對馬及朝鮮ノ海岸海面

第二條 各海軍區ニ軍港ヲ定ムルコト左ノ如シ

第一海軍區軍港
相模國三浦郡横須賀

第二海軍區軍港
安藝國安藝郡吳

第三海軍區軍港
肥前國東彼杵郡佐世保

第四海軍區軍港
丹後國加佐郡舞鶴

第五海軍區軍港
朝鮮慶尙南道昌原郡鎮海

第三條 要港ハ別ニ之ヲ定ム

第四條 各海軍區ハ其ノ軍港ニ置ク所ノ鎮守府ヲシテ之ヲ
管セシム

第五條 當分ノ内鎮海軍港ニ鎮守府ヲ置カス佐世保鎮守府
ヲシテ第五海軍區ヲ管セシム

●關東州海軍區ニ關ス

ル件

明治三十九年九月二十五日
勅令第二百五十六號

(一部改正)大正三年二月勅令第二六號

朕關東州海軍區ニ關スル件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム
關東州ノ海岸海面ヲ關東州海軍區トシ佐世保鎮守府ヲシテ
之ヲ管セシム

附則

本令ハ明治三十九年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

第六編 兵籍附機密書類

●陸軍兵籍規則

明治四十三年五月六日
陸軍省令第二號

(一部改正) 明治四五年一月陸軍省令第一號、大正元年一二
月同第一二號、同二年一二月同第一四號

陸軍兵籍規則左ノ通改正ス

陸軍兵籍規則

第一條 陸軍兵籍ハ之ヲ分チテ第一種及第二種トス

將校同相當官及准士官ノ兵籍ハ第一種兵籍トシ士官候補
生、主計候補生、見習醫官、見習藥劑官、見習獸醫官、
下士兵卒、諸生徒(陸地測量部修技所生徒ヲ除ク)依託學
生及依託生徒ノ兵籍ハ第二種兵籍トス

第二條 第一種兵籍及第二種兵籍ニ記載スヘキ事項及其ノ
様式ハ附表第一及第二ニ依ル

第三條 兵籍ノ所管ハ左ノ各號ニ依ル

- 一 現役將校同相當官、准士官、下士兵卒、士官候補生、
主計候補生、見習醫官、見習藥劑官、見習獸醫官及諸
生徒ノ兵籍ハ所屬部隊

但シ元帥、軍事參議官、朝鮮總督、陸軍部外ノ要職ニ任シ特ニ現役ニ列セラレタル大將、朝鮮總督附武官、元帥副官、軍事參議官並朝鮮總督府專屬副官ノ兵籍ハ陸軍省人事局、臺灣總督、關東都督、臺灣總督府副官並關東都督府副官ノ兵籍ハ當該府陸軍部、皇族附武官ノ兵籍ハ皇族所屬ノ部隊、一隊附尉官ニシテ陸軍所轄官衙學校ノ定員外トシテ派遣セラレタル者ノ兵籍ハ其ノ派遣セラレタル官衙學校、臨時朝鮮派遣隊、天津駐屯歩兵隊、北京駐屯歩兵隊、北支那派遣歩兵大隊及中支那派遣歩兵大隊ニ編入セラレタル中隊ノ將校以下ノ兵籍ハ其ノ編入セラレタル隊ニ依託學生及依託生徒ノ兵籍ハ衛生部ニ在リテハ陸軍省醫務局、獸醫部ニ在リテハ陸軍省軍務局

三 待命、休職、停職、豫備役、後備役及退役將官同相當官ノ兵籍ハ本籍地所管ノ師團司令部

四 待命、休職、停職、豫備役、後備役上長官、士官、准士官、豫備役、後備役下士兵卒及補充兵役ニ在ル者、陸軍補充令第六十二條第一項第四號該當者並歸休兵ノ兵籍ハ本籍地所管ノ聯隊區司令部（警備隊區ニ在リテハ警備隊司令部又ハ警備隊區司令部以下同シ）

豫備役、後備役將校同相當官、准士官及下士兵卒ニシテ

平時部隊ニ就職シタル場合ニ在リテハ其ノ兵籍ハ前項第三號及第四號ニ依ラス當該部隊ノ所管トス

第一項第一號及第二項ニ該當スル者戰時又ハ事變ニ際シ動員部隊又ハ臨時編制ノ部隊ニ屬スルトキハ其ノ兵籍ハ原所管平時部隊ノ所管トス

前諸項ノ兵籍所管部隊動員シタルトキハ其ノ兵籍ハ當該留守部隊ノ所管トス

第四條 第一種兵籍ハ始テ士官又ハ准士官ニ任セラレタルトキ前條ノ所管部隊（任官ト同時ニ兵籍ノ所管ヲ異ニスルモノニアリテハ舊所管部隊）ニ於テ之ヲ調製シ其ノ階本ヲ順序ヲ經テ陸軍省（各兵科特務曹長ニ在リテハ其ノ所管ニ從ヒ教育總監部、師團司令部、憲兵司令部、朝鮮駐劄軍司令部、朝鮮駐劄憲兵隊司令部、臺灣總督府陸軍部、關東都督府陸軍部、支那駐屯軍司令部、中支那派遣隊司令部以下同シ）ニ一月（朝鮮、臺灣、關東州及支那ニ在ル部隊ハ二月）以內ニ差出スヘシ

前項兵籍階本ニハ子、父母、祖父母、兄弟姉妹ニ關スル事項ヲ記載セサルモノトス

第五條 第二種兵籍ハ始テ入隊若ハ入校ノトキ又ハ採用ノトキ第三條ノ所管部隊ニ於テ之ヲ調製スヘシ但シ補充兵役ニ在ル者（輜重輸卒ヲ除ク）ハ始テ召集ニ應シタルトキ

補充兵役輜重輸卒ハ其ノ役ニ就キタルトキ之ヲ調製スルモノトス

陸軍補充令第六十二條第一項第四號ニ該當スル者ノ兵籍ハ前項ニ依ラス始テ採用ノトキ所屬部隊ニ於テ之ヲ調製シ兵籍所管部隊ニ送付スヘシ

第六條 兵籍調製ニ際シ本籍、族稱、身分關係、氏名、生年月日、妻子、父母、祖父母、兄弟姉妹ニ關スル事項ハ第一種兵籍ニ在リテハ戶籍謄本、第二種兵籍ニ在リテハ戶籍抄本ニ依リ記載スルモノトス

第七條 兵籍ハ第一種及第二種各別ニ綴リテ兵籍簿ト爲スヘシ

第八條 左ニ掲ケル場合ニ於テハ本人(本人所在不明、外國ニ旅行若ハ在留ノ場合又ハ從軍中ニ在リテハ戶主又ハ家事擔當者)ヨリ一月以内ニ兵籍所管部隊ニ届出ヘシ但シ服役ニ關スル法令ニ依リ届出ヘキ事項ニ付テハ届出ヲ要セス

一 第六條ノ兵籍記載事項ニ異動ヲ生シタルトキ但シ平時部隊ニ在職セサル豫備役後備役將校同相當官准士官ニ在リテハ子、父母、祖父母及兄弟姉妹ニ關スルモノヲ除ク

二 待命休職停職 備役後備役軍人、退役將官同相當官、

歸休兵、召集セラレタル補充兵及補充兵役輜重輸卒ニシテ第六條以外ノ兵籍記載事項(履歴ハ位、爵、學位、官等及官公職ニ關スルモノニ限ル)ニ異動ヲ生シタルトキ但シ刑罰、勳章褫奪、恩給停止、恩給剝奪及失官ヲ除ク

三 退役上長官士官准士官、國民兵役ニ在ル者及兵役ヲ免セラレタル者ニシテ軍人恩給ヲ受ケ又ハ之ヲ受ケヘキ資格ヲ有スル者本籍、族稱、身分關係、死亡年月日又ハ妻ニ關スル事項ニ異動ヲ生シタルトキ並恩給ヲ受ケタルトキハ其ノ種類、金額及年月日(退職恩給、免除恩給又ハ增加恩給ニ關シテハ軍人恩給法第十三條ニ依ル支給ノ初日、賑恤金又ハ給助金ニ關シテハ辭令書ノ日付)

陸軍現役軍人婚姻條例ニ依ルヘキ者ノ婚姻ニ付テハ前項ノ届書ニ婚姻許可書ヲ添付スヘシ但シ該許可書ハ兵籍記載済ノ後之ヲ本人ニ返付スルモノトス

第一項ノ届書ハ在郷者ニ係ルモノハ本人本籍地市區町村長ヲ經由シテ兵籍所管部隊ニ差出スヘシ但シ本人ノ婚姻離婚及生年月日訂正ニ關シテハ本籍地市區町村長ニ於テ該届書ニ戶籍抄本ヲ添付スヘシ

前項ノ場合ニ於テ町村長トアルハ市制町村制ヲ施行セサ

ル地ニ在リテハ町村長ニ進スヘキ者ニ該當シ町村長又ハ之ニ進スヘキ者ヲ經由スル届書ハ島司郡長ヲ經由スルモノトス

陸軍諸學校(憲兵練習所ヲ含ム)ニ分遣中ノ學生ニ在リテハ第一項届出ハ本人ヨリ當該學校ニ之ヲ爲シ當該學校ヨリ兵籍記載事項ノ異動ヲ兵籍所管部隊ニ通報スルモノトス

第九條 兵籍所管部隊ハ兵籍記載事項ニ異動ヲ生シタル毎ニ訂正補足ヲ爲シ子、父母、祖父母、兄弟姉妹ニ關スルモノ、陸軍省ヨリ辭令ヲ發シタルモノ、陸軍省ヲ經由シタル辭令ニ關スルモノ及陸軍報告規程ニ依リ報告スヘキモノヲ除クノ外附表第三ノ様式ニ依リ異動ヲ生シタル日ヨリ一月半(朝鮮、臺灣、關東州及支那ニ在ル部隊ハ二月)以内ニ順序ヲ經テ陸軍省ニ報告スヘシ但シ在職者ノ婚姻、離婚及生年月目訂正ニ關シテハ本籍地ノ戶籍吏ニ就キ其ノ事實ヲ調査シタル上訂正補足ヲ爲スヘシ

兵籍ニ記載スヘキ履歴ニシテ動員部隊又ハ臨時編制ノ部隊ニ編入中ニ係ルモノハ本人平時部隊ノ職ニ就キ又ハ召集ヲ解除セラレタルトキハ戰時名簿ニ依リ記入スルモノトス

第十條 平時召集中ニ關スル事項ハ召集部隊ヨリ兵籍所管部隊ニ通報スヘシ

第十一條 兵籍ノ所管ニ異動ヲ生シタル者アルトキハ舊所管部隊ハ兵籍ノ訂正補足ヲ爲シ直ニ新所管部隊ニ送付スヘシ但シ轉籍ノ爲異動スルモノ(退役將官同相當官ニ係ルモノヲ除ク)ニ在リテハ新所管部隊ニ於テ訂正補足ヲ爲スモノトス

各兵科特務曹長ノ兵籍謄本ノ保管廳ニ異動ヲ生シタルトキハ前項ニ準シ舊保管廳ヨリ新保管廳ニ送付スヘシ

第十二條 退役將校同相當官(將官同相當官ヲ除ク)准士官、兵役免除ト爲リタル者、國民兵役ニ入りタル者、官ヲ免セラレ兵役ニ在ラサル者又ハ死シタル者ノ兵籍ハ之ヲ兵籍簿ヨリ除キ種類ヲ分チ別冊トナシ三年間其ノ當時ノ本籍地所管聯隊區司令部ニ於テ保存スヘシ但シ軍人恩給ヲ受ケ又ハ之ヲ受ケヘキ資格アル者現ニ軍人恩給ヲ受ケケサルモ公務ノ爲傷痍ヲ受ケ又ハ疾病ニ罹リ現役ヲ退キ(召集解除等ヲ含ム)若ハ死歿シタル者ノ兵籍ハ本人ノ死後寡婦扶助料ノ請求ニ關シ必要ノ期間之ヲ保存スヘシ免官ト爲リ又ハ死亡シタル將官同相當官ノ兵籍ハ前項ニ依ラス兵籍簿ヨリ除キ其ノ當時ノ本籍地所管ノ師團司令部ニ於テ之ヲ保存スヘシ

各部隊ニ前二項ニ掲グル兵籍アルトキハ直ニ之ヲ保管司

令部ニ送付スヘシ

第十三條 戰時又ハ事變ノ際召集セラレタル國民兵役者ノ兵籍ハ補充兵役ニ在ル者ノ例ニ依リ調製シ召集解除後ハ前條ニ準シ取扱フモノトス
第十四條 (削除)

●陸軍機密書類取扱規則

明治四十四年十月十日
陸達第二十六號

陸軍機密書類取扱規則左ノ通定ム
陸軍機密圖書取扱規則及陸軍國防用防禦營造物圖書取扱規則ハ之ヲ廢止ス

陸軍機密書類取扱規則

第一條 陸軍機密書類トハ作戰、戰時編制及動員ニ關スル書類中重要ナルモノ其ノ他特ニ指定シタルモノヲ謂フ前項書類中要塞防禦計畫書類、要塞區域内ニ於ケル陸軍ノ防禦營造物書類(地形ヲ描寫セサル要塞補助建設物ノ圖書ヲ除ク)及要塞近傍一萬分一以上ノ地形圖並防禦營造物ヲ記載シタル地形圖(地形圖ニ非サルモ要塞全般ノ配置ヲ通覽シ得ヘキモノヲ含ム)ハ特ニ之ヲ陸軍國防用機密書類ト稱ス

第二條 部隊長ハ特ニ規定アルモノヲ除クノ外機密書類ヲ調製配布スルノ必要ヲ生シタルトキハ順序ヲ經テ陸軍大臣ノ認可ヲ受クヘシ

部隊長機密書類ヲ調製シタルトキハ順序ヲ經テ其ノ種類及部數ヲ陸軍大臣ニ報告スルモノトス
參謀總長ニ於テ調製スル機密書類ニハ前二項ヲ適用セス但シ其ノ調製ニ係ル機密書類ヲ他ニ配布シタルトキハ其ノ都度種類、部類及配布ヲ受ケタル部隊ヲ陸軍大臣ニ通牒スルモノトス

第三條 機密書類ニハ調製部隊ニ於テ一葉又ハ一冊毎ニ左ノ標記ヲ爲スモノトス
軍事機密、調製年月日、調製部隊號、一連番號及特ニ返納期日ヲ指定スルノ必要アルモノハ其ノ期日
前項ノ一連番號ハ機密書類ノ種類毎ニ之ヲ區分スヘシ其ノ一連番號ヲ附シ難キモノハ適宜ノ番號又ハ符號ヲ以テ之ニ換フルコトヲ得

第四條 機密書類ハ鎖鑰アル堅固ノ器物ニ格納シテ之ヲ保管スヘシ

第五條 機密書類ハ必要ナル最少限度ニ於テ調製配布スルモノトス

第六條 部隊長ニ於テ其ノ調製ニ係ル機密書類ヲ部下諸隊